『華嚴經十四』 口訣 機能體系

金斗燦*

1. 머리말

석독구결의 正解는 이른바 현토된 자료 5가지-『華嚴經疏 35』, 『華嚴經 14』, 『合部金剛經 3』, 『舊譯仁王經』, 『瑜伽師地論 20』 등을 모두 해독 하고 나서 그 吐들이 우선 문맥에서 표현하는 大意만이라도 파악됨으로서 이를 기초로 하여 보다 정밀하게 그 하나하나의 개별적인 吐들의 의미 기능이 성공적으로 파악 및 추출될 것임을 계속 주창했고 또 믿어 왔다.

그러한 취지로서 필자는 제1차로 『舊譯仁王經(上)』(1995)을 고구한 내용을 이미 발표한 바 있다. 이어서 이번 제2차는 『華嚴經十四』(이하 『華嚴』 약칭)에서 그 '口訣 機能體系'를 다시 한번 다루려는 것이 본고의 목적이다. 그런데 그 抄錄은 지난번 제18회 구결공동연구회(1998.2.

이 작은 열매를 『古語辭典』, '漢字운동' 등에 全生涯를 바치신 국어학의 巨木 蘭汀 선생의 靈前에 祭物로서 삼가 올립니다.

이 小稿는 1998.2.10~11 西原大學校에서 구두로 발표한 것을 原文에 讀音 및 현대어 해독까지 포함하여 정리한 것이다.

* 율곡문화원

10~11.) 때, 그 개요를 대충 소개한 것들이며, 그것에 수정 보완한 것이 본고이다.

이번에 특히 중점을 둔 것은 이 자료 『華嚴』의 全文을 하나하나 정밀히 현토대로 맞추어 풀이하면서 검토한 결과 새로운 사실과 그것에 따르는 대폭적인 필자의 생각을 바꾸게 했다는 점이다. 그만큼 이제까지 同一吐에는 언제나 同一語에만 현토됐던 前例를 깨고 또다른 漢字語에도 현토되었다는 사실이 발견된 契機이다. 다시 말하여 이제까지 우리가 갖고 있던 고정의 관념을 깰 만큼 새 사실들이 나타났다는 이벤트(event)를 말한다.

돌이켜 보면 舊稿인 위 「『舊譯仁王經』 口訣 機能體系」에서도 제한된 적은 자료 속에서 제한된 시야만을 펼칠 수밖에 없었음을 솔직히 시인한다. 이제 이런 점들을 크게 회고하며 다음과 같은 순서로 기술할 것이다. 맨 먼저 '華嚴吐 借字體系'를, 다음 '華嚴吐 總目錄' 등의 항목을 제시하고 이어 그 '口訣 機能體系'에서는 해묵은 問題吐들을 보다 깊이 있게 다룰 것이다. 그리고 나서 이 '借字體系'에 기초한 전체 '解讀文'을 기술한다. 이제 위 순서대로 다음 항에서부터 하나하나 본 논술을 접근시켜 볼 것이다.

2. 華嚴吐의 借字體系

이 자료인 『華嚴』에 현토된 모든 구결을 획수순에다 가나다 음순별 表로서 작성, 제시하면 다음과 같다. 아래 구결의 독음들은 이제까지 추정한 남풍현(1994)를 따르되 그렇지 않은 것은 필자가 새로 추정한 原字와 그 音相에 따라 다시 수정하여 배열한 것이다.

그런데 이 표 안에서 이제까지와는 또 다르게 새로 추정 배열한 것은 아래 6가지이다.

1. 尸(*尸/ㅿ)　2. ㆍ(*寫/샤)　3. (*這/져)
4. 支(*支/디.平聲)　5. ㄷ(*止/디.上聲)　6. 矢(*知/디.去聲)

3. 華嚴吐의 機能體系

華嚴吐 借字體系

凡例(*표는 두 번 쓰인 口訣字)

	末音	ㅏ/ㅑ	ㅓ/ㅕ	ㅗ/ㅛ	ㅜ	ㅡ	ㅣ/ㅢ	ㆍ	ㅣ
ㄱ			去(거) ナ(겨)	ㅁ(고)		尒(금)	八(기)	卽(즉)	
ㄴ	ㄱ(ㄴ)	乃(나)		乂(노)	ㅏ(누)		匕(니)	匕(ᄂᆞ)* 斤(놀)	
ㄷ		ㅣ(다)	ㅔ(뎌) 丁(뎡)	刀(도)	斗(두)	入(드/두)	矢/ㄷ/支(디)	多(돌)	ㅅ/矣(뒤)
ㄹ	乙(ㄹ)	罒(라)	令(려)	ノ(로) ᄉᆞ(으로)			禾(리) ㅐ(리/이)		
ㅁ	十(ㅁ)	丫(마)	分(며)						
ㅂ						火(브/ᄇᆞ)			
ㅅ	七(ㅅ)	ㅑ(사) ㆍ(샤)	효(셔)				二(시)	白(숩)	
ㅿ	尸(ㅿ)								
ㅇ		ㅋ(아/어)	ㅈ/ㅗ(여)	ㅎ(오) 人(와)		ㄱ"(은/는) 乙"(을/놀)	冫(의)		之(이)
ㅈ			ㅋ(져) 連(져)				連(짓)		
ㅎ		下(하)		ノ(호)			广(히)	ᄉᆞ(ᄒᆞ) ᄉᆞ(ᄒᆞ)	十(히/회)

※ 토 'ㅌ'는 '飛/ᄂᆞᆫ다'의 'ᄂᆞ'인데 이를 '나'로 씀은 잘못이 아닌가 한다.

華嚴吐 目錄

<1 획>

001. ㅣㅅㄱ[→] 等_ 五11 十四12-- 계 . 5
002. ㅣㅅㄱㄴ[→] 等_ 十九23 二十1
003. ㅣㅅㄱㄴㅋㄱ[→] 等_ 十八19
004. ㅣㅅㄱㅋ[→] 等_ 十八6
005. ㅣㅅㄱㅛㅈ[→] 等_ 八18
006. ㅣㅅㄱㅛㅈㅅㅎㄱㅅㄴ[→] 等_ 十四24
007. ㅣㅅㅂㄴ[→] 等_ 十九16
008. ㅱ[→] 구결 :
七16 八7 -- 계 . 15
어미 :
而_ 二17 四13 -- 계 . 21
故_ 十8
009. ㅈ[→] 호격 :
子_ 一4 二12 -- 계 . 5
어미 :
悉_ 二15 四3 -- 계 . 27
以_ 一23 八18 -- 계 . 5
足_ 七9
盡_ 十九3
[←] 어미 :
以_ 八14 八21 -- 계 . 14
所_ 二11 二13 -- 계 . 8
間_ 一4 八21
無_ 十四8
得_ 十八17
受_ 十九22
說_ 二十7
010. ㅈㄱㅣㅓㄱ[←]
見_ 四22 四23 -- 계 . 8
得_ 二22 七10 -- 계 . 3
執_ 四17
011. ㅈㅅㄱㅅㄴ[→] 等_ 七23
012. ㅈㅅ[←]
無_ 三6 三12 -- 계 . 5
以_ 四1 五10
得_ 四4 七19
修_ 三10
獲_ 十三20
013. ㅈㅿ[←] 滅_ 九13
014. ㅈㅌ[→] 속격 :
八17 九3 -- 계 . 12
015. ㅈㅌㅅㅂ[→] 中_ 八24
016. ㅈㅁㅎ[→] 量_ 九2
017. ㅈㅅㅈㅿ[→] 等_ 九5
018. ㅈㅅㅍㅋㅅㅿ[←] 以_ 十七6복2
019. ㅈㅓ[→] 처격 :
二8 二13 -- 계 . 128
[←] 所_ 八3
020. ㅈㅓㄱ[→] 中_ 十六4
021. ㅈㅓㅋ[→] 十五14 十七3
022. ㅈㅓㅅㅈㅂ[→] 中_ 九8
所_ 十四2
023. ㅈㅓㅅㅁㅂㅿ[→] 劫_ 十四22
024. ㅈㅓㅿㅟ[→] 念_ 十四19
025. ㅈㅁㄹㅎㄱㅟㅍ[←] 說_ 八23
026. ㅈㅍ[→] 盡_ 九7
027. ㅈㅂㅛ[→] 盡_ 八1
028. ㅈㅿ[→] 測_ 十七19
[←] 五8 八8 -- 계 . 3
029. ㅈㅿㄱ[←] 所_ 八9
030. ㅈㅿㄴ[←] 十3 十12
031. ㅈㅲ[→] 五24 七 8 -- 계 . 4
得_ 一21 二6 -- 계 . 21
[←] 二19 四2 -- 계 . 24
得_三9 四10 -- 계 . 13
032. ㄱ[→] 주체 :

—4 —5 -- 계 . 78
관형형 : 諸_ 二12 二13 계 . 79
一_ 九3 九9
衆_ 三17 四5 계 . 20
有_ 十五18 十五22 계 . 5
宜_ 十八9
역접 : 而_ 十五9
[←] 관형형 :
無_ 九8 十一17 계 . 10
有_ 十9
033. ㄱㄴ[←] 주제 + 대격 :
五2 六3 -- 계 . 5
034. ㄱㅅㄴ[→] 惡_ 六11
035. ㄱㅣ[←] 無_ 十八20
036. ㄱㅋㅓ[→] 四22 十五9 -- 계 . 3
037. ㄱㅌㄷ[←] 無_ 十二7 十七14
038. ㄱ矣[←] 無_ 十八12
039. ㄷ[→] 대격 :
—5 —6 -- 계 . 532
동반대격 :
二14 十八13
[←] 所_ 二5 三3 -- 계 . 8
040. ㄷ灬[→] 九17 十二21 -- 계 . 7
041. ㄷ灬ㅅ[→] 塵_ 十五10
042. ㄷノ尸ム[→] 衛_ 十九7
043. ㄷンㄷㄱ[→] 便_ 四12
044. ㄷンㄷㄱㅣㅓㄱ[→] 币_ 八10
045. ㄷンㅌ尸ㅅㄱ[→] '二_ 十二22
046. ㄷンㅌ矛分[→] '二_ 十二21
047. ㄷㅌ立[←] 入_ 四19
048. ㄷ火[→] 相_ 十七19
049. ノㄱ[→] 七16 八9 -- 계 . 3
050. ノㄱㅅㄴ[→] 二19 六7 -- 계 . 6
[←] 十九24
051. ノㄱム[←] 十四13 十五4 -- 계 . 4
052. ノンㄱ[←] 自_三14 三15[1]-- 계 . 3
053. ノ尸[→] 二11복[2] 二13 -- 계 . 24
[←] 不_ 十九5
054. ノ尸ㅅㄴ[→] 三6 三9 -- 계 . 9
[←] 歸_ 四3
055. ノ尸ム[→] 三6 八15 -- 계 . 7
[←] 三16 四1 -- 계 . 14
056 ノ尸分[←] 不_ 十五5
057. ノ尸矣十[→] 滅_ 四3
058. ノヒセ[→] 嚴_ 十六24 十八2
059. ノオㄱㄴ[→] 說_ 十九16
060. ノオ尸[→] 二6 二7
061. ノオヒ尸ㅅㄱ[→] 議_ 十三15
062. ノオヒオ分[→] 議_ 十三14
063. ノオ皿[→] 議_ 十七2
064. ノ今[→] 知_ 十四8
065. ノ今七[→]八7 九22 -- 계 . 4
[←] 四22 四23 -- 계 . 7
066. ノ立[→] 禮_ 五7

< 2획 >

067. ナㅣ[→] 有_ 九4 十四15 -- 계 . 13
或_ 十五10 十五11 -- 계 . 6
068. ナㄱ[→] 善_ 二10
069. ナㄱㅅ灬[←] 得_ 十八21
070. ナㄱㅅ乙灬[←] 多_ 二11[2]
071. ナㄱリ分[←] 無_ 十2
072. ナハ方ㄱㄱ矢ㅣ[←] 有_ 十五10
073. ナ分[→] 說_ 十九15
[←] 無_ 十 九7
074. ナ尸ㅅㄴ[←] 知_ 二十15

1) 위 "自ノヨㄱ"<三16>에서 'ヨ'는 'ン'의 오류이다.
2) 위 "多ナㄱのㄷ灬"에서 'ㄷ'은 잘못 들어간 것이다.

075. ㅅ[←] 當_ 二15 二20 -- 계 . 4
但_ 九13 十九13
必_ 十1
[←] 欲_ 二11 十八16[3]
爲_ 九13 十九23
076. ㅅㅅㄷㅏㅁ[←] 欲_ 八21
077. ㅅㅅㄷㅏㅁ[←] 欲_ 九14 十八19
078. ㅅㅅㅊㄱㅣㅓㄱ[←] 欲_ 十五16
079. ㅅ白ㅈㅅ[←] 事_ 三8
080. ㅅ白ㅈㅈ[←] 事_ 二20
081. ㅅㅂㅌ[←] 修_ 九6
082. ㅏㄱㄴ[←] 受_ 二十6
083. ㅏㅁㄱㅅㄴ[←] 五21 十四15-- 계 .4
084. ㅁ[→] 亦_ 九17 十四14 -- 계 .4
或_ 十四15 十四16 -- 계 .8
復_ 十五12 二十3
又_ 十六6 十六8
彼_ 十八9
085. ㅐㅏㅣ[←] 有_ 十七20
086. ㅐㅊㄱㅣㅓㄱ[←] 有_ 三3
087. ㅐㄷ[←] 有_ 十九12
088. ㅐㅂㅌ[←] 有_ 六11
089. ㅐㅎㅁㄱ[→] 有_ 十九1
090. ㅁ[→] 佛_ 二14 三13
091. ㅅㄱ[→] 願_ 二20 十四9
猶_ 九3
譬_ 九9 十9 -- 계 . 5
092. ㅅㄱㅅㅂㅐㅀ[→] 爲_ 十—24[4]
093. ㅅㄴㅅㅈㅅ[←] 爲_ 六20
094. ㅅㄴㅅㅈㅈ[←] 爲_ 九23
095. ㅅㄴㅅㅏㄱㅣㅀ[←] 爲_ 十6
096. ㅅㄴㅅㅏㅀ[←] 爲_ 十九21
097. ㅅㄴㅅㅏㅊㅈㅁㅌ[←] 爲_ 二9
098. ㅅㄴㅅㅀ[←] 爲_ 二6복[2] 二7-- 계 .9
099. ㅅㄴㅅㅊㅏㅎㅌㅣ[←] 爲_ 二 17
100. ㅅㄴㅅㅁㅏㄱㅓ[←] 爲_ 九20
101. ㅅㄴㅅㅂㄷㅅㄱㅓ[←] 爲_ 十—3 十二15 -- 계 . 3
102. ㅅㄴㅅㅂㅊㅀ[←] 爲_ 十二14 十二17
103. ㅅㄴㅅㅂㅛ[←] 爲_六21
104. ㅅㄴㅅㅎ[←] 爲_ 七2
105. ㅅㅅㄱ[→] 等_ 十五[5]
106. ㅀ[→] 七9 九6 -- 계 . 3
[←] —5복[2] —10복[2] -- 계 . 17
107. ㅌ[→] 속격 :
二8 二14 -- 계 . 137
속격/之 :
五15 六17 -- 계 . 4
어미/부사접미 :
若_ 二12 二22 -- 계 . 34
皆_ 二16 四10 -- 계 . 23
及_ —23 五7 -- 계 . 19
共_ 八7 九7 -- 계 . 4
[←] 從_ 六21 七22 -- 계 . 9
所_ 九9 十五18 -- 계 . 10
與_ 十八13
108. ㅌㅈ[←] 靡_ 十四18
109. ㅌㅈㅓ[→] 項_ 十四17
110. ㅌㅈㅀ[←] 靡_ 十三3
111. ㅌㄱㄴ[→] 無_ 六1
112. ㅌㄴ[→] 物_ 十九14
113. ㅌㅅㄱ[→] 應_ 十八5 十九17
114. ㅌㅏㅣ[←] 無/莫_ 九5 十七19
115. ㅌㅈ[→] 何_ 九6
116. ㅌㅈㅓ[→] '何_ —5복[2] —10- 계 . 5
117. ㅌㅐ[→] '種_ 十六23
118. ㅌㅐㅅㅈㅀ[←] 靡_ 二十5
119. ㅌㅐㅅㅁㅂㅀ[←] 莫/靡_十五21 十六1

3) 위 "欲ㅅ"에서 토 'ㅅ'(기)는 'ㅅ'(와/과)의 잘못으로 봐야 한다.
4) 위 "ㅅㄱㅅㅂㅐㅀ"에서 'ㄱ'은 'ㄹ'의 오자로 봐야 한다(No.102 참조).
5) 위 "ㅊㅅㄱ"에서 'ㅅ'는 'ㅣ'의 오자이다. '等_'에 붙였기 때문이다(No.001 등 참조).

120. ᄉᄀ[→] 始_ 八15
初_ 九19
121. ᄉᄉᄀ[←] 順_十九4
122. ᄉᄉᄀㅅ[←] 順_ 八3
123. ᄉᄉᄀᄉ[→] 與_ 九5 十四8
124. ᄉᄉㄱ[←] 應_ 五7
可_ 九2 九5
125. ᄉᄉㄱㄴ[→] '何_ 二17
126. ᄉᄉㄴㅣ[→] 然_ 十四14
應_ 九2
127. ᄉᄉᄇ[→] 周_ 十四18
128. ᄉᄉᄒᅔᄀ[←] 應_ 十四2
129. ᄉᄉᄒᅔᄇㅅㄱ[←] 應_ 十四3
130. ᄉᄉᄒᄑ[←] 應_ 七2
131. ᄉᄎㄱㅣㅓㄱ[←] 修_ 四2
132. ᄉᄒᄑ[←] 莫_ 七15
133. ᄉᄀ[→] 初_ 九4
134. ᄀᄇ[→] 曰_ 八22
135. ᄀ[→] 一11복[2] 一13 -- 계 . 100
136. ᄀᄂᄇㄴ[→] 十三23
137. ᄀᄂᅔ[→] 十四8 十五20
138. ᄀᄂᅔㄴㅣ[→] 十七3 二十15
139. ᄀᄂᅔᄀ[→] 十六6 十六8-- 계 . 3
140. ᄀᄂᅔᄇ[→] '藏_ 十九10
141. ᄀᄂᄉ[→] 十五1 十七14
142. ᄀᄂᄉㄱ[→] 十五24 十九2
143. ᄀᄂᄉㄴ[→] 一12 一15 -- 계 . 23
144. ᄀᄂᄉᄉ[→] 十七11 十七12-- 계 . 4
145. ᄀᄂᄉᄒ[→] 二5 五7 -- 계 . 5
146. ᄀᄂᄉᄒㅓ[→] 二24 九17-- 계 . 4
147. ᄀᄉᄂㄱ[→] 爾/是_ 一4 十九13
148. ᄀᄂᄂㅏㄱᄋᄀ[→] 然_ 十五14
149. ᄀᄂᄇ[→] 八18 十五6 -- 계 . 5
150. ᄀㅓ[→] 時/世_ 十三14 二十5
151. ᄀㅓㄱ[→] 時_ 三1 三13-- 계 . 4
152. ᄀᄒᄑ[←] 爲_ 五10
153. ㅅ[→] 十一8 十一9
154. ㅅᄉㄴ[→] 十一8 十一9
155. ᄒ[→] 속격 : 二6 二19 -- 계 . 41
之(속격) : 七2 七4 -- 계 . 4
156. ᄒᄆ[→] 自_ 十九18
157. ᄒㄴ[→] 自_ 六2
158. ᄒᄉ[→] 生_ 二7
159. ᄒㅓ[→] 처격 : 三8 六11 -- 계 . 10
160. ᄒᄉㄴ[→] 自_ 十二18[6]
161. ㅐ[→] 주격 : 二1 二12 -- 계 . 56
佛/如來 : 六8 六10 -- 계 . 6
접사/접미사 :
常_ 二3 五3 -- 계 . 20
普_ 十三12 十四21 -- 계 . 9
恒_ 二14 六23 -- 계 . 4
廣_ 五19 七21 -- 계 . 4
深_ 三15 七22
諦_ 八5 九2
巧_ 三8 五16
疾_ 五9
甚_ 十8
同_ 十九16
어미 :
至_ 十四20 十四24 -- 계 . 3
見_ 十四24
[←] 獲_ 十四10
得_ 十八13

6) 위 "自ᄒᄉㄹ"에서 'ᄒ'가 'ᄆ'로 보이나 '自_'는 '스싀'로'이므로 '싀/의'='ᄒ/의'라야 맞는다.

使_ 十八16
[→] 대명사 :
是_ 八16 九8 -- 계 . 14
此_ 八24
162. リ ミ[→] 雨_ 十六4
[←] 生_ 九11
163. リ ミ ホ[→] 十五19 十五23-- 계 . 3
164. リ ㄱ[→] 十四12 十四14 -- 계 . 5
165. リ ㄱ ㅅ し[→] 十七16 二十15
166. リ ノ ㄱ ㅅ し[←] 未_ 十九12
167. リ ナ ㅣ[→] 十五2 十五15복[2]
168. リ ナ ミ[←] 十七21
169. リ ナ ㄱ リ ㅣ[←] 生_ 九11
170. リ ナ 分[←]
令_ 十八1 十八13 -- 계 . 3
度_ 十八3 十八11 -- 계 . 3
示_ 十八17 十八21-- 계 . 3
佛_ 十八5
使_ 十九3
171. リ ナ 千 分[←] 九23 九24-- 계 . 5
172. リ ナ ロ ㅣ[←]
令_ 十四12 十九5 -- 계 . 3
173. リ メ ㄱ 矢 ミ[←] 示_ 十九24복[2]
174. リ 分[→] 二16 九4 -- 계 . 3
[←] 十八18
175. リ ヒ[→] 所_ 十八16
176. リ セ ソ ヒ 千 分[←] 靡_ 十四10
177. リ ラ 十[→] 下_ 四23[7]
此_ 十七20
178. リ ㅁ ㄱ[→] 示_ 二十5
179. リ ㅁ ㄱ ム[→] 十五23 二十7
180. リ ㅁ 尸 ム[→] 娛_ 六2
[←] 五19 十七21-- 계 . 3
181. リ ㅁ 尸 分[←] 度_ 十四22
182. リ ソ ミ ナ 千 皿[←] 無_ 十四9
183. リ ソ ナ ミ[←] 無_ 十五23 二十14
184. リ ソ ナ 千 分[←] 無_ 十4
185. リ ソ ナ ロ セ ㅣ[←] 無_ 十八19
186. リ ソ 分[←] 無_ 九10 十五4복[2]
187. リ ソ ヒ[←] 無_ 九10
188. リ ソ ヒ 尸 ㅅ ㄱ[←] 無_ 十三17
189. リ ソ ヒ 千 分[←] 無_ 十三16 十四1
190. リ ソ ヒ 亞[←] 無_ 四1
191. リ 十[→] 十九5 二十1
192. リ 十 ㄱ[→] 十四15 十四16-- 계 . 3
193. リ 土 ㄱ ㅣ 十 ㄱ[→] 八1 八2
194. リ 土 ナ ロ セ ㅣ[←] 所_ 八18
195. リ 土 ヒ セ[→] 難_ 十七22
196. リ ロ ハ ネ ノ 尸 ム[←] 度_ 十四9
197. リ ロ ヒ ∅[←] 令_ 十四24
198. リ ロ ヒ 分[←] 令_ 二十5
199. リ ロ ヒ ㄱ 彳[→] 德_ 九6
200. リ 尸[→] 二6복[2] 二7복[2] -- 계 . 19
[←] 四7 六9 -- 계 . 7
201. リ 尸 ㅅ ㄱ[→] 二19[8]
202. リ 尸 ㅅ し[→] 十九9 十九10-- 계 . 7
203. リ 尸 ㅅ し ソ ナ ㄱ リ 分[→] 九22 十3
204. リ 尸 ㅅ し ソ 分[→] 本_ 十12
[←] 所_ 十九6
205. リ 尸 ㅅ し ソ ナ 分[→] 王_ 十九6
206. リ 尸 ㅅ し ソ 分 ソ ナ ㄱ リ 分[→] 十12
207. リ ヒ 尸 ㅅ ㄱ[←] 十一19 十一24-계 . 3
208. リ ヒ 千 分[←] 十13 十一18-- 계 . 4
209. リ ヒ 亞[←] 三4 四17 -- 계 . 5
210. リ ミ[→] 十八복[2] 十七2

7) 위 "下リラ十"에서 토 'リ'가 'ㄱ'으로 보이나 뜻이 '下リラ十'(나리의회)이므로 'リ'라야 맞는다.

8) 위 "願リ尸のㄱ"에서 토 'リ'가 'ロ'으로 보이나 '依リ尸'<2:6>, '救リ尸'<2:6>, '炬リ尸'

211. ㄲㅅㄲナオ分[←] 無_ 九24
212. ㄲㅀㄱし[→] 十五19 十九2
213. ㄲㅀトㄱし[←] 度_ 十八8
214. ㄲㅀㅁㄱ入し[→] 十15 十17
215. ㄲㅀ今七[←] 照_ 十六5
216. ㄲ寺[→] 十九6복
217. ㄲ寺ノ尸ム[→] 說_ 十九6
218. ㄲ寺ソ氵[→] 才_ 十九6
219. ㄲ矢[←] 非_ 九10
220. ㄲ矢ノ尸[←] 能_ 八18
221. ㄲ矢ソ氵今[→] 堪_ 二十5
222. ㄲ矢ソコロしヤセ丨[←] 不_ 九7[9]
223. ㄲ皿[→] 客_ 十九8
[←] 七16 八1
224. ㄲ皿尒[→] 者_ 十九8
225. ㅁ[→] 六4 九6 -- 계 . 8
[←] 隨_ 二14 三5 -- 계 . 18
226. ㅁ氵[←] 現_ 十四23 十九20
227. ㅁ氵尒[→] 具_ 八11
[←] 具_ 三20 七12-- 계 . 4
現_ 十八23 十九21
露_ 十九19
228. ㅁㄱ[→] 九9 十八5
229. ㅁㄱ入し[←] 無_ 十三18 十八17
230. ㅁㄱ入しソ氵[←] 無_ 十九19
231. ㅁノ尸[→] 樂_ 六3 十七17
232. ㅁノ尸ム[←] 隨_ 十三14
233. ㅁナㄱミ[←] 備_ 十六22
234. ㅁナ分[←] 現_ 十八15
235. ㅁナヤセ丨[←] 作_ 二十3
236. ㅁナ今七[←] 樂_ 十八5
237. ㅁトㅁㄱ入ㄱ[→] 現_ 十五2
238. ㅁ分[←] 現_ 十四21 二十2
239. ㅁ分ソ氵[←] 現_ 十四21
240. ㅁソ氵尒[←] 樂_ 十八15
241. ㅁソ今七[←] 好_ 十八1
242. ㅁロヒ分[←] 現_ 十五9
243. ㅁ尸[→] 十四24 十五23-- 계 . 6
244. ㅁ尸入ㄱ[→] 利_ 十二7
245. ㅁ尸ム[→] 十三16 二十14
[←] 九3 九8 -- 계 . 4
246. ㅁヒ尸入ㄱ[←] 具_ 十二9
現_ 十三5 十三13
247. ㅁヒ分[←] 現_ 十三4 十三12
具_ 十二8
248. ㅁヒ立[←] 具_ 三12 四5 -- 계 . 5
249. ㅁオㄱ矢[→] 得_ 十8
250. ㅁ今ラ十[←] 說_ 十8
251. ソ[←] 八21 十八19 -- 계 . 4
252. ソ氵[→] 四8 八2 -- 계 . 9
[←] 二10 九4 -- 계 . 8
253. ソ氵八[→] 三24 四11 -- 계 . 18
254. ソ氵ㅁ尸[→] 二十11
255. ソ氵ㅁㅁ[→] 九5
256. ソ氵ソㄱ[←] 十七4 十七20
257. ソ氵ソㄱヒㄱ[←] 求_ 九12
258. ソ氵今[→] 十19 十20 -- 계 . 3
259. ソ氵尒[→] 二14 二21 -- 계 . 40
260. ソㄱ[→] 或_ 十四21복[2] 十四23 --
계 . 38
亦_ 八24 九9 -- 계 . 8
餘_ 四1 十三16-- 계 . 4
今_ 二11 八23-- 계 . 4
頭_ 九1
勝_ 十九20
復_ 十九24
[←] 如_ 十七19 十九15
261. ソㄱ丨十[→] '心_ 二18
262. ソㄱ丨十ㄱ[→] 二19 四24 -- 계 . 3

등이 있어 'ㄲ尸'가 맞는다.

9) 위 토 '不ㄲ矢ソコロ乙ヤセ丨'에서 첫 'ノ'자가 있는 것 같이 보임은 잘못이므로 이를 삭제하여 바로 잡는다.

263. ソフし[→] 五3 五10 -- 계. 5
[←] 六16 七2
264. ソフしゅ[←]歸_ 三14 三15-- 계. 3
265. ソフ入し[→] 四14 八14
266. ソフリミ[→] 好_ 十五20
267. ソフ矣ミ[→] 十五11복[4] 十五12복[2]
268. ソナ氵[→] 十八7 二十4
[←] 十七22 十八11-- 계. 3
269. ソナフ入ゅ[←] 稟_ 二十6
270. ソナフリ丨[→] 心_ 九19
271. ソナフリ分[→] 九13 九15-- 계. 3
272. ソナフリ分ミ[→] '然_ 十八22
273. ソナ分[→] 十八7 十八9 -- 계. 4
[←] 十四15 十六7-- 계. 8
274. ソナ尸矣ミ[←] 不_ 十四16
275. ソナオ分[←] 十1 十5 -- 계. 4
276. ソナオミ[←] 不_ 十八14
277. ソナ厂七丨[←] 十7 十六6 -- 계. 4
278. ソナ令し[←] 奏_ 十六1
279. ソナ令ミ[←] 十五8 十五17-- 계. 3
280. ソトフし[→] '并_ 五17
281. ソト冖フ[→] 作_ 十八10
282. ソト冖フ入し[←] 十九24 二十1
283. ソメフ入フ[←] 求_ 九10
284. ソ入[→] 歎_ 八11
285. ソ分[→] 二15 二16 -- 계. 8
[←] 一19 一21 -- 계. 18
286. ソ分ノ尸厶[←] 求_ 二十3
287. ソ分ソ[←] 九13 九15
288. ソ分ソ氵[→] 十八1 十九23
[←] 塗_ 十八3
289. ソ分ソナフ入ゅ[←] 九19
290. ソ分ソ令し[←] 演_ 十七1
291. ソセ彳[→] 養_ 九17
292. ソセ彳ソナオミ[←] 證_ 九4
293. ソコ乃[→] 揚_ 九7
294. ソ土フ[→] 三13 四4 -- 계. 4
[←] 三1 三6 -- 계. 6
295. ソ土フ丨十フ[→] 二21 三4--
계. 7
[←] 二20 二24-- 계. 22
296. ソ土フミ[→] 十九12
297. ソロ[→] 十七20
[←] 九22 十八15 -- 계. 3
298. ソロフ[→] 十一15 十一16-- 계. 3
299. ソロハ[←] 三1 四12 -- 계. 5
300. ソロハ为立[←] 演_ 八24
301. ソロヒ分[→] 十六3
[←] 十六5
302. ソロヒオ分[←] 化_ 十四18
303. ソ尸[→] 十一16 十一24 -- 계. 5
[←] 五22 七15 -- 계. 4
304. ソ尸丁ノ尸[←] 不_ 二17 七15
-- 계. 10
305. ソ尸カソナミ[←] 以_ 十七14
十七15
306. ソヒ七[→] 四24 五24 -- 계. 13
307. ソヒ尸入フ[→] 八16 十21-- 계. 5
[←] 二12 十15-- 계. 31
308. ソヒ尸入し[→] 行_ 十13
[←] 住_ 十四1
309. ソヒ支立[→] 隱_ 二22
310. ソヒオ分[→] 十20 十一7-- 계. 5
[←] 十11 十14 -- 계. 32
311. ソヒ立[→] 三2 三11 -- 계. 19
[←] 三7 三8 -- 계. 49
312. ソヒ立ノオナ丨[←]顧_ 八15
313. ソミ[→] 乃_ 十八1
314. ソ为トフ入しソヒ尸オ分[←] 調_
十三4
315. ソ为冖フ入フ[→] 十一14 十一15

316. ソゐヰフヒセ[→] 行_ 八24
317. ソゐヰア[→] 十13 十一2 -- 계 . 5
318. ソゐ矢分[←] 九16
319. ソ个七[→] 七7 七12 -- 계 . 6
[←] 七6
320. ソま[→] 二5복^2 六12 -- 계 . 8
[←] 二11 二20 -- 계 . 9
321. ソまノア[→] 養_ 二6
322. ソまヰフラ十[→] 家_ 三13
323. ソまソ[←] 樂_ 二12
324. ソまソネ[→] 示_ 二十1
325. ソまソネ尔[→] 六12 十八12
326. ソまソナフリミ[→] 十八20
327. ソまソナチ分[←] 示_ 九21
328. ソまソナチ皿[←] 出_ 九21
329. ソまソトヰフ入し[←] 行_ 十八18
330. ソまソ土フ[←] 學_ 三17
331. ソまソロヒ分[→] 布_ 十四20
332. ソまソロヒ火七ハア入フ[→]
養_ 十四10
333. ソまソヒ夷立[←] 養_ 二20
334. ソ立[→] '位_ 十四2
335. ソ白[←] '養_ 十五16
336. ソ白分[←] 九14 十五3
337. ソ白ヰア厶[←] 十一12 十一13
338. ソ白ヰヰ[←] '獻_ 十五22
339. ソ白ヰ个七[←] 十六2 十七6
340. ソ白土フ[←] 八5
341. ソ白土フ丨十フ[←] 八7 八8-- 계 . 4
342. ソ白ヒ分[←] 十五19 十五23
343. ソ白ヒア入フ[←] 十10 十14
-- 계 . 4
344. ソ白ヒチ分[←] 十一11 十一13
345. 十[→] 一4 二10 -- 계 . 5
346. 十フ[→] 時_ 三6 四4 -- 계 . 10

<3 획>

347. 土[→] 永_ 二21 二24 -- 계 . 18
故_ 十八17
348. 土フ[←] 受_ 七19
349. 土フ丨十フ[→] 八15
[←] 三8 三18-- 계 . 11
350. 土ナフ丁[←] 問_ 二12
351. 土ナヰヒ丨[←] 莫_ 十四8
352. ロハ[→] 訖_ 四13
353. ロハフ[←] 見_ 十九12
354. ロヒチ分[←] 說_ 十四16
355. ロ个[→] 等_ 十四8
356. 卩[←] 如_ 十八9
357. ア[→] 二14 二17 -- 계 . 52
[←] 三17 六11 -- 계 . 11
358. ア十[→] 薩_ 一4 六8 -- 계 . 5
359. ア丁ノ个ロフチア入フ[←] 獲_二18
360. ア力ソ分[←] 說_ 二十8복^2
361. ヒア入フ[←] 十一16 十二4
-- 계 . 5
無_ 十17 十20 -- 계 . 7
得_ 十一2 十一9 -- 계 . 4
362. ヒチ分[←] 十一4 十一15 -- 계 . 9
無_ 十16 十一15 -- 계 . 7
得_ 十一1 十一8 -- 계 . 5
363. ヒ干皿[←] 獲_ 二13
364. ヒゐア入フ[←] 現_ 十二16
365. ヒゐチ分[←] 現_ 十二15
366. ヒ立[←] 二24 三1 -- 계 . 42
367. 亻[→] 哉_ 二10 九2
368. 夷[→] 能_ 二15 二18 -- 계 . 35
則_ 二13 八16 -- 계 . 11
善_ 一19 二12 -- 계 . 9

故_ 八21 九15
[←] 如_ 八16 九8 -- 계 . 12
369. 支ノ尸入し[←] 離_ 十八14
370. 支ソ氵[←] 如_ 二15 五11-- 계 . 4
371. 支ソ氵ハ[←] 如_ 八6 十四6
372. 支ソ氵ホ[←] 如_ 十四18 十九7
373. 支ソ冂[←] 如_ 十五2 十五7
-- 계 . 3
374. 支ソ冂し[←] 如_ 十五19
375. 支ソ冂しソ分[←] 如_ 九9
376. 支ソ冂しソロしヲ亡ヒ[←] 如_
九3 九9
377. 支ソ冂リ丨[←] 如_ 十9
378. 支ソ冂矢ミ[←] 如_ 十五13복[2]
379. 支ソ分[←] 善_ 十九9
380. 支ソ分ソ氵[←] 如_ 九17
381. 支ソロ冂し[←] 如_ 十八12
382. 支ソ尸入し[←] 如_ 十七3
383. 支ソヒヒ[←] 如_ 二12
384. 支ソヒ尸入冂[←] 如_ 十二21
385. 支ソヒチ分[←] 如_ 十二20
386. 支ソヒ立[←] 如_ 三15 五19
387. 支ロハ[←] 離_ 三11 五6-- 계 . 3
388. 支ヒ尸入冂[←] 離_ 十一23
389. 支ヒ支立[←] 離_ 二21
390. 支ヒチ分[←] 離_ 十一22
391. 支ヒヲ[←] 離_ 五4
392. 支ヒ立[←] 離_ 六7 六13
393. 支ヒ立ソメチ分[←] 免_ 二19
394. ケ丨ノ尸ム[←] 徧_ 十四17
395. 氵[→] 己_ 七20 八23
乃_ 十四20 十四24
難_ 十三14
[←] 爲_ 八23十三14 -- 계 . 4
與_ 二6
396. 氵氵[←] 以_ 九11 九19 -- 계 . 3
397. 氵氵ハ[←] 爲_ 十三10
398. 氵ナヲ丨[←] 以_ 十五7
399. 氵分[←] 爲_ 七18 十八3
400. 氵ヲ[←] 爲_ 十四16 十八7
-- 계 . 4
401. 氵ヲ仝七[←] 爲_ 一10
402. 氵ソ冂リミ[←] 爲_ 十五21
403. 氵ソ冂リミノ仝し[←] 爲_ 十五21
404. 氵ソ土冂丨十冂[→] 己_ 七5
405. 氵ソロ[→] 己_ 八21 二十5
406. 氵尸カソ分[←] 爲_ 十九20
407. 氵ヒ尸入冂[←] 爲_ 十二23
408. 氵ヒチ分[←] 爲_ 十二22
409. 氵ヒ立[←] 爲_ 五24
410. 氵ヲ[←] 爲_ 十九13
411. 氵ヲナ冂し[←] 爲_ 十六8 十六10
412. 之七[→] '切_ 三16
413. 下[→] 名_ 二十15
414. 仌丨ノ冂[→] 徧_ 十三3
415. 仌丨ソ氵[←] 徧_ 十五17
416. 仌リナ分[←] 思_ 二十1
417. 仌リナチ分[→] 九22 十3 -- 계 . 3
418. 仌リトフミ[→] 就_ 十七18
419. 仌リ分[→] '足_ 十七17
420. 仌リヒ立[→] '合_ 五5
421. 仌仝し[→] '分_ 九3 九8

<4 획>

422. ヲ[→] 心_ 二13 三9 -- 계 . 16
壽_ 十八20
423. ヲし[→] 者_ 十八5
424. ヲ七[→] 滴_ 九3
425. ヲロハ斤[→] 訖_ 七20

426. 火七[→] 勤_ 十一4 十一5
427. 火七ハ尸入ㄱ[→] 行_ 二十5
428. ㅎㄱ[←] 無_ 十一13 十一14
429. ㅎㅁㄱ[→] 說_ 八3
430. ㅎㅁㄱヒ七[→] 修_ 八23
431. ㅎㅁㄱ矢ㅅ[←] 無_ 十四15 十五10
432. ㅎㅁㅁ[→] 聽_ 九2
433. ㅎㅁㄱ[→] 善_ 九2
434. ㅎ尸[→] 言_ 一4 二10
曰_ 九1
435. ㅋ[←] 得_ 八14
指_ 十11
無_ 十四17
轉_ 十四20
436. ㅋㅅナㄱㅅ[←] 無_ 十四17
437 ㅋㅅヒ尸入ㄱ[←] 修_ 十11
438. ㅋㅅヒチハ[←] 修_ 十10
439. ㅋㅅヒ立[←] 無_ 八14
440. ㅋ[→] '疾_ 四13
'能_ 六22
441. ㅋㅅㅅ[←] 慨_ 十八5
442. ㅋㅅトㅁㄱ入ㄱ[→] '在_ 十五7

<5 획>

443. 尔[→] 各_ 十五1
444. 多[→] 不_ 十三3 十五1-- 계 . 3
445. 矢[→] 佛_ 四19 四23 -- 계 . 19
能_ 五8 八8 -- 계 . 8
446. 矢ㄱし[←] 不_ 九2 十五9
447. 矢ㄱㅅ[←] 非_ 十五24
448. 矢ヒㄱ入ㄱ[←] 不_ 十一15
449. 矢ヒㄱ入し[←] 不_ 十一16
450. 矢夕[←] 不_ 五5
451. 矢リ[←] 不_ 九12 十九14
452. 矢支リ夕[→] 元_ 九20
453. 矢四[←] 非_ 二十11
454. 白ㅅㄱ丨十ㄱ[←] 見_ 八4
455. 白ム[←] 見_ 八6
456. 白ヒ尸入ㄱ[←] 見_ 十一15
457. 白ヒチ夕[←] 見_ 十一14
458. 白ヒ立[←] 見_ 八4

<9 획>

459. 連[←] 如_ 二14 十一11 -- 계 . 3
460. 連尸[→] 果_ 十四9
461. 連尸[←] 矯_ 六19

借字數 57 字
總吐數 461 種
總頻度 3245 回

4. '華嚴吐'의 機能體系

凡例 : ·지면의 제약상, 대표적인 3例만을 제시한다(나머지는 본문에서 참조 바람).
·아래의 類合律은 거의 '끝字기준'인데, 간혹 '첫字기준'(ㅣ_/ㅅ_ 따위)도 있다.
·이하 [複機]란 표기는 그 외에 다른 機能도 가능하다는 '複數機能'의 약자이다.

4.1. 助詞類

4.1.1. 格助詞

主格		§1
161.	ㅣ/	('薩_ : 보살)이
451.	矣ㅣ/	(不_ : 아닌 것)이
137.	ㅣㅅ丌Ø/	('人_ : 세인)이나 하올 이가
:		계 . 66

屬格(1)		§2
155.	ㅋ/	('生_ : 중생)의
004.	ㅣㅅㄱㅋ/	(等_ : 나란히 하)다 한 것의
145.	ㅣㅅㅜㅋ/	('王_ : 범왕)이나 한다는 것의
:		계 . 56

屬格(2-1)		§3
107.	七/	('生_ : 중생)의
014.	ㅣ七/	('間_ : 세간)에의
158	ㅋ七/	('生_ : 중생)에의
:		계 . 180

屬格(2-2)		§4
030.	ㅣㅜ七/	(滅_ 멸)한다는 것의
065.	ㅅㅜ七/	(敬_ 공경)한다는 것의
319.	ㅅㅜ七/	(捨_ 버린)다는 것의
:		계 . 30

特異屬格		§5
090.	<上聲字> ㅁ/	(佛_ : 부처님)의
445.	<去聲字> 矣/	(佛_ : 부처님)의
:		계 . 22

處格(1)		§6
345.	十/	(時_ : 때)에
150.	ㅣ十/	(時_ : 때)에
191.	ㅢ十/	(世_ : 세간)에
:		계 . 16

特異處格		§7
358.	尸十/	_께
057.	ㅅ尸矣十/	('滅_ : 없어)짐에
:		계 . 6

對格(1)		§8
033.	ㄱㄹ/	_ㄴ것을
111.	七ㄱㄹ/	_는 이를
446.	矣ㄱㄹ/	_(않)음을
:		계 . 54

對格(2)		§9
039.	ㄹ/	_을,를
112.	ㅌㄹ/	_ㅅ을
157.	ㅋㄹ/	_의를
:		계 . 27

對格(3)		§10
154.	ㅅㅜㄹ/	_과 (그리) 한다는 것들을
160.	ㅋㅜㄹ/	_로 (그리) 한다는 것들을
143.	ㅣㅅㅜㄹ/	_이나 (그리) 한다는 것들을
:		계 . 3

具格		§11
008.	ㅟ/	_(으)로
156.	ㅋㅟ/	_(싀)로
040.	ㄹㅟ/	_으로
:		계 . 30

共同格 [ㅅ의 先行]		§12
153.	ㅅ/	_와
154.	ㅅㅜㄹ/	_와 (그리) 한다는 것을
:		계 . 6

呼格		§13
009.	ㅇ/	_아/_야
413.	ㅎ/	_하(_시여)
:		계 . 6

4.1.2. 補助詞

主題(1)[事項+]		§14
032.	ㄱ/	_은, _는
353.	ㅁㅏㄱ/	_고서는
142.	ㅣㅅㅜㄱ/	_이나 한다는 것들은
:		계 . 84

主題(2) [處格+]		§15
346.	ㅓㄱ/	_(時_ : 때)에는
151.	ㅣㅓㄱ/	_(時_ : 때) 등에는
020.	ㅇㅓㄱ/	_(中_ : 가운데)에는
:		계 . 18

主題(3)[條件+]		§16
010.	ㅇㄱㅣㅓㄱ/	_때에는
454.	ㅂㅇㄱㅣㅓㄱ/	_(뵈)옵는 때에는
295.	ㅅㅎㄱㅣㅓㄱ/	_(하)였을 때에는
:		계 . 67

主題(4) [境遇+]		§17
052.	ㅅㅅㄱ/	(自_ : 스스)로 (그리) 한 경우는
--	ㅅㅎㄱ/	(自_ : 스스)로 (그리) 한 경우는
:		계 . 3

亦是(1)		§18
084.	ㅋ/	(亦_ :)도 → 또
021.	ㅇㅓㅋ/	_에도
003.	ㅣㅅㄱㄹㅇㅋ/	_(같)다 하여도
:		계 . 4

亦是(2)		§19
360.	ㅍㅋ_ /	_(설명)함도
406.	ㅐㅍㅋ_ /	_(되는) 것도
305.	ㅅㅍㅋ_ /	_(갖었)음에도
:		계 . 7

指目			§20
426.	火ㄴ/	(힘써서)만	
427.	火ㄴ_/	(苦行)만	
048.	乙火Ø/	(모양인 것)만	
:			계 . 5

列擧 [ᄉ의 先行]			§21
135.	ᄉ/	_이나	
149.	ᄉㅅㄲ/	_이나 한 것	
136.	ᄉㅅㄲ乙/	_이나 한다는 것을	
:			계 . 106

接續(1) [ᄉ의 後行]			§22
296.	ㅅㅂㄱᄉ/	(이룩)하였음이라	
447.	矢ㄱᄉ/	(아닌) 것이라	
418.	ㅅㅐㅏㄱᄉ/	(성취)케 하는 중이라	
:			계 . 17

接續(2)			§23
008.	ㅟ/	(而_ : 시)로 → 이로므로	
--	ㅟ/	(故_ : 고)로	
:			계 . 22

每樣			§24
394.	ㄲㅣ_/	(徧_ : 곳곳)마다	
:			계 . 1

强勢 (1) [ᄋ의 先行]			§25
395.	ᄋ/	(已_ : 이미)~	
396 -411	ᄋ_/	(以_ : 써)	
:			계 . 34

强勢 (2) [ᄋ의 後行]			§26
210.	_ᄋ/	(已_ : 이미)~	
313.	ㅅᄋ/	(乃_ : 이에)~	
116.	ㅌᄉᄋ/	(云何_ : 어떻)게여	
:			계 . 9

4.2. 語尾類

4.2.1. 連結語尾

說明(1)			§27
219.	ㅐ矢/	(非_ : 아니)ㅁ이	
220 -22.	ㅐ矢_/	('能_ : 불능한) 것이	
038.	ㄱ矢/	(無 _ : 없는) 것이	
:			계 . 6

說明(2)			§28
051.	ㅅㄱㅁ/	(生_ : 생)겨나되	
179.	ㅐㅁㄱㅁ/	(雨_ : 비내)리옵되	
245.	ㅁㄲㅁ/	(知_ : 알으)옵되	
:			계 . 28

羅列			§29
197 -99.	ㅐㅁ_/	(令_ : 시)키고	
297.	ㅅㅁ/	('察_ : 관찰)하고	
405.	ᄋㅅㅁ/	(已_ : 그)치고	
:			계 . 32

並行(이系)			§30
174.	ㅐㅿ/	('一_ : 제일)이며	
170.	ㅐㄴㅿ/	(度_ : 건)넸으며	
:			계 . 92

並行(ᄒᆞ系) §31

106. ᄀᆞᆫ/ (具_ : 갖추)며
285. ᄂᆞᆫᄀᆞᆫ/ (具足_ : 구족)하며
013. ᄋᆞᆷᄀᆞᆫ/ (滅_ : 없)이 하며
: 계 . 147

樣態 (1) [아/어 系] §32

009 -31. ᄋᆞ/ (悉_ : 다)아
108. ᄒᆞᄋᆞ/ (靡_ : 없)어
162. ᄇᆡᄋᆞ/ (雨_ : 비내)리어
: 계 . 116

樣態(2) [오系] §33

225. ᄆᆞ/ (樂_ : 즐)겨
231 -50. ᄆᆞ_/ 대표 (樂_ : 즐)겨
120. ᄒᆞᄆᆞ/ (始_ : 비로)소
: 계 . 72

樣態(3-1) [ㅅ의 後行] §34

012. ᄋᆞᄉᆞ/ (無_ : 없이 하)여서
253. ᄂᆞᄋᆞᄉᆞ/ ('固_ : 견고 하)여서
041. ᄀᆞᆷᄉᆞ/ (塵_ : 티끌)으로서
: 계 . 39

樣態 (3-2) [ㅁㅅ의 後行] §35

352. ᄆᆞᄉᆞ/ (訖_ : 마치)고서
299. ᄂᆞᄆᆞᄉᆞ/ (捨_ : 버리)고서
387. ᄉᆞᄆᆞᄉᆞ/ (離_ : 여)의고서
: 계 . 10

樣態(4) [ㅅ의 先行] §36

075. ᄉᆞ/ (欲_ : 하)고자_
076 -80. ᄉᆞ_/ (事_ : 섬기)어서_
: 계 . 10

仮定(1) §37

091. ᄉᆞᄀᆞ/ (願_ : 원한다)면
283. ᄆᆞᄀᆞ ᄉᆞᄀᆞ/ (求_ : 구하려)면
315. ᄂᆞᆼᄀᆞᄀᆞ ᄉᆞᄀᆞ/ ('住_ : 계시온다)면
: 계 . 5

仮定(2) §38

201. ᄇᆡ ᄇᆞᄉᆞᄀᆞ/ (願_ : 원)한다면
361. ᄋᆞᄇᆞ ᄇᆞᄉᆞᄀᆞ/ (知_ : 안)다면
101. ᄉᆞᄀᆞᄂᆞᄇᆞ ᄇᆞᄉᆞᄀᆞ/ (爲_ : 하)실 것이면
: 계 . 98

敎諭 §39

435 -39. ᄒᆞ/ (得_ : 얻는다)네
216. ᄇᆡᄒᆞ/ ('思_ : 아담한 생각)이네
320. ᄂᆞᄒᆞ/ ('敬_ : 공경하)네
: 계 . 44

進行 §40

082. ᄐᆞᄀᆞ_/ (受_ : 받는) 중_
083. ᄐᆞᄀᆞᄀᆞ_/ (見_ : 보는) 중_
213. ᄇᆡᄒᆞᄐᆞᄀᆞ_/ (度_ : 건지시는) 중_
: 계 . 16

使役(1) §41

163. ᄇᆡᄉᆞᄒᆞ/ (出_ : 나오)게끔
259. ᄂᆞᄉᆞᄒᆞ/ (住_ : 머물)게끔
227. ᄆᆞᄉᆞᄒᆞ/ (具_ : 갖추)게끔
: 계 . 125

使役(2) §42

414 -15. ᄉᆞᄋᆡ_4)/ (徧_ : 두루)하게
416 -19. ᄉᆞᄇᆡ_ 5)/ (思_ : 생각)하게
211. ᄇᆡᄉᆞᄇᆡ_/ (無_ : 없)이 하게
: 계 . 11

認知 (1) [ㅅㄹ의 先行] §43

104. ᄉᆞᄅᆞᄂᆞᄒᆞ/ (爲_ : 된)것을 (그리)함
098. ᄉᆞᄅᆞᄂᆞᄀᆞ/(爲_ : 된)것을 (그리)하며
093. ᄉᆞᄅᆞᄂᆞᄉᆞᄉᆞ/(爲_ : 된)것을(그리)하여서
: 계 . 25

認知(2) [ㅅㄹ의 後行] §44

165. ᄇᆡᄀᆞᄉᆞᄅᆞ/ (同_ : 같)은 것들을
050. ᄂᆞᄀᆞᄉᆞᄅᆞ/ (空_ : 공)한 줄을
265. ᄂᆞᄀᆞᄉᆞᄅᆞ/ (穢_ : 더러)운 것들을
: 계 . 63

因果(_니) §45
175. ㅣㅂ/ (所_ : 바)이니
: 계 . 1

逆接(1) §46
299. ᄉㅁㄱ/ (滅_ : 멸)하건만
381. ᄒᆞᄉㅁㄱ/ (如_ : 같)다 하건만
359. ᄃᆞᄀᆞᄉᆞᆷㅁㄱ/ (獲_ : 얻는)구나 하건만
: 계 . 5

逆接(2) §47
293. ᄉᆞᄆᆞᄀᆞ/ (稱揚_ : 칭찬)하시나
: 계 . 1

特異逆接 (3) §48
032. ∅ㄱ/ (而_시)곤 그러나
: 계 . 1

語幹(ᄒᆞ/오) §49
251. ᄉᆞ/ ('示_ : 현시)하
287. ᄉᆞᄀᆞᄉᆞ/ ('益 : 이익)하며 (그리)하
400. ᄒᆞᄆᆞ/ (爲_ : 이루)온
: 계 . 11

先語末語尾 §50
335. ᄉᆞᄇᆞ/ ('養_ 공양)하시옵
336 -44. ᄉᆞᄇᆞ_/ 대표 (念_ : 염불)하시옵
: 계 . 20

4.2.2. 轉成語尾

冠形形(樣相) [ㅇ系] §51
(/名詞形) [複機]
032. ㄱ/ (有-잇)ᄂᆞᆫ → 있는
164. ㅣㄱ/ (道-도)인
165. ㅣㄱ-/ (同-동)인
: 계 . 12

冠形形(樣相) [ᄒᆞ系] §52
049. ㅅㄱ/ (熟_ : 훈습)한
001. ㅣᄉㄱ/ (等_ : 나란히)한
124. ㅌᄉㄱ/ (應_ : 마땅)한
: 계 . 158

冠形形 (樣相) [오系] §53
228. ㅁ ㄱ/(履_ : 밟)은
229 -30. ㅁ ㄱ_/ (없)은
429 -31. ㅱㅁ ㄱ/ (說_ : 이르샤)온
: 계 . 20

冠形形 (말음첨 기) §54
032. ㄱ/(一_ ᄒᆞ)ㄴ → 한
-- ㄱ/(宜_* 맛)ᄃᆞᆫ → 맛당
-- → 마땅
-- ㄱ/(衆_ 모)ᄃᆞᆫ → 모든
: 계 . 107

冠形形 (ᄒᆞ添用 語) §55
260. ᄉᆞㄱ/ (餘_ 남)ᄒᆞ오 → 남은
-- ᄉᆞㄱ/ (如 _ 곧)ᄒᆞ오 → 같은
-- ᄉᆞㄱ/ (勝_ 승)ᄒᆞ오 → 승한
: 계 . 10

冠形 形(意圖法) §56
173. ㅣᄆᆞㄱ_/ (示_ : 보)이려는
283. ᄉᆞᄆᆞㄱ/ (求_ : 구)하려는
: 계 . 3

冠形形(回想法) §57

193. ㅣㅅㄱ_/ (炎毒_ : 이)었던
086. ㅛㅅㄱ/ (有_ : 있)었던
131. ㅌㅅㄱ_/ (修_ : 닦)었던
: 계 . 61

名詞形 [複機] (樣相) §58

414. ㅅㅣㄴㄱ/ (-- 徧_ : 널)리 않게 한 것
124. ㅌㄴㄱ/ (應_ : 응)한 것
322. ㄴㅎㅁㄱ/(出家_ : 출가)하네 (그리)한 것
: 계 . 28

名詞形 (末音 -ㅁ §59

422. ㅁ/ (心_ : 마으)ㅁ
133. ㅌㅁ/ (初_ : 처으)ㅁ
066. ㄴㅁ/ (敬禮_ : 경례)함
: 계 . 30

名詞 形 (말음첨 기) §60

009. ㅈ/ (所_ : 바)아
: 계 . 8

名詞形 (理由/ ᄃᆞ로) §61

077. ㅎㄴㄹㅅㅱ / (欲_ : 고)자 하는 까닭
076. ㅎㄴㅡㄹㅅㅱ/(欲_ : 고)자 하시는 까닭
: 계 . 3

名詞形 (傳達) §62

064. ㄴㅿ/ (知_ : 안)다는 것
290. ㄴㅏㄴㅿ_/ (演_ : 연주)하며 한다는 것
250. ㅁㅿ_/ (說_ : 말)한다는 것
: 계 . 82

名詞形 (行使) §63

357. ㄹ/ ('離_ : 버려 떠)남
053. ㄴㄹ/ ('益_ : 이익)함
303. ㄴㄹ/ ('礙_ : 장애)함
: 계 . 366

名詞形 (進行) §64

082. ㅏㄱ_/ (受_ : 받는) 중임_
280. ㄴㅏㄱ_/ ('井_ : 우물긷는) 중임_
083. ㅏㅁㄱ_/ (見_ : 보는) 중임_
: 계 . 16

名詞形 (한 것) §65

187. ㅣㄴㅂ / (無_ : 없)이 하는 것
188 -90. ㅣㄴ ㅂ_/ (無_ : 없)이 하는 것
195. ㅣㅅㅂ_/ ('難_ : 재난)이었던 것
: 계 . 상당

副詞形 (접미사) §66

440. ᄒᆞ/ (速疾_ : 속질)히
441. ᄒᆞ_/ (惙_ : 쾌)히
442. ᄒᆞ_/ (自_ 스스)리
: 계 . 4

副詞形(접미사) §67

161. ㅣ/ (常_ : 덛덛)이
-- ㅣ/ (恒_ : 덛덛)이
-- ㅣ/ (廣_ : 넙)이
: 계 . 50

副詞形 (접미사) §68

107. ㄷ/ (若_ : 하다가)ㅅ → 만약
-- ㄷ/(皆_ : 다아)ㅅ → 죄다
-- ㄷ/(及_ : 미)ㅅ → 믿 → 및
: 계 . 138

副詞形(접미사) §69

075. ㅅ/ (當_ : 반ᄃᆞ기→ 반드시
-- ㅅ/ (必_ : 반ᄃᆞ)기 반드시
-- ㅅ/ (但_ : 오지)기 오직
: 계 . 7

副詞 形(접미사) §70

347. ㅊ/(永_ : 길)거 → 길게
-- ㅊ/(故_ : 그랑)거 → 그랑개
: 계 . 19

副詞形(접미사)			§71
008.	ᄭᅴ/(而_ : 시)로	→	이로
--	ᄭᅴ/(故_ : 젼ᄎ)로	→	이유로
:			계 . 22

副詞 形 (말음첨기)			§72
009.	ᄀᆞ/(悉_ : 다)아	→	다
--	ᄀᆞ/(以_ : 뼈)아	→	써
--	ᄀᆞ/(問_ : 물)아	→	물어
:			계 . 38

副詞 形(말음첨기)			§73
260.	ᄋᆞᆨ/(或_ : 혹)ᄒᆞᆫ	→	혹은
--	ᄋᆞᆨ/(亦_ : 도)ᄒᆞᆫ	→	또한
--	ᄋᆞᆨ/(復_ : 도)ᄒᆞᆫ	→	또한
:			계 . 48

副詞形 (접미사)			§74
368.	ᄎᆞ/(能_시러)디	→	능히
	ᄎᆞ/(則_고)디	→	곧이
	ᄎᆞ/(善_이드)디	→	잘
:			계 . 69

4.2.3. 終結語尾

(一) 平敍形

(1) 叙想法(主觀的 叙法)

1. 說明(이系)		§74
001 -7.	ㅣ_/	(等_ : 나란히 하)다
067.	ᄂᆞㅣ/	(有_ : 있었)다
167.	ᄅᆡᄂᆞㅣ/	(力_ : 힘)이었다
:		계 . 39

2. 說明(ᄒᆞ系)		§75
126.	ᄉᆞᆫᄂᆞㅣ/	(然_ : 그러)하였다
138.	ᄉᆞᄂᆞᆺᄂᆞㅣ/ (力_ : 힘)이라 할 것이었다	
270.	ᄉᆞᆫᄂᆞᄀᆞᄅᆡᄂᆞㅣ/ ('心_ : 발심)하였던 것이다	
:		계 . 6

(2) 叙實法(客觀的 叙法)*

3. 必然法≪반드시≫를 先行 使用		§76
194.	ᄅᆡᄉᆞᄒᆞᄉᆡㅣ/ (所_ : 바)이었다 ≪!≫	
277.	ᄉᆞᄂᆞᄒᆞᄉᆡㅣ/('現_ : 나타내)었다 ≪!≫	
235.	ᄆᆞᄂᆞᄒᆞᄉᆡㅣ/ (作_ : 되)려 했다 ≪!≫	
:		계 . 16

說明		§77
223.	ᄅᆡᄆᆞ/	('客_ : 장사아치)니라
063.	ᄂᆞᄎᆞᄆᆞ/	('議_ : 사의)함이니라
363.	ᄋᆞᄇᆞᄎᆞᄆᆞ/	(獲_ : 얻)는 것이니라
:		계 . 10

* 위 '叙想法'과 '叙實法'의 개념은 필자가 "『舊仁』 구결 기능체계"(1995:185~186)에서부터 새로이 제창해 온 주장이다.

(二) 命令形

所願法		§78
027.	ᄀᆞᄇᆞᆸ/	(盡_ : 없)이 하소서
311.	ᄉᆞᄇᆞᆸ/	('見_ : 철저히 보)여지소서
458.	ᄇᆞᄇᆞᆸ/	(見_ : 뵈)시옵소서
:		계 . 141

(三) 感歎形

感歎法		§79
115.	ᄒᆞᄆᆞ/	(何_ : 어찌)여 !
116.	ᄒᆞᄆᆞᆺ/	(云何_ : 어찌)여 !
:		계 . 6

感歎 法(肯定的)		§80
367.	ᄒᆡ/	(哉_ : _도)다!
291.	ᄉᆞᄒᆞᄒᆡ/	('養_ : 공양)하였다!
199.	ᄀᆡᄅᆞᄒᆞᄀᆞ ᄒᆡ/	('德_ : 공덕)이었다!
:		계 . 5

感歎 法(否定的)		§81
359.	ᄫᅮᅀᅮᆺ/	(獲_ : 얻)는구나!
304.	ᄉᆞᄫᅮᅀᅮᆺ/	(不_ : 못)하는구나!
350.	ᄆᆞᄂᆞᄀᆞᅀᅮᆺ/	(問_ : 물)었었구나!
:		계 . 12

4.2.4. 特異吐

示讀		§82
084.	ᄀᆞ/	(亦_ : 또)
--	ᄀᆞ/	(或_ : 또)
--	ᄀᆞ/	(復_ : 또)
	ᄀᆞ/	(又_ : 또)
:		계 . 16

冠形形		§83
356.	ᄠᅴ/	(如_ : 같은 것)인
:		계 . 1

5. 요약

(1) 위 體系로서 原文을 보다 정확히 풀이할 수 있다고 믿어진다.

(2) 위 華嚴吐와 舊仁吐와의 異同을 분석 및 그들의 正誤를 밝힐 수 있다고 믿어진다.

(3) 위 『華嚴 14』와 『舊仁經』으로 최초 『高麗語 文法』의 再構를 시도할 수 있다고 믿어진다.

6. 補正

6.1. 華嚴의 解讀

華嚴의 解讀은 지난번의 졸고(1997 : 173)와 함께 그 [單字+토]가 '音讀이냐 '訓讀이냐 또는 [複字+토]의 새김에서 취했던 내용 등, "옛 文例에 반드시 依據해서 吐를 읽어야 한다"는 필자의 방침에는 여기서도 변화가 없다. 자세한 것은 위 졸고의 참조로 미룬다.

6.2. 解讀의 修正

필자는 이 자료에서 그 현토의 原文을 모두 풀이하면서 새로운 사실 등을 발견하게 되어, 종전의 생각을 바꾸어 아래 3가지 토 '', '', '' 등을 새삼스러이 다음과 같이 수정하게 되었다.

① 토 '這'(中古音 : 져)에 대하여

이제까지 석독구결 자료에서는 "如_"의 例文들만이 나타나는 줄로 알고 있었는데 이 자료에서 처음 "果_"<華嚴 14:9>에도 쓰였음이 나타났다. 그렇다면 종전에 우리가 갖고 있었던 토 "/ᄀᆞᆫ"라는 그 해독에 대한 회의까지 갖지 않을 수 없게 되었다. 이제 그 文例에서 풀이해 보면 "…一切乙 度ㅣㅁㅏᄒᆞᄂᆞᆫᄃᆞᆷ 果尸 不ㄴᆞᆫ尸丁ᄂᆞᆫ尸 無ㅣㄴᆞᄀᆞᆫᄒᆞᅀᆞ ㎜/ 일체를 제도(度/濟度)한다네 (그리) 하되 과단(果/果斷)하려 함 아니구나 함 없이 하였느니라"로서 '果'의 '果'는 '감이 할 과' <김민수 1961 : 185>, <남광우 1997 : 55>에서 토 ''의 뜻은 '과단하려'인 '_하려'에 해당한다. 또 原 독음 "_져"<宣小 5 : 32>의 뜻은 '_고자, _려, _으려' <남광우 1997 : 1217> 따위이어서 해독이 전체 문맥에 합치함도

확인된다. 참고로 여기에 해당되는 日譯을 인용하면 "…一切を度して果たさざること無く…"<p.211~19>로서 앞의 해독의 뜻과도 일치한다. 다시 말하여 토 "𐄀"는 이제까지의 독음 'ᄀᆞᆮ'(如/같다의 뜻)이 아니라 독음 '져'라는, 곧 '_으려'의 뜻임이 비로소 밝혀지게 되었다. 이를 이제까지 흔히 보아온 "如𐄀/ᄀᆞᆮ"자리에 이 자료 그 한 例에 새 해석 '_𐄀/져'대로 바꾸어 적용시켜 보면 "…諸ㄱ 法相乙 如𐄀 悉ᄒᆞ 能支 通達ᄒᆞᄉᆞ…<2:14>/ …모든 법상과 같으려 다 능히 통달하며…"가 되어 여기 '如𐄀/ᄀᆞᆮ'(?)은 종전과 같이 '如支/ᄀᆞᆮ'자와 同一視함은 아닌 '같으려'이나 '같은듯이' 따위로 해석함이 옳다고 하겠다. 그러므로 '같다'라고 표현할 때에는 반드시 늘 '如支'로 써왔음에도 불구하고 이 '如'자에만 왜 "2가지"로 썼는지조차 누구도 疑心을 제기하지 않는 것마저 奇異하지 않을 수 없었다. 따라서 '如'자에 토 '支'자와 '𐄀'는 서로 식별해서 사용했다고 해야 합리적이며 상식적이라 하겠다. 환언하면 토 '𐄀'는 독음이 본래의 원음대로 '_져'(어미)이고 그 의미·기능은 '_으려'<남광우 1997 : 1217>가 正解라고 확신한다.

② 토 'ㅀ'에 대하여

이제까지 토 'ㅀ'를 原字 '賜/ᄉᆞ'의 약체자로 추정 및 채택하여 왔으나, 독음 'ᄉᆞ'는 존경법에도 맞지 않음으로 다시 이를 독음 '시'로까지 확대하여 해석하여 왔던 것이다. 그러나 이 토 'ㅀ'는 예를 들어 다음 한 例에서도 독음 '샤'가 나타나기 때문이다. 곧 '_보샳'>이라고 한다면, 이는 어느 文例에도 없고 '보샳'<三綱忠18>만이 있기 때문이다. 따라서 필자는 그 원자를 가장 비근한 '寫'의 초서체(『中文大辭典』 三, p.605)로 추정해야 옳다고 생각한다. 다시 말하여 이제 본론에서는 종래의 독음 'ㅀ/ᄉᆞ·시'를 버리고, 새로이 독음 'ㅀ/샤'로서 바꾸어 채택하기로 한다.

③ 토 'ㄱ'에 대하여

필자는 이제까지 토 'ㄱ'를 原字 '居/긔'의 약자체로 추정, 또는 '믄'의 '읍/ㅂ'(入聲字)으로도 추정하여 보았으나, 모두 이를 버리고 여기서 새로이 'ㄱ/*ㅿ'의 'ㅿ'(入聲字)으로서 추정하기로 한다. 그 이유는 이 자료 『華嚴十四』에서 '作ㄱ'<華嚴 3:17>이 '짛'<月印上 28>의 'ㅿ'으로, 또 '邊ㄱ'<華嚴 9:6, 華嚴11:18>이 'ᄀᆞᇫ'<月釋 1:1>의 'ㅿ'으로, 또 '外ㄱ'<華嚴 20:11>이 '*밨→밧'<龍歌 69章>의 '*밨→밧'의 'ㅿ' 등, 모두 3回씩이나 나타나, 이 이상 더 확실한 立證은 없다고 확신하기 때문이다.

이제 이 토 'ㄱ/ㅿ'의 추정이 옳음을 아래서 하나하나 立證해 보련다.

첫째는 '속격 기능'의 문제이다. 예하여 본자료의 ① "如來ㄱ 家ᄋᆞ+/ᄉᆡ러ㅿ 집아히"<11:5>이나, ② 菩薩ㄱ 功德聚/보살ㅿ 공덕취<14:14> 등에서 필자가 추정한 토 'ㄱ/ㅿ'의 'ㅿ'은 남광우<1997:989>에서 조사 '_의'(사잇소리/持格促音)의 기능으로 나와 있어 이를 뒷받침한다. 기타의 예도 같다. 이에 반해 토 'ㄱ/ㅭ'의 'ㅭ'은 남광우<1997:521>에서 조사 '_ㄹ', '_을'의 기능으로만 나와 있어 속격이 불가함도 입증되었다고 믿어진다.

둘째는 '읽기 기능'의 문제이다. 토 '_ㄱ'이 포함된 예하여 '_果ᄌᆞㄱ'<14:9>의 독음도 종전대로라면 '_果ᄀᆞᇫㅭ'이 되어 이러한 독음(표현)으로는 도저히 읽을 수가 없다. 그러나 이것을 필자가 새로 추정한 토 '_ㄱ'의 독음 'ㅿ'으로써 '_果겻'(果/과 + ᄌᆞ/져 + ㄱ/ㅿ)과 같이 읽는다면 훌륭히 합리적이라 할 수 있다. 따라서 위 '읽기'의 문제도 입증되었다고 믿어진다.

셋째는 '15세기 文例'의 문제이다. 필자가 새로 추정한 독음 토 '_ㄱ/ㅿ'은 入聲字 '_ㅿ'인 곧 예하여 '矯造ㄱ/거즛 짛'<華嚴 6:19>과 또한 '作ㄱ/짛'<華嚴 3:17>, '邊ㄱ/ᄀᆞᇫ'<華嚴 9:6, 11:17>, '外ㄱ/*밨→밧'<華嚴 20:11> 등으로서 15세기 文例와 一致한다. 그런데 만일 'ㄱ=ㅭ'說로서

위 3가지 文例들을 모두 옮긴다면, '作ㄕ/짛'(?), 또 '邊ㄕ/굻'(?), 또 '外ㄕ/밗'(?) 등이 되어 이것들이 모두 오류임이 쉽게 파악된다. 따라서 필자의 새 'ㄕ=ㅿ'說이 설득력이 있음이 비로소 立證되었다고 믿어진다.

6.3. '해독문의 차례'는 졸고(1995 : 176 참조)에 따른다.

6.4. '해독문의 일러두기'도 졸고(1995 : 177 참조)에 따른다. 한편 토표기는 현토자가 표기한 대로 分綴로서 옮긴다. 例하여 ① '無ㅣㄹ'〈華嚴6:3〉은 '업슨을'이 아닌 '없은을'이어야 한다. 토 'ㄱ'은 '슨'이 아닌 '은'이기 때문이다. 역시 ② '依ㄹ ㅛ'〈華嚴6:14〉도 '브터금'이 아닌 '븥어금'으로 적는다. 이 토는 必히 '아/어'이어야 옳기 때문이다.

6.5. 解讀文

大方廣佛華嚴經卷第十四

于闐國三藏實叉難陀奉　制譯

淨行品 第十一

[1] <01:03~10>

原文/讀 爾ᄉ ᄂᆞᆫㄱ/싀엿ᄒᆞᆫ 時ㅓ/다희[1] 智首菩薩ㄱ/디슈보살ᄋᆞᆫ 文殊師利菩薩ㄕㅓ/문슈ᄉᆞ리보살ㅿ희 問ᄒᆞ/무러 言ᄒᆞㄕ/니ᄅᆞ샬[2] 佛子ᄒᆞ/불

1) 위 '時ㅓ/다희'에서 '時'를 '다'로 독음한 것은 다른 예문 '…擧ᄂᆞᆫㄱㅗㅓㄱ'<四5>에서 토 'ㅣ'는 예문 '…著ᄂᆞᆫㄱ 時ㅓㄱ'<四6>과 構文이 같으므로 결국 '時'는 토 'ㅣ'와 同一함을 말한다. 곧 '時 = 다'의 독음으로 읽었다는 뜻이다. 여기서 앞의 토 'ㅣ'는 남풍현 선생도 지적했듯이 의존명사 'ᄃᆞ'(토표기는 'ㅅ/ᄃᆞ')이어야 옳다고 보는 데 굳이 독음 '다'로 표기되었으므로 이에 따르기로 하였다.

2) 위 '言ᄒᆞㄕ'에서 토 'ᄒᆞ'를 이제까지 추정한 독음 '賜/ᄉᆞ·시'를 버리고, 위

ᄌᆞ아 菩薩ㅣ/보살ᄋᆞᆫ [云]何ᄒᆞᄂᆞᆫ/엇여사 無過失身語意業ᄒᆞᆫ/무과실신어의업을 得ᄀᆞᆫ/얻으며 [云]何ᄒᆞᄂᆞᆫ/엇여사 不害身語意業ᄒᆞᆫ/블해신어의업을 得ᄀᆞᆫ/얻으며 云何得不可毁身語意業/운하득블가훼신어의업 云何得不可壞身語意業/운하득블가괴신어의업 云何得不退轉身語意業/운하득블퇴뎐신어의업 云何得不可動身語意業/운하득블가동신어의업 云何得殊勝身語意業/운하득슈승신어의업 云何得淸淨身語意業/운하득쳥졍신어의업 云何得無染身語意業/운하득무염신어의업 云何/운하 智ᄒᆞᆫ/디를 先導ᄒᆞ/션도 爲ᄒᆞᅀᆞᄫᆞᆫ/삼오려[3] ᄉᆞᆫ 身語意業ᄒᆞᆫ/신어의업을 得ᄀᆞᆫ/얻으며

直譯/讀 이러한 때에 지수 보살은 문수사리 보살께 물어 이르시옵기를 "불자야 보살은 어찌하여 허물 없는 몸과 말과 뜻의 업(業)을 얻으며 어찌하여 해(害)롭히지 않는 몸과 말과 뜻의 업(業)을 얻으며 어찌하여 훼방할 수 없는 몸과 말과 뜻의 업을 얻으며 어찌하여 깨뜨리지 못할 몸과 말과 뜻의 업을 얻으며 어찌하여 물러가지 않는 몸과 말과 뜻의 업을 얻으며 어찌하여 동요할 수 없는 몸과 말과 뜻의 업을 얻으며 어찌하여 수승(殊勝)한 몸과 말과 뜻의 업을 얻으며 어찌하여 청

4.2.의 ②항 논증에 따라 새로 고쳐 추정한 독음 '寫/샤'로 한다. 이하도 같다.

3) 위 '爲ᄒᆞᅀᆞᄫᆞᆫ'에서 토 'ᄫᆞ'를 아래와 같은 새로운 사실을 얻어 '려'로 독음하련다. 『合部金光經卷3』에서

"…更ᄀᆞᆯ生不ᄒᆞᄉᆞᄫᆞᆫ 智乙得ᄆᆞ"<金光 8:9>(다시 生 아니케 하려 智識을 얻음), "…安穩快樂ᄂᆞᄋᆞᆫ 令ᄒᆞᄆᆞᆫᄂᆞᆫᄎᆞᆫᄀᆞ"<金光 15:7>(안온 쾌락함을 시키려 할 것이며), "…人民興盛ᄂᆞᄅᆞᄒᆞᄆᆞᆫᄂᆞᆫᄎᆞᆫᄀᆞ"<金光 15:9>(인민의 흥성함을 시키려 할 것이며) 등은 同一한 構文임이 발견된다. 이로써 'ᄉᆞᆫᄀᆞ'='ᄆᆞᆫᄀᆞ'(ᄉᆞ=ᄆᆞ)이라는 等式이 성립된다. 이는 『이두사전』(1983:28)에서 "於[어-러-려]"와도 완벽하게 一致한다. 이 '_려'는 남광우(1997:504)에서 '_려고'로 풀이가 되어 결국 '_하려고'인 '하려는 意向'임이 파악된다.

이 어미 '_려'는 향가에서도 '將來'로 5回나 나타나고, 『直指』에서도 'ᄂᆞᆫ要ㅣ'<34b>로 1回 또 『明律』에선 '爲要'(ᄒᆞ려)로서 모두 9回(박성종 1996:257) 나타난다. 그런데 석독구결에서는 단 한 번도 나타나지 않는다면 의아하지 않을 수 없다. 그러므로 우리는 『이두사전』(p.28)에서와 같이 이를 토 'ᄉᆞ=려'의 표지로 추정 및 채택하련다.

정(淸淨)한 몸과 말과 뜻의 업을 얻으며 어찌하여 물들(染)지 않는 몸과 말과 뜻의 업을 얻으며 어찌하여 지혜를 선도(先導) 삼(爲)아싸 (그리) 한다는 몸과 말과 뜻의 업을 얻으며"

* '爲_' 懸吐의 用法

[凡例] 이 『華嚴』의 "爲+토/爲欲+토"를 ['先行文' 포함] 그 吐가 적은 것부터 많은 것(가나다) 순서대로 모두 例示하면 다음과 같다.

① 爲ᄋᆡ[菩薩/衆의/위ᄒᆞ사] <8:23,13:13,13:14>
爲ᄋᆡ[其의 方便으로 삼ᄋᆞ사]<20:7>
② 爲ᄆᆞ[菩薩ᄋᆞᆫ 삼오]<18:23>
③ 爲ㅅ[(敎)化ᄒᆞ와]<19:23>
④ 爲ᄋᆡᄉᆞ[食/飾 삼ᄋᆞ사며]<7:18,18:2>
⑤ 爲ᄋᆡᄆᆞ[彼이흰/菩薩ᄋᆞᆫ 삼ᄋᆞ사오]
⑥ 爲ᄋᆡᄒᆞ[之의 삼ᄋᆞ삼]<19:13>
⑦ 爲ᄋᆡᄐᆞ효[蔭映 삼ᄂᆞ셔]<5:10>
⑧ 爲ᄋᆡᄌᆞㅅ[先導 삼ᄋᆞ기]<13:10>
⑨ 爲ᄋᆡᄆᆞᄉᆞᄂᆞ[先導 삼오렷]<1:10>
⑩ 爲ㅅᄀᆞᄂᆞᄉᆞ[依딩/-- ᄃᆞ외돌 ᄒᆞ며] <2:6,19:8,19:10>
⑪ 爲ㅅᄀᆞᄂᆞᄒᆞ[所잉 ᄃᆞ외돌 ᄒᆞᆷ]<7:2>
⑫ 爲ᄋᆡᄐᆞᄎᆞᄉᆞ[嚴飾 삼ᄂᆞ리며]<12:22>
⑬ 爲ㅅᄀᆞᄂᆞᄂᆞᄉᆞ[上首잉 ᄃᆞ외돌 ᄒᆞ겨며] <19:21>
⑭ 爲ㅅᄀᆞᄂᆞᄐᆞ효[法王잉 ᄃᆞ외돌 ᄒᆞᄂᆞ셔] <6:21>
⑮ 爲ㅅᄀᆞᄂᆞᄌᆞㅅ[法王잉 ᄃᆞ외돌 ᄒᆞ아기] <6:20>
⑯ 爲ㅅᄀᆞᄂᆞᄌᆞᄉᆞ[手잉 ᄃᆞ외돌 ᄒᆞ아금] <9:23>
⑰ 爲ᄋᆡᄐᆞᄑᆞㅅᄀᆞ[嚴飾 삼ᄋᆞ사 ᄂᆞᅀᆞᄃᆞᆫ] <12:23>
⑱ 爲ᄋᆡᄒᆞᄂᆞᄀᆞᄀᆞᄃᆞ[帳 삼ᄋᆞ삼견을] <16:8>
⑲ 爲ᄋᆡᄂᆞᄀᆞᄇᆡᄉᆞᄂᆞᄉᆞᄃᆞ[華 삼ᄋᆞ사 ᄒᆞ이여 ᄒᆞ려놀]<15:20>
⑳ 爲ㅅᄃᆞᄂᆞᄆᆞᄂᆞᄀᆞ[毋잉 ᄃᆞ외돌 ᄒᆞ고견] <9:20>
㉑ 爲ㅅᄃᆞᄂᆞᄐᆞᄎᆞᄉᆞ[種잉/所잉/ ᄃᆞ외돌 ᄒᆞᄂᆞ리며]<11:2,12:14,12:17>
㉒ 爲ㅅᄃᆞᄂᆞᄂᆞᄀᆞᄇᆡᄉᆞ[種잉 ᄃᆞ외돌 ᄒᆞ견이며]<10:6>
㉓ 爲ㅅᄃᆞᄂᆞᄐᆞᄑᆞㅅᄀᆞ[所잉 ᄃᆞ외돌 ᄒᆞᄂᆞᅀᆞᄃᆞᆫ]<11:3,12:15,12:18>
㉔ 爲ㅅᄃᆞᄂᆞᄃᆞᄂᆞᄒᆞᄐᆞᄂᆡ[導師잉 ᄃᆞ외돌 ᄒᆞ거 겸ㅅ다.]<2:17>
㉕ 爲ㅅᄃᆞᄂᆞᄂᆞᄎᆞᄌᆞᄒᆞᄆᆞ[等等等 ᄃᆞ외돌 ᄒᆞ겨리앗고]<2:9>
㉖ 爲ᄋᆡᄂᆞᄀᆞᄇᆡᄂᆞᄉᆞᄂᆞᄉᆞᄃᆞ[華 삼ᄋᆞ사 ᄒᆞ이여 ᄒᆞ려놀]<15:21>
㉗ 爲欲ㅅ[利藥ᄒᆞ져 ᄒᆞ고쟈 ᄒᆞᆷ과]<2:12>
㉘ 爲欲ㅅᄂᆞᄑᆞㅅᄇᆞ[利益(ᄒᆞ) ᄒᆞ고쟈 ᄒᆞᅀᆞᄃᆞ로]<18:19>

이상에서 위 吐들을 종류별로 분류하면, (1) 삼ᄋᆞ/삼오_ (2) ᄃᆞ외_ (3) 위ᄒᆞ_ (4) ᄒᆞ와_ (5) ᄒᆞ고쟈_ 따위 5種으로 나뉘어 의미·기능한다.

[2] <01:10~16>

原文/讀 [云]何ㄷᆞᆞᄉᆞ/엇여사 生處具足ᄉᆞ/싱쳐구족여 種族具足ᄉᆞ/죵족구족여 家具足ø/가구족여 色具足ø/식구족여 相具足ø/샹구족여 念具足ø/념구족여 慧具足ø/혜구족여 行具足ø/힝구족여 無畏具足ø/무외구족여 覺悟具足ᄉᆞㅅᄉᆞㄴ/각오구족여 호려ᄂᆞᆯ 得ㅿ/얻으며 [云]何ㄷᆞᆞᄉᆞ/엇여사 勝慧ᄉᆞ/숭혜여 第一慧ø/뎨일혜여 最上慧ø/최샹혜여 最勝慧ø/최숭혜여 無量慧ø/무량혜여 無數慧ø/무슈혜여 不思議慧ø/브ᄉᆞ의혜여 無與等慧ø/무여등혜여 不可量慧ø/블가량혜여 不可說慧ᄉᆞㅅᄉᆞㄴ/블가셰혜여 호려ᄂᆞᆯ 得ㅿ/얻으며 云何/운하 因力ᄉᆞ/인력여 欲力ø/욕력여 方便力ø/방변력여 緣力ø/연력여 所緣力ø/소연력여 根力ø/근력여 觀察力ø/관찰력여 奢摩他力ø/샤마타력여 毘鉢舍那力ø/비발샤나력여 思惟力ᄉᆞㅅᄉᆞㄴ/ᄉᆞ유력여 호려ᄂᆞᆯ 得ㅿ/얻으며

直譯/讀 "어찌하여 태어나는 곳이 구족(具足)함이나 종족(種族)이 구족함이나 가문(家/家門)이 구족함이나 형색(色/形色)이 구족함이나 모양(相)이 구족함이나 생각(念)이 구족함이나 지혜(慧)가 구족함이나 행(行)이 구족함이나 두려움 없음이 구족함이나 깨달음이 구족함이나 그리 하려는 것들을 얻으며 어찌하여 수승(殊勝)한 지혜이나 제일의 지혜이나 가장 높은 지혜이나 가장 승(勝)한 지혜이나 그지 없는 지혜이나 수(數) 없는 지혜이나 사의(思議)할 수 없는 지혜이나 같음(與等)이 없는 지혜이나 헤아릴 수 없는 지혜이나 설명할 수 없는 지혜이나 (그리) 한다는 것들을 얻으며 어찌하여 원인(因/原因)의 힘 욕구(欲)의 힘 방편(方便)의 힘 인연의 힘 인식하는 대상의 힘 근(根/五根 : 감각기능)의 힘 관찰의 힘 사마타(奢摩他 : 마음을 한 곳에 머뭄/止心)의 힘 비바사나(毘鉢舍那 : 법을 관상함/止의 對)의 힘 생각하는 힘이라 한다는 것들을 얻으며"

[3] <01:16~21>

原文/讀 云何/운하 蘊善巧ㅣ/온션교여 界善巧/계션교 處善巧/쳐션교 緣起善巧/연긔션교 欲界善巧/욕계션교 色界善巧/식계션교 無色界善巧/무식계션교 過去善巧/과거션교 未來善巧/미릐션교 現在善巧ㅣㄴㅎㄴ/현지션교여 호려ᄂᆞᆯ 得ᄀᆞᆫ/얻으며 [云]何ㄷㅣㅣ/엇여사 善ᄎᆞ/이드디 念覺分ㅣ/념각분여 擇法覺分ㅇ/턱법각분여 精進覺分ㅇ/졍진각분여 喜覺分ㅇ/희각분여 猗覺分ㅇ/의각분여 定覺分ㅇ/뎡각분여 捨覺分ㅣ/샤각분여 空ㅣ/공여 無相ㅣ/무샹여 無願ㅣㄴㅎㄴ/무원여 호려ᄂᆞᆯ 修習ㄴᆞᆫ/슈습ᄒᆞ며

直譯/讀 "어찌하여 온(蘊 : 무더기/五蘊은 色·受·行·想·識 등 心身의 작용)의 선교(善巧)이나 계(界 : 無明界)의 선교이나 처(處 : 欲界·色界 따위 장소)의 선교이나 연기(緣起)의 선교이나 욕계(欲界)의 선교이나 색계(色界)의 선교이나 무색계(無色界)의 선교이나 과거(過去)의 선교이나 미래의 선교이나 현재의 선교이나 (그리) 한다는 것들을 얻었으며 어찌하여 잘 기억하는 깨달음의 분(分 : 미소한 부분/念覺分)이나 법을 가리(擇)는 깨달음의 분(分)이나 정진(精進)하는 깨달음의 분이나 기뻐하는 깨달음의 분이나 홀가분(猗)한 깨달음의 분(分)이나 선정(禪定)한 깨달음의 분이나 버리(捨)는 깨달음의 분이나 공(空)이나 모양(相)이 없음이나 소원이 없음이나 한다는 것들을 몸에 익히(修)도록 행(行/習)하며"

[4] <01:21~02:03>

原文/讀 云何/운하 得ᄀᆞᆺ/시러금 檀波羅蜜ㅣ/단바라밀여 尸波羅蜜ㅇ/시바라밀여 羼提波羅蜜ㅇ/산뎨바라밀여 毘梨耶波羅蜜ㅇ/비리야바라밀여 禪那波羅蜜ㅇ/션나바라밀여 般若波羅蜜ㅣㄴㅎㄴ/반샤바라밀여 호려ᄂᆞᆯ 圓滿ㄴᆞᆫ/원만ᄒᆞ며 及ㄷㅣ/밋 以ᄀᆞ/뼈 慈ㅣ/즈여 悲ㅣ/비여 喜ㅣ/희여 捨ㅣㄴㅎㄴ/샤여 호려ᄂᆞᆯ 圓滿ㄴᆞᆫ/원만ᄒᆞ며 云何/운하 處非處智力ㅇ/쳐비쳐디력여 過未現在業報智力ㅇ/과미현지업보디력여 根勝劣智力ㅇ/근슝렬디력여 種種界智力ㅣ/죵죵계디력여 種種解智力ㅇ/죵죵히디력여 一

切至處道智力Ø/일체지처도디력여 禪解脫三昧染淨智力Ø/션히탈삼미염정디력여 宿住念智力Ø/슉듀념디력여 無障礙天眼智力Ø/무쟝애텬안디력여 斷諸習智力ㅣㄴᄉㄴ/단졔습디력여 호려ᄂᆞᆯ 得Ø/얻으며

直譯/讀 "어찌하여 능(得)하게끔 단나바라밀다(檀那波羅蜜多)이나 시라바라밀다(尸羅波羅蜜多)이나 찬제바라밀다(羼提波羅蜜多)이나 선나바라밀다(禪羅波羅蜜多)이나 반야바라밀다(般若波羅蜜多)이나 하는 것들을 원만(圓滿/成就)하며 및 써 인자함(慈)이나 가엾이 여김(悲)이나 기쁨이나 버림(捨)이나 한다는 것들을 원만(圓滿/成就)하며 어찌하여 곳(處/欲界·色界 등 認識의 장소)인지 아닌지를 아는 지혜의 힘이나 과거·미래·현재의 업(業)과 보(報)를 아는 지혜의 힘이나 근기(根氣/精力)가 승(勝)하고 용렬함을 아는 지혜의 힘이나 가지가지(種種)의 경계를 아는 지혜의 힘이나 가지가지(種種)의 깨달음을 아는 지혜의 힘이나 온갖 이르러 갈 곳을 아는 지혜의 힘이나 선정(禪/禪定)·해탈(脫/解脫)·삼매(三昧)의 물들(染)고 깨끗함을 아는 지혜의 힘이나 지난 세상의 일을 아는 지혜의 힘이나 장애가 없는 천안(天眼/超人的인 眼)을 아는 지혜의 힘이나 모든 습기(習氣/潛在餘力)를 끊는 지혜의 힘이나 하는 것들을 얻으며"

[5] <02:03~09>

原文/讀 云何/운하 常ㅣ/샹녜 天王ㅣ/텬왕여 龍王ㅣ/룡왕여 夜叉王Ø/야차왕여 乾闥婆王Ø/건달바왕여 阿修羅王Ø/아슈라왕여 迦樓羅王Ø/가루라왕여 緊那羅王Ø/긴나라왕여 摩睺羅伽王Ø/마후라가왕여 人王Ø/신왕여 梵王ㅣㄴᄉㄹ/범왕여 호려의[之] 守護ㅅᄒᆞ/슈호ᄒᆞ져 恭敬ㅅᄒᆞ/공경ᄒᆞ져 供養ㅅᄒᆞㄴᄆᆞ/공양ᄒᆞ져 호ㅿ 所ㄴ/바ᄅᆞᆯ 得ㅿ/얻으며 云何/운하 得ᄀᆞᄒᆞ/시러금 一切衆生ㄹ/일체즁싱의 與ᄀᆞ/더블어사 依ㅣᄆᆞ/의딗 爲ㅅㄴㅅ/ᄃᆞ외ᄃᆞᆯ ᄒᆞ며 救ㅣᄆᆞ/구잀 爲ㅅㄴㅅ/ᄃᆞ외ᄃᆞᆯ ᄒᆞ며 歸ㅅᄎᆞᄆᆞ/귀호릷 爲Ø/ᄃᆞ외ᄃᆞᆯ ᄒᆞ며 趣ㅅᄎᆞᄆᆞ/취호릷 爲Ø/ᄃᆞ외ᄃᆞᆯ ᄒᆞ며 炬ㅣᄆᆞ/거잀 爲Ø/ᄃᆞ외ᄃᆞᆯ ᄒᆞ며 爲明/위명 爲照/위죠 爲導/위도 爲勝導/위승도 普導ㅣ

ᄑᆞ/보도잇 爲ㅅᄒᆞᄂᆞᆫᄀᆞ/ᄃᆞ외ᄃᆞᆯ ᄒᆞ며 云何/운하 一切/일체 衆生ㅅ/즁싱ㅅ 中ᄋᆞᆫ/듕아히[於] 第一ㅣᄑᆞ/뎨일잇 爲ᄋᆞ/ᄃᆞ외ᄃᆞᆯ ᄒᆞ며 爲大/위대 爲勝/위슝 爲最勝/위최슝 爲妙/위묘 爲極妙/위극묘 爲上/위샹 爲無上/위무샹 爲無等/위무등 無等等/무등등 爲ㅅᄒᆞᄂᆞᆫᄀᆞᆫᄐᆞᄋᆞᆫᄒᆞᄂᆞᆫᄆᆞᆫᄒᆞᄂᆞᆫᄃᆞ/ᄃᆞ외ᄃᆞᆯ ᄒᆞ겨리앗고

直譯/讀 "어찌하여 항상 천왕이나 용왕이나 야차왕이나 건달바왕이나 아수라왕이나 가루라왕이나 긴나라왕이나 마후라가왕이나 인왕이나 범왕이라 한다는 것들이 수호하네 공경하네 공양하네 (그리) 하는 것인 바를 얻으며 어찌하여 능(能)하게끔 일체 중생과 더불어 의지(依支)함이 된들 (그리) 하며 구호함이 된들 (그리) 하며 귀의함이 된들 (그리) 하며 나아갈(趣) 것이 된들 (그리) 하며 횃불이 되며 밝음이 되며 비춤(照)이 되며 인도자가 되며 승(勝)한 인도자가 되며 두루(普) 인도하는 자가 된들 (그리) 할 것이며 어찌하여 일체 중생 중에서 제1인자가 되며 큼(大)이 되며 승(勝)함이 되며 가장 승(最勝)함이 되며 묘함이 되며 지극히 묘(極妙)함이 되며 위(上)가 되며 위가 없음(無上)이 되며 같을 이 없음(無等)이 되며 같을 이 없으면서 같을 이(無等等)가 된들 (그리) 하였을 것인가?"

[6] <02:10~12>

原文/讀 爾時ㅓ/ᄉᆡ시희 文殊師利菩薩ㄱ/문슈ᄉᆞ리보살ᄋᆞᆫ 智首菩薩ㄴ/디슈보살ᄋᆞᆯ 告ᄂᆞᆫᄀᆞ/고ᄒᆞ아 言ᄒᆞᄑᆞ/니ᄅᆞ샬 善ㅎㄱ/읻견 哉ㅔ/지뎌 佛子ㅣ/불ᄌᆞ여 汝ㄱ/그ᄃᆡ는 今ᄂᆞᆫㄱ/엳ᄒᆞᆫ 饒益ㄴᄑᆞ/쇼익호ㅿ 所/바 多ᄀᆞ/하며 安隱ㄴᄑᆞ/안은호ㅿ 所ᄋᆞᆫ/바 多ㅎㄱㅅᄆᆞ/하견 ᄃᆞ로 世間ㄴ/세간ᄋᆞᆯ 哀愍ᄂᆞᆫᄒᆞ/이민ᄒᆞ져 天人ㄴ/텬신을 利樂ᄂᆞᆫᄒᆞᄂᆞᆫᄂᆞ/리락ᄒᆞ져 ᄒᆞ[爲]欲ㅅ/고쟈와 是/이 如ᄒᆞᄂᆞᆫᄒᆞᄐᆞᄂᆞᆫᄀᆞᆮᄒᆞ디 ᄒᆞᄂᆞᆭ 義ㄴ/의를 問ㅿㅎㄱㄱᄐᆞ/문거견뎡

直譯/讀 이 때에 문수사리 보살은 지수 보살에게 고(告)하여 말씀하시기(를) "착하였도다! 불자여 그대는 지금껏 많이 이익한다는 바 많으며 안온한다는 바 많았던 까닭으로 세간을 불쌍히 여겼다네 천인을 이

익하고 즐겁게 하였다네 (또 그리) 하고자 함과 이와 같이 한다는 의(義)를 묻고 있었구나!"

[7] <02:12~17>

原文/讀 佛子ᄋᆞ/불ᄌᆞ아 若ᄂᆡ/ᄒᆞ다가ᅀᅡ 諸ᄀᆞ/모ᄃᆞᆫ 菩薩ㅣ/보살이 善ᄒᆞᆫ/이드ᄃᆡ 其/그 心ᄉᆡ/ᄆᆞᅀᆞᆷ 用ᄂᆞᄇᆞᄆᆞᄉᆞᄀᆞ/용ᄒᆞᄂᆞᅀᆞᄃᆞᆫ 則ᄒᆞᆫ/고디 一切/일체 勝妙功德ᄉᆡ/숭묘공덕을 獲ᄇᆞᄎᆞᄆᆞᆷ/얻ᄂᆞ리라 諸ᄀᆞ/모ᄃᆞᆫ 佛法ᄋᆞᆫ/불법아ᄒᆡ[於] 心ᄆᆞᆷ/ᄆᆞᅀᆞᆷ 礙ᄂᆞᄆᆞ/애호ᅀᆞ 所ᄋᆞᆫ/바 無ᄀᆞᆫ/없으며 去來/거리 今ᄂᆡ/엳 諸ᄀᆞ/모ᄃᆞᆫ 佛ᄃᆞ[4]/부텨ᄃᆡ[之] 道ᄋᆞᆫ/도아ᄒᆡ 住ᄂᆞᄀᆞᆫ/듀ᄒᆞ며 衆生ᄉᆡ/즁싱ᄋᆞᆯ 隨ᄆᆞ/조초 住ᄂᆞᄋᆞᄒᆞ/듀ᄒᆞ아금 恒ㅣ/샹녜 捨離ᄆᆞ/샤릳 不ᄂᆞᄀᆞᆫ/안 ᄃᆞᆯᄒᆞ며 諸ᄀᆞ/모ᄃᆞᆫ 法相ᄉᆡ/법샹ᄋᆞᆯ 如ᄃᆞ/ᄀᆞᆮᄒᆞ져[5] 悉ᄋᆞᆫ/다 能ᄒᆞᆫ/시러디 通達ᄂᆞᄀᆞᆫ/통달ᄒᆞ며 一切/일체 惡ᄉᆡ/악ᄋᆞᆯ 斷ᄂᆞᄀᆞᆫ/단ᄒᆞ며 衆ᄀᆞ/모ᄃᆞᆫ 善ᄉᆡ/션을 具足Ø/구죡ᄒᆞ며 當ᄒᆞ/반ᄃᆞ기 普賢/보현 如ᄒᆞᄂᆞᄋᆞ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 ᄒᆞ아 色像/식샹 第一ㅣᄀᆞ/뎨일이며 一切/일체 行願ᄉᆡ/힝원을 皆ᄂᆡ/다ᅀᅡ 得ᄋᆞᄒᆞ/시러금 具足ᄂᆞᄀᆞᆫ/구죡ᄒᆞ며 一切法ᄋᆞᆫ/ 일체법아ᄒᆡ[於] 自在ᄆᆞ/ᄌᆞ짋 無不ᄂᆞᄆᆞᄐᆞᄂᆞᄆᆞ/몯ᄒᆞᅀᆞ뎡 없으홇 而ᄆᆞᆷ/ᄉᆡ로 衆生ᄀᆞᄂᆡ/즁싱잇 第二/뎨ᄉᆡ 導師

---

4) 위 '佛ᄃᆞ'의 토 'ᄃᆞ'(디)는 이 자료에서 '佛'에 모두 2回만 현토되었고, 이후는 모두 '佛ᄉᆞ'로서 바뀌었다. 아마 전자(ᄃᆞ)는 上聲(디)인데 반해 현토자가 후자(ᄉᆞ)인 去聲(디)으로 改新한 것 같다. 원래 『華疏』에서 "…諸ᄀᆞ 佛ᄃᆞ之修…<13:13>과 一切佛ᄃᆞ神力ᄀᆞ…"<20:1> 등 모두 20餘回나 많이 쓰였던 佛에만 쓰인 屬格의 傳統的 토 'ᄃᆞ'를 聲調 때문에 고친 것으로 파악된다. 그런데 혹자는 이 토 'ᄃᆞ'을 딴이(이)로 보아(?) '佛ᄃᆞ'를 '부텨'로 독음한 說은 아마 착각이 아닌가 한다. 왜냐하면 여기 '佛ᄃᆞ之道ᄋᆞᆫ'만 보아도 'ᄃᆞ=之'로서 속격 표지가 분명하기 때문이다.

5) 위 '如ᄃᆞ/ᄀᆞᆮᄒᆞ져'에서 토'ᄃᆞ=져'로 독음한 것은 위 4.2.'解讀의 修正'란 ①에서 이미 언급했듯이 토 'ᄃᆞ'는 '如'자의 'ᄀᆞᆮ'자가 아닌 '果ᄃᆞ'<十四9>의 '果'자에도 쓰였다는 사실이다. 따라서 종전과 같이 'ᄃᆞ=ᄀᆞᆮ'이 아니라는 증거가 나타난 것이다. 이 구절을 해석한 결과 문맥으로 위 '如ᄃᆞ'는 'ᄀᆞᆮᄒᆞ져/같으려' 곧 토 'ᄃᆞ'는 그 原音인 '_져'로서 풀이된다. 이 '으려'는 곧 '_져'<남광우 1997 : 1217>라야 맞는다. 따라서 토 'ᄃᆞ'는 원음대로 '_져'로 읽혀야 함이 밝혀진 것이다. 이하도 같다.

ㅣ尸/도ᄉᆞ잇 爲ㅅ니ᄉᆞᄂᆞᆫᄀᆞᄒᆞᄆᆡ/ᄃᆞ외둘 ᄒᆞ거겸ㅅ다.

直譯/讀 "불자여 만일 모든 보살이 잘 그 마음을 쓴다면 곧 온갖 승(勝)하고 묘한 공덕을 얻을 것이니라. 모든 부처님의 법에 마음이 걸린다는 바 없으며 과거(過去)·미래(未來)·지금(今/現在)의 여러 부처님들의 도(道)에 머물며 중생을 좇아 머물게끔 항상 서로 여읨(捨離) 아니하며 모든 법의 모양(法相)과 같으려 다 능히 통달하며 온갖 나쁜 것을 끊으며 모든 선한 것을 구족하며 반드시 보현과 같이 하여 색상(色像)이 제일이며 온갖 행과 소원(行願)을 모두 얻게끔 구족하며 일체법에서 자제(自在)하는 것 못하는구나 함 없어서 이(而)로므로 중생에의 제2의 도사(導師)의 몸 된들 ≪반드시≫ (그리) 했었다≪!≫"

[8] <02:17~21>

原文/讀 佛子ᄋᆞ/불ᄌᆞ아 [云]何ᄒᆞᄂᆞᆫᄀᆞᄒᆞ시/엇ᄒᆞᆫ올 用心ᄂᆞᆫᄀᆞㅣ十/용심ᄒᆞᆫ다히 能ᄒᆞ/시러디 一切/일체 勝妙/숭묘 功德ᄒᆞ/공덕을 獲尸丁ᄂᆞᆺᄅᆞᄂᆞ ᄌᆡ尸ㅅᄀᆞ/얻ㅿ뎡 호려고 ᄒᆞ리ㅿᄃᆞᆫ 佛子ᄋᆞ/불ᄌᆞ아 菩薩ㅣ/보살이 在家ᄂᆞᆫᄀᆞㅣ十ᄀᆞ/지가ᄒᆞᆫ다힌 當ㅅ/반ᄃᆞ기 願ㅣ尸のᄀᆞ/원ᄒᆞ리ㅿᄃᆞᆫ 衆生ᄀᆞ/즁싱ᄋᆞᆫ 家性ㅋ/가셩의 空ノᄀᆞのᄒᆞ/공혼 ᄃᆞᆯ 知ᄋᆞㅎ/알아금 其/그 逼迫ᄒᆞ/핍박올 免ᄒᆞᄇᆞᄐᆞ立ᄂᆞᄉᆞᄌᆡᄀᆞ[6]/면디ᄂᆞ셔 ᄒᆞ겨리며 父母ᄒᆞ부모를 孝事ᄂᆞᆺᄀᆞㅣ十ᄀᆞ/효ᄉᆞᄒᆞ건다힌 當ㅅ/반ᄃᆞ기 願ㅅᄀᆞ/원ᄒᆞᄃᆞᆫ 衆生ᄀᆞ/즁싱ᄋᆞᆫ 善ᄒᆞ/이드디 [於]佛ᄒᆞ/부텨를 事ㅅ白ᄋᆞㅎ/셤기ᄉᆞᆸ아금 一切ᄒᆞ/일체를 護ᄂᆞᄒᆞ/간슈ᄒᆞ져 養ᄂᆞᄒᆞᄂᆞᄇᆞᄒᆞ立/양ᄒᆞ져 ᄒᆞᄂᆞ디셔 妻子/쳐ᄌᆞ 集會ᄂᆞᆺᄀᆞㅣ十ᄀᆞ/집회ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 怨親平等ᄂᆞᄋᆞㅎ/원친평등ᄒᆞ아금 永ㅿ/길거 貪著/탐뎌 離ᄒᆞᄇᆞᄐᆞ立/여희디 ᄂᆞ디셔

直譯/讀 불자여 어찌하여 마음을 쓰는 때에는 능히 일체 수승(勝/殊勝)하고 묘한 공덕(功德)을 얻는구나! (그리) 하려고 할 것이면 불자여 보살이 집에 있을 때에는 반드시 원한다면 중생은 집(家) 성품(性品)의

6) 위 '免ᄒᆞᄇᆞᄐᆞ立ᄂᆞᄆᆞᄎᆞᄀᆞ'(原文)에서 '_ᄂᆞᄆᆞᄎᆞᄀᆞ'란 토는 없다. '_ᄂᆞᄉᆞᄌᆡᄀᆞ'의 오자이다.

공(空)한 줄을 알게 하게끔 그 핍박을 면하여 주소서. (그리) 하였을 것이며 부모를 효성으로 섬길 때에는 반드시 원한다면 모든 중생은 잘(善) 부처님을 섬기시옵게끔 일체를 보호하네 봉양하네 (그리) 하게 하소서. 처자가 모였을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 원수거나 친한 이거나 평등하게끔 오래 탐착(貪著 : 지나치게 탐함)을 떠나게 하소서.

[9] <02:22~03:02>

原文/讀 若ᄂᆞᆞᄒᆞ다가 五欲ᄒᆞ/오욕ᄋᆞᆯ 得ᄒᆞᄀᆞᅵᆞᆫᄀᆞ/얻언다힌 當願衆生/당원즁싱 欲箭ᄒᆞ/욕젼을 拔除ᄂᆞᆞᄒᆞᄉᆞ /밠뎨ᄒᆞ아기 究竟安隱ᄂᆞᄇᆞᄒᆞᆫᄃᆞᆺ/구경안은ᄒᆞᄂᆞ디셔 妓樂聚會/기락취회 當願衆生/당원즁싱 以法自娛/이법ᄌᆞ오 了妓非實/료기비실 若ᄂᆞᆞᄒᆞ다가ᄉᆞ 宮ᄂᆞᆞ/궁여 室ᄂᆞᆞᄂᆞᄉᆞᄒᆞᆫᄒᆞ/실여 호려의희 在ᄂᆞᆞᄎᆞᄀᆞᅵᆞᆫᄀᆞ/지ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 聖地ᄂᆞᆞᄒᆞ/셩디아히[於] 入ᄂᆞᆞᄉᆞ/십ᄒᆞ아금 永ᄎᆞᆺ/길거 穢欲ᄒᆞ/예욕ᄋᆞᆯ 除ᄋᆞᄇᆞᄒᆞᆺ/뎨ᄒᆞᄂᆞ셔 瓔珞ᄒᆞ/영락ᄋᆞᆯ 著ᄂᆞᆞᄎᆞᄀᆞ/탹ᄒᆞ건 時ᄂᆞᆞᄒᆞᆫᄀᆞ/다여흰 當願衆生/당원즁싱 諸ᄀᆞ/모든 僞飾ᄒᆞ/위식을 捨ᄂᆞᆞᄅᆞᄒᆞᄉᆞ/샤ᄒᆞ고기 眞實/진실 處ᄂᆞᆞᄒᆞ/쳐아히 到ᄇᆞᄒᆞᆺ/니르ᄂᆞ셔 樓閣ᄂᆞᆞᄒᆞ/루각아히 上昇ᄂᆞᆞᄎᆞᄀᆞᅵᆞᆫᄀᆞ/샹숭ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 正法ㅇ/졍법ᄉᆞ 樓ᄂᆞᆞᄒᆞ/루아히 昇ᄂᆞᆞᄉᆞ/숭ᄒᆞ아금 一切ᄒᆞ/일체를 徹見ᄂᆞᆞᄇᆞᄒᆞᆺ/텰견ᄒᆞᄂᆞ셔

直譯/讀 만일 五욕(欲)을 얻을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 욕심의 화살을 빼어 버리고서 끝까지 안온하여지소서. 즐거운 놀이로 모일 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 법으로써 스스로 즐기고 놀이는 참이 아님을 알아야 한다. 만일 궁(宮)이나 실(室)이나 한다는 곳에 있었을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 성인의 지위에 들어가게끔 영원히 탐욕을 덜어(除)지소서. 영락을 걸쳤을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 모든 거짓 단장을 버리고서 진실한 곳에 이르소서. 누각에 올라갔을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 정법(正法)의 누각에 올라가게끔 일체를 철저하게 보이소서.

[10] <03:03~07>

原文/讀 若ㄴ/ᄒᆞ다가ㅅ 施ㅣᄇᆞ/시호ㅿ 所ㄴ/바ᄅᆞᆯ 有ㅛㅈㄱㅣㅓㄱ/두건다힌 當願衆生/당원즁싱 一切ㄴ/일쳬를 能ᄒᆞᆫ/시러디 捨ㅣᄋᆞㅎ/샤ᄒᆞ아금 心ᄋᆞㅓ/ᄆᆞᅀᆞᆷ아히 愛著ㅣᄇᆞ/애탹홇 無ㅂᆞᄑᆞ/없ᄂᆞ셔 衆會/즁회 聚集ㅣㅈㄱㅣㅓㄱ/취집ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 衆ㄱ/모ᄃᆞᆫ 聚ㄴ/거두웃 法ㄴ/법을 捨ㅣᄋᆞㅅ/샤ᄒᆞ아기 一切智ㄴ/일쳬디를 成ㅢㅂᆞᄑᆞ/일우리ᄂᆞ셔 若ㄴ/ᄒᆞ다가ㅅ 厄難ᄋᆞㅓ/익난아히 在ㅣㅈㄱㅣㅓㄱ/지ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 意ㄴ/의를 隨ㅁ/조초 自在ㅣᄋᆞㅎ/ᄌᆞ지ᄒᆞ아금 所行/소힝 礙ᄇᆞ/ᄀᆞ리욘 無ㅂᆞᄑᆞ/없ᄂᆞ셔 居家ㄴ/거가ᄅᆞᆯ 捨ㅣㅈㄱ/샤ᄒᆞ건 時ㅓㄱ/다흰 當願衆生/당원즁싱 出家ㅣᄇᆞㅁ/출가호ㅿ딕 礙ᄇᆞ/ᄀᆞ리욘 無ᄋᆞㅅ/없어기 心ᄋᆞㅓ/ᄆᆞᅀᆞᆷ아히 解脫ㅣᄇᆞㅅㄴ/히탈호ㅿᄃᆞᆯ 得ㅂᆞᄑᆞ/얻ᄂᆞ셔 僧伽藍ᄋᆞㅓ/숭가람아히 入ㅣㅈㄱㅣㅓㄱ/십ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 種種ㄴ/갓갓ㅅ 無乖諍ㄴ/무괴징ㅅ 法ㄴ/법을 演說ㅣㅂᆞᄑᆞ/연셜ᄒᆞᄂᆞ셔

直譯/讀 만일 보시(布施)하는 바를 두었을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 온갖 것을 능히 버리게끔 마음에서 애착함이 없으소서. 여러 대중이 모였을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 여러 가지 거두(聚)운 법을 버리고서 일체지(一切智 : 모두를 아는 사람. 곧 부처님)를 이루어지소서. 만일 액난에 있었을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 마음에 따라 자재(自在)하게끔 가는 곳마다 장애됨 없으소서. 있던 집을 버렸을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 출가하되 장애됨이 없게끔 마음에서 해탈됨을 얻으소서. 승가람(僧伽藍/僧園)에 들어갔을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 가지가지의 어기거나 다툼이 없는 법을 연설하소서.

[11] <03:08~12>

原文/讀 大小師ㅋㅓ/대쇼ᄉᆞ의희 詣ㅈㄱㅣㅓㄱ/나ᅀᅡ가건다힌 當願衆生/당원즁싱 巧ㅢ/공교히 師長ㄴ/ᄉᆞ댱ᄋᆞᆯ 事ㅅ白ᄋᆞㅅ/셤기ᄉᆞᆸ아기 善法ㄴ/션법을 習行ㅣㅂᆞᄑᆞ/습힝ᄒᆞᄂᆞ셔 出家ㅣᄇᆞㅇㄴ/출가호ㅿᄃᆞᆯ 求請ㅣㅈㄱ

ㅣ十ㄱ/구청ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 不退法ᄂᆞ/블퇴법을 得ᄋᆞᄉᆞ/얻어금 心ᄆᆞ/ᄆᆞᅀᆞᆷ 障礙ᄆᆞ/쟝앵 無ᄇᆞᄭᅮ/없ᄂᆞ셔 俗服ᄂᆞ/쇽복올 脫去ᄉᆞᄀᆞㅣ十ㄱ/탈거ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 勤ᄀᆞ/부즈럿 善根ᄂᆞ/션근을 修ᄋᆞᄒᆞ/닷가기 諸/모든 罪ᄀᆞ/죄ㅅ 輭ᄂᆞ/읙올 捨ᄉᆞᄇᆞᄭᅮ/샤ᄒᆞᄂᆞ셔 鬚髮ᄂᆞ/슈발올 剃除ᄉᆞᄀᆞㅣ十ㄱ/톄뎨ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 永ᄀᆞ/길거 煩惱ᄂᆞ/번노ᄅᆞᆯ 離ᄋᆞᄅᆞᄒᆞᄒᆞ/여희디고기 究竟寂滅ᄉᆞᄇᆞᄭᅮ/구경젹멸ᄒᆞᄂᆞ셔 袈裟衣ᄂᆞ/가사의를 著ᄉᆞᄀᆞㅣ十ㄱ/탹ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 心ᄋᆞ十/ᄆᆞᅀᆞᆷ아히 染ᄂᆞᄆᆞ/므들호ᅀᆞ 所ᄋᆞ/바 無ᄋᆞᄒᆞ/없어기 大仙ᄒᆞ/대션의 道ᄂᆞ/도ᄅᆞᆯ 具ᄀᆞᄇᆞᄭᅮ/ᄀᆞᄎᆞᄂᆞ셔

直譯/讀 큰 스승 작은 스승에게 나아갔을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 공교히 스승을 섬기시옵게끔 선한 법을 익히고 행하소서. 출가하기를 청구했을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 물러가지 않는 법을 얻게끔 마음에 장애가 없으소서. 세속 옷을 벗었을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 부지런히 선근(善根)을 닦아서 모든 죄의 멍에를 버리소서. 머리털과 수염을 깎았을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 영원히 번뇌를 여의게끔 필경에는 적멸하소서. 가사(袈裟)를 입었을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 마음에 물들은 바를 없이 하여서 큰 신선(神仙)의 도를 갖추소서.

[12] <03:13~16>

原文/讀 正ᄀᆞ/바ᄅᆞᄉᆞ 出家ᄉᆞᄀᆞㄱ/출가ᄒᆞ건 時ᄉᆞ十ㄱ/다여흰 當願衆生/당원즁싱 佛ᄆᆞ/부텨디 出家ᄉᆞᄒᆞᄀᆞㄱ十[7]/출가ᄒᆞ샤온의희 同ᄋᆞᄒᆞ/ᄀᆞᆮᄒᆞ아기 一切ᄂᆞ/일체를 救護ᄉᆞᄇᆞᄭᅮ/구호ᄒᆞᄂᆞ셔 [於]佛ᄂᆞ/부텨를 自ᄂᆞᄉᆞᄀᆞ/스싀로 ᄒᆞᆫ 歸ᄉᆞᄀᆞᄂᆞᄆᆞ/귀ᄒᆞᆫ으로 當願衆生/당원즁싱 佛種ᄂᆞ/불죵올 紹隆ᄋᆞᄒᆞᄉᆞ/쇼륭ᄒᆞ아금 無上意ᄂᆞ/무샹의를 發ᄉᆞᄇᆞᄭᅮ/발ᄒᆞᄂᆞ셔 [於] 法ᄂᆞ/법을 自ᄂᆞᄉᆞᄀᆞ/스싀로 ᄒᆞᆫ 歸ᄉᆞᄀᆞᄂᆞᄆᆞ/귀ᄒᆞᆫ으로 當願衆生/당원즁싱 深ㅣ/기피 經藏ᄋᆞ十/경장아히 入ᄉᆞᄋᆞᄒᆞ/닙ᄒᆞ아기 智慧ㅣ/디혜이 海/바ᄅᆞᆯ 如ᄒᆞ

7) 위 'ᄉᆞᄒᆞᄀᆞㄱ十'(原吐)는 'ᄉᆞᄒᆞᄀᆞㄱ十'의 오류이다.

ᄂᆞᆷᄒᆞᆫᄃᆞ ᄒᆞᄂᆞ셔 [於] 僧ᄉᆞ/즁을 自ᄂᆞᄆᆞᄀᆞ/스싀로 ᄒᆞᆫ 歸ᄂᆞᄀᆞᄉᆞᇫ/귀ᄒᆞᆫ으로 當願衆生/당원즁싱 大衆ᄉᆞ/대즁을 統理ᄂᆞᄅᆞᄆᆞ/통리호ᅀᆞ디 一切ᄎᆞᄀᆡ/일체잇 礙ᄅᆞ/ᄀᆞ리욘 無ᄇᆞᆫ호/없ᄂᆞ셔

直譯/讀 바르게 출가한 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 부처님의 출가하셨다네 (그러) 한 이에게 같이 하게끔 일체를 구하소서. 부처님을 스스로한 귀착(歸/歸着)한 때로부터 마땅히 원하기를 모든 중생이 불종(佛種 : 佛道의 繼跡)을 융성하게끔 위 없는 뜻을 일으키(發)소서. 불법을 스스로한 귀착한 때로부터 마땅히 원하기를 모든 중생이 깊이 경법(經法 : 經典의 敎理)의 장(經藏)에 들어가서 지혜가 바다와 같아지소서. 승려를 스스로한 귀착(歸)한 때로부터 마땅히 원하기를 모든 중생이 대중을 통솔 (및) 감리하건되 일체에의 것 장애함 없으소서.

[13] <03:17~20>

原文/讀 戒ᄉᆞ/계를 受ᄂᆞᇰᄀᆞ/슈ᄒᆞ져 學ᄂᆞᇰᄀᆞᄉᆞᄀᆞ/ᄒᆞᆨᄒᆞ져 ᄒᆞ건 時ᄉᆞ ᄐᆞᄀᆞ/다여흰 當願衆生/당원즁싱 善ᄉᆞᆫ/이드디 [於]戒ᄉᆞ/계를 學ᄂᆞᄀᆞᄉᆞ ᄒᆞ/ᄒᆞᆨᄒᆞ아기 衆ᄀᆞ/모든 惡ᄉᆞ/악올 作ᄅᆞ/짇[8] 不ᄂᆞᆷᄒᆞᆫ호/안돌ᄒᆞᄂᆞ셔 闍梨敎ᄉᆞ/도리교ᄅᆞᆯ 受ᄃᆞᄀᆞᄂᆡᄐᆞᄀᆞ/받건다흰 當願衆生/당원즁싱 威儀ᄉᆞ/위의를 具足ᄂᆞᄀᆞᄉᆞᄒᆞ/구죡ᄒᆞ아금 所行/소힝 眞實ᄂᆞᆷᄒᆞᆫ호/진실ᄒᆞᄂᆞ셔 和尙ᄒᆞ/화샹이 敎ᄉᆞ/교ᄅᆞᆯ 受ᄃᆞᄀᆞᄂᆡᄐᆞᄀᆞ/받건다흰 當願衆生/당원즁싱 無生智ᄀᆞᄐᆞ/무싱디아히 入ᄂᆞᄀᆞᄒᆞ/십ᄒᆞ아기 無依處ᄀᆞᄐᆞ/무의쳐아히 到ᄇᆞᆫ호/니르ᄂᆞ셔 具足戒ᄉᆞ/구죡계를 受ᄃᆞᄀᆞᄂᆡᄐᆞᄀᆞ/받건다흰 當願衆生/당원즁싱 諸ᄀᆞ/모든 方便ᄉᆞ/방변을 具ᄀᆞᄀᆞᄀᆞᄒᆞ/ᄀᆞ초아금 最勝法ᄉᆞ/최숭법을 得ᄇᆞᆫ호/얻ᄂᆞ셔

直譯/讀 계율(戒/戒律)을 받네 배우네 (그리) 하였는 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 잘(善) 계행(戒行)을 배워서 모든 악을 짓지 말게 하소서. 사리(闍梨)의 가르침을 받았을 때에는 마땅히 원하기를 모

8) 위 '作ᄅᆞ'을 종전대로 '짛'으로 독음하면 誤讀이다. 이는 '짇'으로 읽어야 한다. 이번에 필자가 새로 토 'ᄅᆞ'를 入聲字 'ᄅᆞ→ᄅᆞ/ㅅ·ㅿ'으로 추정한 바에 따른 것이다. 이는 '矯逸ᄅᆞ/거즛 짇'<六19>에서도 훌륭히 立證되기 때문이다.

든 중생이 위의(威儀)를 갖추게끔 소행(所行)이 진실하소서. 화상(和尙)의 가르침을 받았을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 무생지(無生智/未來의 若果는 없다는 自覺의 智)에 들어가서 의지할 데 없는 곳에 이르(到)소서. 구족계(具足戒)를 받았을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 모든 방편(方便)을 구족(具足)하게끔 가장 승(勝)한 법을 얻으소서.

[14] <03:21~24>

原文/讀 若ᄒᆞ/ᄒᆞ다가 堂宇ᄀᆞ+/당우아히 入ᄉᆞᆨㄱㅣ+ㄱ/들건다힌 當願衆生/당원즁싱 無上堂ᄀᆞ+/무상당아히 昇ᄂᆞᆺᄀᆞㅎ/숭ᄒᆞ아기 安住ᄂᆞᆺᄀᆞㅎ/안듀ᄒᆞ아금 動尸/뮈욷 不ᄂᆞᄒᆞᄇᆞᆼ/아니ᄒᆞᄂᆞ셔 若ᄒᆞ/ᄒᆞ다가ㅅ 牀座ㄴ/상좌를 敷ᄂᆞᆺᄉᆞᆨㄱㅣ+ㄱ/부ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 善法ㄴ/션법을 開敷ᄂᆞᆺᄀᆞㅎ/기부ᄒᆞ아기 眞實相ㄴ/진실샹ᄋᆞᆯ 見ᄇᆞᆼ/보ᄂᆞ셔 正身ᄂᆞᆺᄀᆞㅎ/졍신ᄒᆞ아금 端正ᄂᆞᆺᄉᆞᆨㄱㅣ+ㄱ/단졍ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 菩提座ᄀᆞ+/보리좌아히 坐ᄂᆞᆺᄀᆞㅎ/좌ᄒᆞ아기 心/ᄆᆞᅀᆞᆷ 著ノ尸/탹호ㅿ 所ᄀᆞ/바 無ᄇᆞᆼ/없ᄂᆞ셔 結跏趺坐ᄂᆞᆺᄉᆞᆨㄱㅣ+ㄱ/결가부좌ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 善根堅固ᄂᆞᆺᄀᆞㅎ/션근견고ᄒᆞ아기 不動地ㄴ/부동디를 得ᄇᆞᆼ/얻ᄂᆞ셔

直譯/讀 만일 승당(堂宇 : 僧堂)에 들어갔을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 무상당(無上堂)에 올라가서 편안히 머무르게끔 동요함 말으소서. 만일 평상(牀座 : 平床)을 깔고 앉았을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 선(善)한 법을 널리 펴서 진실한 모양을 보이소서. 몸을 바로 하게끔 단정히 하였을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 보리좌(菩提座)에 앉아서 마음에 집착하는 바 없으소서. 결가부좌(結跏趺坐 : 앉는 법의 하나)하였을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 선근(善根)이 견고하여서 흔들리지 않는 자리를 얻으소서.

[15] <04:01~04>

原文/讀 [於]定ㄴ/명을 修行ᄂᆞᆺᄉᆞᆨㄱㅣ+ㄱ/슈힝ᄒᆞ건다힌 當願衆生/

당원즁싱 定ㄴ/뎡을 以ᄀᆞ/뼈기 心ㄴ/ᄆᆞᅀᆞᆷ올 伏ㅅ/굿블호ㅿ디 究竟/구경 餘ㅅㄱ/남ᄒᆞᆫ 無ㅢㅅ/없이ᄒᆞᄂᆞ셔 若ㅇ/ᄒᆞ다가ㅅ [於]觀ㄴ/관올 修ㅌㅗㄱㅣㅓㄱ/닷건다힌 當願衆生/당원즁싱 如實 理ㄴ/셔실 리를 見ᄀᆞ/보아금 永ㅗ/길거 乖諍ㆍ/괴징 無ㅌㅛ/없ᄂᆞ셔 跏趺坐ㄴ/가부좌롤 捨ㅅㅗㄱㅣㅓㄱ/샤ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 行法ㅋ/힝법의 悉ᄀᆞ/다 散滅ㅅㅁㅊ/산멸호ㅿ디희 歸ㅅㅁㅇㄴ/귀호ㅿ돌 觀ㅅㅌㅛ/관ᄒᆞᄂᆞ셔 下足ㅅᄀᆞ/하죡ᄒᆞ아 住ㅅㅗㄱ/듀ᄒᆞ건 時ㅓㄱ/다흰 當願衆生/당원즁싱 心ᄀᆞㅓ/ᄆᆞᅀᆞᆷ아히 解脫ㅅㅁㅇㄴ/히탈호ㅿ돌 得ᄀᆞᄒᆞ/얻어기 安住ㅅᄀᆞㅊ/안듀ᄒᆞ아금 動ㅁ/뮈욷 不ㅅㅌㅛ/안돌ᄒᆞᄂᆞ셔

直譯/讀 선정(定/禪定)을 닦았을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 정력(定/定力 : 禪定의 힘)을 갖고서 마음을 조복(伏/調伏)하되 마지막까지 남음은 없이하소서. 만일 관법(觀/觀法)을 닦았을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 있는 그대로의 이치(理)를 보게끔 영원히 어기거나 다툼이 없으소서. 가부좌(跏趺座)를 그만둘 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 여럿 행법(行法)의 다 흩어져 없어져 감에 돌아오는 것들을 관찰하소서. 발을 내려놓고 머물렀을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 마음에 해탈함을 얻고서 안주(安住)하게끔 동요함 말으소서.

[16] <04:5~08>

原文/讀 若ㄷ/ᄒᆞ다가ㅅ [於]足ㄴ/발올 擧ㅅㅗㄱㅣㅓㄱ/거ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 生死海ㄴ/싱ᄉᆞ히롤 出ㅅᄀᆞㅊ/출ᄒᆞ아금 衆ㄱ/모ᄃᆞᆫ 善法ㄴ/션법을 具ㅇㅌㅛ/ᄀᆞ초ᄂᆞ셔 下裙ㄴ/하군을 著ㅅㅗㄱ/탹ᄒᆞ건 時ㅓㄱ/다힌 當願衆生/당원즁싱 諸善根ㅇ/졔션근을 服ㅅᄀᆞㅊ/복ᄒᆞ아금 慙媿ㅇ/참괴롤 具足ㅅㅌㅛ/구죡ᄒᆞᄂᆞ셔 整衣ㅅㅋ/졍의ᄒᆞ며 束帶ㅅㅗㄱㅣㅓㄱ/속ᄃᆡᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 善根ㄴ/션근을 檢束ㅅᄀᆞㅎ/검속ᄒᆞ아기 散失ㆍ/산실 令ㅢㅁ/ᄒᆞ잉 不ㅅㅌㅛ/안돌ᄒᆞᄂᆞ셔 若ㄷ/ᄒᆞ다가ㅅ 上衣ㄴ/샹의를 著ㅅㅗㄱㅣㅓㄱ/탹ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 勝善根ㄴ/숭션근을

獲ᄀᆞᄒᆞ/얻어금 法ᄉᆞ/법ㅅ 彼岸ᄀᆞᆫ/피안아히 至ᄒᆞᆫ다/니르ᄂᆞ셔

直譯/讀 만일 발(足)을 들었을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 생사(生死)의 바다를 뛰어 나오게끔 모든 선(善)한 법을 갖추소서. 아랫옷(下裙)을 입었을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 여럿 선근(善根)을 입게끔 부끄러움을 구족(具足)하소서. 옷을 정돈하며 띠를 묶었을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 선근(善根)을 단속하고서 흩어지고 잃어지지 않게 하소서. 만일 웃옷을 입었을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 수승(勝/殊勝)한 선근(善根)을 얻게끔 불법(法/佛法) 의 피안(彼岸)에 이르소서.

[17] <04:09~12>

原文/讀 僧伽梨ㄴ/숭가리를 著ᄂᆞᆫᄀᆞᆫ ᄀᆞᆫᄀᆞ/탹ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 第一位ᄀᆞᆫ/뎨일위아히 入ᄂᆞᄀᆞᄒᆞ/십ᄒᆞ아금 不動法ㄴ/브동법을 得ᄇᆞᆫ다/얻ᄂᆞ셔 手ᄀᆞᆫ/손아히 楊枝ㄴ/양지를 執ᄂᆞᆫᄀᆞᆫᄀᆞ/잡건다힌 當願衆生/당원즁싱 皆ᄂᆞ/다아ㅅ 妙法ㄴ/묘법을 得ᄀᆞᄒᆞ/시러금 究竟/구경 淸淨ᄂᆞᄇᆞᆫ다/청졍ᄒᆞᄂᆞ셔 楊枝ㄴ/양지를 嚼ᄂᆞᆫᄀᆞ/작ᄒᆞ건 時ᄐᆞᆫᄀᆞ/다힌 當願衆生/당원즁싱 其心ᄒᆞ/그 ᄆᆞ숨 調淨ᄂᆞᄀᆞᄒᆞ/됴졍ᄒᆞ아기 諸ᄀᆞ/모든 煩惱ㄴ/번노ᄅᆞᆯ 噬ᄂᆞᄇᆞᆫ다/셔ᄒᆞᄂᆞ셔 大小便ㄴᄂᆞᆫᄀᆞ/대소변을 ᄒᆞ건 時ᄐᆞᆫᄀᆞ/다힌 當願衆生/당원즁싱 貪瞋癡ㄴ/탐진티를 棄ᄂᆞᄅᆞᄒᆞ/기ᄒᆞ고기 罪ᄉᆞ/죄ㅅ 法ㄴ/법을 蠲除ᄂᆞᄇᆞᆫ다/견뎌ᄒᆞᄂᆞ셔

直譯/讀 승가리(僧伽梨 : 설법 때 입는 僧衣)를 입었을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 첫째의 지위(第一位)에 들어가게끔 동요하지 않는 법을 얻으소서. 손에 이쑤시개(楊枝)를 잡았을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 여럿 묘(妙)한 법을 얻게끔 끝까지 청정(淸淨)하소서. 이쑤시개(楊枝)를 씹었을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 그 마음 조화롭고 깨끗하여서 모든 번뇌를 씹으소서. 대소변을 보았을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 탐욕·성냄·시기심 등을 버리고서 죄(罪)의 법을 덜으소서.

[18] <04:13~16>

原文/讀 事ㄴ/일을 訖ㅁㅏ/ᄆᆞᄎᆞ고기 水ㅈㅓ/믈아히 就ㅊㅣㅓㄱ/낫건다힌 當願衆生/당원즁싱 出世ㄷ /출셰ㅅ 法ㄷ/법ㅅ 中ㅈㅓ/즁아히 速疾ㅎ/속질히 而ㅱ/ᄉᆡ로 往ㅇㅂ고/왕ᄒᆞᄂᆞ셔 形ㄷ/즛 穢ㅇㅣ ㅅㄴ/예ᄒᆞᆫ 돌 洗滌ㅇㅊㅣㅓㄱ/세텩ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 淸淨調柔ㅇㅈㅓㅅ/쳥졍됴슈ᄒᆞ아기 畢竟/필경 垢ㆍ/더 無ㅂ고/없ᄂᆞ셔 水ㄴ/믈을 以/뼈 掌ㄴ/손바독올 盥ㅊㅣㅓㄱ/싯건다힌 當願衆生/당원즁싱 淸淨手ㄴ/쳥졍슈를 得ㅈㅓ/얻어금 佛法ㄴ/불법을 受持ㅇㅂ고/슈디ᄒᆞᄂᆞ셔 水ㄴ/믈을 以/뼈 面ㄴ/ᄂᆞᆺ출 洗ㅊㅣㅓㄱ/싯건다힌 當願衆生/당원즁싱 淨法門ㄴ/졍법문을 得ㅈㅓ/얻어금 永ㅊ/길거 垢染ㆍ/구염 無ㅂ고/없ᄂᆞ셔

直譯/讀 일을 마치고서 물에 나아갔을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 출세하는 법 가운데에서 빨리 이로므로 가소서. 몸 양자(樣姿)에 더러운 것들을 씻었을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 깨끗하고 부드러워서 끝까지 때가 없으소서. 물로써 손바닥을 씻었을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 깨끗한 손을 얻게끔 부처님 법을 받아지소서. 물로써 낯을 씻었을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 청정한 법문을 얻게끔 영원히 때가 없으소서.

[19] <04:17~20>

原文/讀 手ㅈㅓ/손아히 錫杖ㅇ/셕댱올 執ㅈㅣㅣㅓㄱ/잡안다힌 當願衆生/당원즁싱 大施會ㄴ/대시회를 設ㅅㅈㅓ/셜ᄒᆞ아금 如實道ㄴ/여실도를 示ㅣㅂ고/보이ᄂᆞ셔 應器ㄴ/응긔를 執持ㅅㅊㅣㅓㄱ/집디ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 法器ㄴ/법긔를 成就ㅅㅈㅓ/셩취ᄒᆞ아금 天人ㄷ/텬싄ㅅ 供ㄴ/공올 受ㅂ고/받ᄂᆞ셔 趾ㄴ/발올 發ㅅㅈㅓ/발ᄒᆞ아금 道ㄴ/도를 向ㅅㅊㅣㅓㄱ/향ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 佛矣/부텨디 所行ㅈㅓ/소힝아히 趣ㅅㅈㅓ/취ᄒᆞ아기 無依處ㅈㅓ/무의쳐아히 入ㄴㅂ고/들ᄂᆞ셔 若ㄷ/ᄒᆞ다가ㅅ 道ㅈㅓ/도아히[於] 在ㅅㅊㅣㅓㄱ/지ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 能ㅈ/시러디 佛道ㄴ/불도를 行ㅅㅈㅓ/힝ᄒᆞ아금 無餘法ㅈㅓ/무여

법아히 向ᄂᆞᄆᆞᅀᅩ/향ᄒᆞᄂᆞ셔

直譯/讀 손에 석장(錫杖 : 승려용 지팡이의 하나)을 들 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 크게 보시하는 모임을 베풀게끔 진실과 같은 도(道)를 보이소서. 바리를 들었을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 법기(法器)를 성취(成就)하게끔 하늘과 사람의 공양을 받으소서. 발(趾)을 들게끔 도(道)를 향하였을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 부처님의 행(行)하시던 바에 나아가서 의지(依支)가 없는 곳에 들어가소서. 만일 도(道)에 있었을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 능히 부처님 도(道)를 행(行)하게끔 번뇌 따위(餘) 없(無)는 불법에 향(向)하소서.

[20] <04:21~24>

原文/讀 路ㄴ/길흘 涉ᄀᆞᄒᆞ/건너금 而ᄭᅴ/ᄉᆡ로 去ㅿㄱㅣㅓㄱ/가건다힌 當願衆生/당원즁싱 淨法界ㄴ/졍법계를 履ㄴᄆᆞᄆᆞᆷ/볼호ㅿ딕 心ᄀᆞㅓ/ᄆᆞ숨아히 障礙ᄆᆞ/쟝앰 無ㅌᆞᅀᅩ/없ᄂᆞ셔 高ㄱㅋㅓ/노폰의희 昇ㄴᄉᆞᄂᆞᆫ/올호렷路ㄴ/길을 見ᄀᆞㄱㅣㅓㄱ/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 永ㅿ/길거 三界ㄴ/삼계를 出ᄂᆞᄀᆞᄒᆞ/출ᄒᆞ아금 心ᄀᆞㅓ/ᄆᆞ숨아히 怯弱ㆍ/겁약 無ㅌᆞᅀᅩ/없ᄂᆞ셔 下ㅣㅋㅓ/ᄂᆞ리의희 趣ㄴᄉᆞᄂᆞᆫ/취호렷 路ㄴ/길흘 見ᄀᆞㄱㅣㅓㄱ/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 其/그 心ᄉᆞᆷ/ᄆᆞ숨 謙下ᄂᆞᄀᆞᄒᆞ/겸하ᄒᆞ아기 佛矣/부텨디 善根ㄴ/션근을 長ᄂᆞᆮᅀᅩ/댱ᄒᆞᄂᆞ셔 斜曲ᄂᆞᆮᅀᅩᆫ/샤곡ᄒᆞᆫ 路ㄴ/길흘 見ᄂᆞㄱㅣㅓㄱ/보ᄒᆞᆫ다힌 當願衆生/당원즁싱 不正道ㄴ/브졍도롤 捨ᄂᆞᄀᆞᄒᆞ/샤ᄒᆞ아기 永ㅿ/길거 惡見ㄴ/악견을 除ㅌᆞᅀᅩ/덜ᄂᆞ셔

直譯/讀 길(道)을 건너게끔 이(而)로므로 갔을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 깨끗한 법계(法界)를 밟되 마음에서 장애됨 없으소서. 높은 데에 오른(昇)다 하는 길을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 영원히 삼계(三界)를 빠져나게끔 마음에 겁약(怯弱)이 없으소서. 내리받이(下)에 나아간(趣)다 하는 길을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 그 마음 겸손하고 낮추(下)어서 부처님의 선근(善根)을 길

(長)어지소서. 비스듬히 굽은(斜曲) 길(道)을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 바르지 못한 길을 버리고서 영원히 나쁜 소견(惡見)을 덜(除)으소서.

[21] <05:01~04>

原文/讀 若ᄒᆞ/ᄒᆞ다가ㅅ 直路ㄴ/딕로롤 見ᄒᆞㄱㅣㅓㄱ/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 其/그 心ㅎ/ᄆᆞ숨 正直ᄂᆞᄒᆞㅅ/졍딕ᄒᆞ아기 諂/아당 無分/없으며 誑ㆍ/소김 無ㅌㅛ/없ᄂᆞ셔 路ㄲ/길히 塵/듣글 多ㄱㄴ/하건을 見ᄂᆞㄱㅣㅓㄱ[9]/보ᄒᆞ다힌 當願衆生/당원즁싱 塵坌ㄴ/딘분을 遠離ᄂᆞᄒᆞㅅ/원리ᄒᆞ아기 淸淨法ㄴ/쳥졍법을 獲ㅌㅛ/얻ᄂᆞ셔 路ㄲ/길히 無塵ᄂᆞㄱㄴ/무딘ᄒᆞᆯ 見ᄒᆞㄱㅣㅓㄱ/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 常ㄲ/샹녜 大悲ㄴ/대비를 行ᄂᆞᄒᆞㅊ/힝ᄒᆞ아금 其/그 心ㅎ/ᄆᆞ숨 潤澤ᄂᆞㅌㅛ/슌턱ᄒᆞᄂᆞ셔 若ᄒᆞ/ᄒᆞ다가ㅅ 險道ㄴ/험도롤 見ᄒᆞㄱㅣㅓㄱ/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 正法界ᄒᆞㅓ/졍법계아히 住ᄂᆞᄒᆞㅅ/듀ᄒᆞ아기 諸ㄱ/모든 罪難ㄴ/죄난ᄋᆞᆯ 離ᄎᆞㅌㅛ/여희디ᄂᆞ셔

直譯/讀 만일 곧은 길을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 그 마음이 바르고 곧아서 아첨이 없으며 속임이 없으소서. 길이 티끌 많은 것을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 티끌을 멀리 여의고서 청정(淸淨)한 법을 얻으소서. 길(路)이 먼지(塵) 없는 것을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 항상 크게 불쌍히 여김을 행(行)하게끔 그 마음 윤택하소서. 만일 험한 길을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 바른 법계(法界)에 머물러서 모든 죄와 재난을 없이하소서.

[22] <05:05~08>

原文/讀 若ᄒᆞ/ᄒᆞ다가 衆會ㄴ/중회롤 見ᄒᆞㄱㅣㅓㄱ/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 甚深ø/심심ㅅ 法ㄴ/법을 說ᄒᆞㅊ/닐어금 一切ㄴ/일체를 和

9) 위 '見ᄂᆞㄱㅣㅓㄱ'<4:24, 5:2>(原文)은 '見ᄒᆞㄱㅣㅓㄱ'의 誤吐이다.

合ᄉᆞᄫᅵᄒᆞ교[10]/화합ᄒᆞ이ᄂᆞ셔 若ᄒᆞᆫ/ᄒᆞ다가ᅀᅡ 大柱ᄂᆞᆫ/대듀를 見ᄒᆞᄀᆞᆫ/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 我諍ᄒᆞᆫ/아징ᄉᆞ 心ᄂᆞᆫ/ᄆᆞᅀᆞᆷ을 離ᄒᆞᆫ/여희디고기 有忿恨ᄂᆞᆫ/유분ᄒᆞᆫ홇 無ᄒᆞᆫ/없ᄂᆞ셔 若ᄒᆞᆫ/ᄒᆞ다가ᅀᅡ 叢林ᄂᆞᆫ/총림을/ 見ᄒᆞᄀᆞᆫ/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 諸ᄀᆞ/모ᄃᆞᆫ 天ᄂᆞᆫ/텬여 及ᄒᆞᆫ/밋 人ᄂᆞᄉᆞᄒᆞ/신여 호려의 敬禮ᄉᆞᄒᆞ/경례홈 應ᄒᆞᄂᆞᆫᄀᆞ/당닷ᄒᆞᆫ 所ᄫᅵᄒᆞ교/바이ᄂᆞ셔 若ᄒᆞᆫ/ᄒᆞ다가ᅀᅡ 高山ᄂᆞᆫ/고산을 見Ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 善根超出ᄂᆞᄒᆞᄉᆞ/없션근툐출ᄒᆞ아기 能ᄉᆞᆺ/시러디 頂ᄒᆞᄉᆞ/뎡바기아히 至ᄒᆞᄉᆞ/니ᄅᆞ려 無ᄒᆞᆫ교/없ᄂᆞ셔

直譯/讀 만일 대중이 모인 데를 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 깊고 깊은 법(法)을 말하게끔 일체를 화합하게 하소서. 만일 큰 기둥을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 '나'라는 다투는 마음을 떠나고서 분한 원함 없으소서. 만일 우거진 숲을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 뭇 하늘이나 또는 사람이나 한다는 것들과의 경례함에 응(應)한 바이소서. 만일 높은 산을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 선근(善根)이 뛰어나서 능히 정상에 이르름 없이 하소서.

[23] <05:09~12>

原文/讀 棘刺樹ᄂᆞᆫ/극ᄌᆞ슈를 見Ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 疾ᄫᅵ/불리 得ᄒᆞᄉᆞ/시러금 三毒ᄂᆞᆫ/삼독ᄉᆞ[之] 刺ᄂᆞᆫ/가ᄉᆡ를 翦除ᄂᆞᄒᆞ교/젼뎌ᄒᆞᄂᆞ셔 樹ᄫᅵ/큰 나모이 葉茂ᄂᆞᄀᆞᆫ/엽무ᄒᆞᆫ올 見Ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 定ᄂᆞᆫ/뎡여 解脫ᄂᆞᄉᆞᄒᆞᆫ/히탈여 호려ᄂᆞᆯ 以ᄒᆞᄉᆞ/뻐기 而ᄆᆞᆷ/ᄉᆡ로 蔭映ᄂᆞᄒᆞ/음영홇 爲ᄒᆞᄫᅵᄒᆞ교/삼ᄂᆞ셔 若Ø/ᄒᆞ다가ᅀᅡ 華開ᄂᆞᄀᆞᆫ/화기ᄒᆞᆫ올 見Ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 神通等ᄒᆞᄂᆞᆫᄀᆞ/신통 ᄀᆞᆯ오다 ᄒᆞᆫ 法ᄫᅵ/법이

10) 위 '和合ᄉᆞᄫᅵᄒᆞ교'에서 'ᄉᆞᄫᅵ'는 使役 'ᄒᆞ이'이다. 그 이유는 다음 예문(同軌)에서 이를 立證한다. 곧 아래 (1)의 'ᄉᆞᄫᅵ/ᄒᆞ이'는 '시키다'의 使役이므로 토 'ᄉᆞ'은 'ᄉᆞᆷ'의 약체자임이 밝혀졌다.

(1) ᄉᆞᄫᅵナヰカ<10:2>

(2) 向ᄉᆞᄫᅵナヰカ<10:3>

(3) 無ᄫᅵᄉᆞᄫᅵナヰカ<9:24>

華ㆍ/곳 如ᄒᆞᆫ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 ᄒᆞ아 開敷ᄒᆞᄫᆞ고/기부ᄒᆞᄂᆞ셔 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 樹華ㄴ/슈화ᄅᆞᆯ 見Ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 衆ㄱ/모든 相ㅣ/샹이 華ㆍ/곳 如ᄒᆞᆫ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 ᄒᆞ아 三十二ㄴ/삼십싀를 具ᄀᆞᄫᆞ고/ᄀᆞ초ᄂᆞ셔

直譯/讀 가시 있는 나무를 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 빨리 얻게끔 세 가지 독한 가시를 끊어 버리소서. 나무의 잎이 무성함을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 선정(禪定)이나 해탈이나 한다는 것들을 가져서 이로므로 그늘져 비쳐지소서. 만일 꽃이 피는 것을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 신통(神通)과 나란히 한 법(法)이 꽃과 같이 하여 피게 하소서. 만일 꽃 핀 나무를 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 여러 모양(相/樣相)이 꽃과 같아 32상(三十二相 : 부처님 몸에 맞는 32의 標相)을 구족(具足)하소서.

[24] <05:13~18>

原文/讀 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 果實ㄴ과실을/ 見Ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 最勝法ㄴ/최승법을 獲ᄒᆞᄉᆞ/얻어금 菩提ㄷ/보리ㅅ 道ㄴ/도를 證ᄂᆞᄫᆞ고/증ᄒᆞᄂᆞ셔 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 大河ㄴ/대하ᄅᆞᆯ 見Ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 得ᄒᆞᄉᆞ/시러금 法流ᄒᆞ十/법류아히 預ᄂᆞᄒᆞㅅ/(참)예ᄒᆞ아기 佛Ø/부텨디 智海ᄒᆞ十/디히아히 入ᄂᆞᄫᆞ고/십ᄒᆞᄂᆞ셔 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 陂澤ㄴ/피틱ᄋᆞᆯ 見Ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 疾ㅣ/샐리 諸ㄱ/모든 佛ᄉᆞ/부텨디 一味ㄷ/일미ㅅ[之] 法ㄴ/법을 悟ᄂᆞᄫᆞ고/오ᄒᆞᄂᆞ셔 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 池沼ㄴ/디쇼ᄅᆞᆯ 見Ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 語業Ø/어업을 滿足ᄂᆞᄒᆞᄉᆞ/만족ᄒᆞ아금 巧ㅣ/교히 能ᄒᆞ/시러디 演說ᄂᆞᄫᆞ고/연셜ᄒᆞᄂᆞ셔 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 汲井ᄂᆞᄐᆞㄱㄴ/급졍ᄒᆞᄂᆞᆫ을 見Ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 辯才ㄴ/변지ᄅᆞᆯ 具足ᄂᆞᄒᆞㅅ/구족ᄒᆞ아기 一切法/일체법을 演ᄂᆞᄫᆞ고/연ᄒᆞᄂᆞ셔 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 涌泉ㄴ/용천을 見Ø/보안다힌 當願衆生/당원즁생 方便Ø/방변을 增長ᄂᆞᄒᆞᄉᆞ/중댱ᄒᆞ아금 善根/션근 盡ᄑᆞ/다오 無ᄇᆞᄫᆞ고/없ᄂᆞ셔

直譯/讀 만일 과일을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 가장 승(勝)한 법(法)을 얻게끔 보리의 도(道)를 증득(證/證得)하소서. 만일

큰 강(大河)을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 얻게끔 법의 흐름(法流)에 참예(預/參預)하여서 부처님의 지혜란 바다에 들어가(入)소서. 만일 큰 늪을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 빨리 모든 부처님의 한결 같은(一味) 법(法)을 깨달으소서. 만일 연못을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 말솜씨가 만족하게끔 공교히 능히 연설하소서. 만일 물 긷는 중인 우물을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 변재(辯才)를 구족(具足)하여서 일체법을 연설하소서. 만일 솟아오르는 샘을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 방편이 증장(增長)하게끔 선근(善根)이 다함 없으소서.

[25] <05:19~24>

原文/讀 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 橋道ㅣ/교도ᄅᆞᆯ 見Ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 廣ㅐ/너비 一切ㅣ/일체를 度ㅢㅁㄱㅁ/건네오ㅿ디 猶ᄭ/가줄비ᄃᆞᆫ 橋梁ᄂᆞ/교량 如ᄎᆞᆫㅌㅛ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 ᄒᆞᄂᆞ셔 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 流水ㅣ/류슈를 見Ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 善Ø/션의 意欲ㅣ/의욕ᄋᆞᆯ 得ᄋᆞᄒᆞ/얻아금 惑垢ㅣ/혹구를 洗除ㅅㅌㅛ/세뎌ᄒᆞᄂᆞ셔 修園圃ㅣ/슈원보ᄅᆞᆯ 見ㅏㅁㄱㅅㄹ/보누온 ᄃᆞᆯ 當願衆生/당원즁싱 五欲圃ㅣ/오욕보ㅅ 中ᄋᆞㅏ/듕아히 愛草ㅣ/익초ᄅᆞᆯ 耘除ㅅㅌㅛ/운뎌ᄒᆞᄂᆞ셔 無憂林ㅣ/무우림을 見Ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 永ㅿ/길거 貪愛ㅣ/탐익ᄅᆞᆯ 離ᄎᆞㅁㅂㅅ/여희디고기 憂怖ㅣ/우포ᄅᆞᆯ 生ㅐㄲ/냉 不ㅅㅌㅛ/아니ᄒᆞᄂᆞ셔 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 園苑ㅣ/원원을 見Ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 勤ㅣ/부즈러ㅅ 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 行ㅣ/힝ᄋᆞᆯ 修ᄋᆞᄒᆞ/닷ᄀᆞ금 佛Ø/부텨디 菩提ᄋᆞㅏ/보리아히 趣ㅅㅌㅛ/취ᄒᆞᄂᆞ셔 嚴飾ㅅㅌㅣ/엄식ᄒᆞᄂᆞㅅ 人ㅣ/사ᄅᆞᆷᄋᆞᆯ 見Ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 三十二相ㅣ/삼십ᄉᆡ샹ᄋᆞᆯ 以ᄋᆞᄒᆞ/뻐금 嚴好ㆍ/엄호(嚴好 : 아름다움) 爲ᄋᆞㅌㅛ/ᄃᆞ외사ᄂᆞ셔

直譯/讀 만일 다리 놓인 길을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 널리 일체를 제도(度)하되 비유하면 다리(橋)와 같이하소서. 만일 흘러가는 물을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 선(善)한 의욕을

얻게끔 의혹의 때를 씻으소서. 텃밭 김맴을 보는 중인들 마땅히 원하기를 모든 중생이 오욕(五欲)의 텃밭 가운데에서 애욕의 풀을 뽑으소서. 시름 없는 숲을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 영원히 탐욕과 애욕을 떠나고서 근심과 걱정을 내지 말으소서. 만일 동산이나 공원을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 부지런히 모든 행(行)을 닦게끔 부처님의 보리에 나아가소서. 장엄히 치장한 사람을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 三十二 대장부의 몸매로 하여금 장엄하게 단장하소서.

[26] <06:01~06>

原文/讀 嚴飾ᄂᆞ/엄식 無ᄒᆞᄀᆞᆫ/없은을 見Ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 諸ᄀᆞ/모ᄃᆞᆫ 飾好ᄒᆞᆫ/식호ᄅᆞᆯ 捨ᄉᆞᄅᆞᄉᆞ/노ᄒᆞ고기 頭陀ᄒᆞᆫ/두타ㅅ 行ᄒᆞᆫ/힝ᄋᆞᆯ 具ᄀᆞᄇᆞᄒᆞᆫ/ᄀᆞᄎᆞᄂᆞ셔 樂著ᄉᆞᄇᆞᄒᆞᆫ/락뎌ᄒᆞᄂᆞㅅ 人ᄒᆞᆫ/사ᄅᆞᆷᄋᆞᆯ 見Ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 法ᄒᆞᆫ/법을 以ᄀᆞᄒᆞ/뻐금 自ᄀᆞᄒᆞᆫ/스싀를 娛ᄅᆡᄀᆞᄆᆞ/즐기오ᅀᆞᄃᆡ 歡愛ᄉᆞᄀᆞᄒᆞ/환이ᄒᆞ아금 捨ᄆᆞ/바릳 不ᄉᆞᄇᆞᄒᆞᆫ/아니ᄒᆞᄂᆞ셔 樂著ᄂᆞ/락탹 無ᄀᆞᄒᆞᆫ/없은을 見Ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 有爲事ᄒᆞᆫ/유위ᄉᆞᄉᆞ 中ᄀᆞᄒᆞ/듕아히 心ᄀᆞᄒᆞ/ᄆᆞᅀᆞᆷ아히 樂ᄀᆞᄂᆞᄆᆞ/됴호ᅀᆞ 所ᄀᆞᄒᆞ/바 無ᄇᆞᄒᆞᆫ/없ᄂᆞ셔 歡樂人ᄒᆞᆫ/환락신을 見Ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 常ᄅᆡ/샹녜 安樂ᄒᆞᆫ/안락ᄋᆞᆯ 得ᄀᆞᄒᆞ/시러금 樂ᄀᆞ/됴호 佛ᄒᆞᆫ/부텨를 供養ᄉᆞᄇᆞᄒᆞᆫ/공양ᄒᆞᄂᆞ셔 苦惱人ᄒᆞᆫ/고노신을 見Ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 根本智ᄒᆞᆫ/근본디를 獲ᄀᆞᄒᆞ/얻어금 衆ᄀᆞ/모ᄃᆞᆫ 苦ᄒᆞᆫ/고ᄅᆞᆸ ᄋᆞᆯ 滅除ᄉᆞᄇᆞᄒᆞᆫ/멸뎌ᄒᆞ나셔 無病人ᄒᆞᆫ/무병신을 見Ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 眞實慧ᄀᆞᄒᆞ/진실혜아히 入ᄉᆞᄀᆞᄒᆞ/십ᄒᆞ아금 永ᄀᆞᆮ/길거 病惱ᄂᆞ/병노 無ᄇᆞᄒᆞᆫ/없ᄂᆞ셔

直譯/讀 단장(嚴飾/丹粧)함 없는 이를 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 여러 가지 장식을 버리고서 두타(頭陀 : Dhuta. 불도에 매진함)의 수행(行)을 갖추어지소서. 즐거움에 애착한 사람을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 법을 갖게끔 스스로를 즐기되 환희하고 사랑하게끔 버리지 말으소서. 즐거워함이 없는 이를 볼 때에는 마땅히

원하기를 모든 중생이 인연으로 생긴 일 가운데의 마음에서 즐겨하는 바 없으소서. 환락하는 사람을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 항상 안락을 얻게끔 즐겨 부처님을 공양하소서. 고민하는 사람을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 근본지(根本智 : 진리를 깨친 지혜)를 얻게끔 모든 고통을 멸하소서. 무병한 사람을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 진실한 지혜에 들어가게끔 영원히 병과 괴로움이 없으소서.

[27] <06:07~12>

原文/讀 疾病人ㄴ/질병신을 見ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 身ㅋ/몸의 空寂ㅅ ㄱㅣ ㅅㄴ/공적혼 ᄃᆞᆯ 知ㅋㅈ/알아금 乖諍ㄴ/괴징ㅅ 法ㄴ/법을 離ᄒᆞㅌㅛ/여희디ᄂᆞ셔 端正人ㄴ/단졍신을 見ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 佛ㅣ/부텨이 菩薩ㄹㅓ/보살ㅿ희[於] 常ㅣ/샹녜 淨信ㄴ/졍신을 生ㅅㅌㅛ/내ᄒᆞᄂᆞ셔 醜陋人ㄴ/취루신을 見ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 不善ㅅㅌㄴ/블션ᄒᆞᄂᆞㅅ 事ㅋㅓ/일아히[於] 樂著ㄴ/락탹을 生ㅣㄹ/냉 不ㅅㅌㅛ/아니ᄒᆞᄂᆞ셔 報恩人ㄴ/보은신을 見ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 佛ㅣ/부텨이 菩薩ㄹㅓ/보살ㅿ희[於] 能ᄒᆞ/시러디 恩德ㄴ/은덕을 知ㅌㅛ/아ᄂᆞ셔 背恩人ㄴ/비은신을 見ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 惡ㄱ ㅅㄴ/모딘 ᄃᆞᆯ 有ㅛㅌㄴ/두ᄫᅩ 人ㅋㅓ/사ᄅᆞᆷ이힌[於] 其/그 報ㅅㄹㅓㅅㄴ/보호ㅿ ᄃᆞᆯ 加ㄹㅓ/더ᄒᆞᆫ 不ㅅㅌㅛ/안ᄃᆞᆯᄒᆞᄂᆞ셔 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 沙門ㄴ/사문을 見ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 調柔ㅅㅎㅅㅈㅏ/됴슈ᄒᆞ져 寂靜ㅅㅎㅅㅈㅏ/젹졍ᄒᆞ져 ᄒᆞ아금 畢竟/필경 第一ㅣㅌㅛ/뎨일이ᄂᆞ셔

直譯/讀 병난 사람을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 몸의 공적(空寂)한 줄을 알게끔 어기거나 다툼의 법을 여의어지소서. 단정한 사람을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 부처님이 보살께 능히 항상 깨끗한 믿음을 낳으소서. 누추한 사람을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 착하지 않는 일에는 즐거움을 내지 말으소서. 은혜 갚는 사람을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 부처님이 보살께

능히 은덕을 알으소서. 배은(背恩)하는 사람을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 악함을 갖는 사람에게 그 앙갚음(報)인들 더(加)함 말으소서. 만일 스님(沙門 : 法師)을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 조화롭고 유순하다네 적정(寂靜)하다네 (그리) 하게끔 끝까지 제1(第一 : 最上)이 되소서.

[28] <06:13~18>

原文/讀 婆羅門ㄴ/바라문을 見ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 永ㄷ/길거 梵行ㄴ/범힝올 持ㅅㅣ ㅎ/디ᄒᆞ아금 一切/일체 惡ㄴ/악올 離ᄎᆞㅌㅛ/여희디ᄂᆞ셔 苦行人ㄴ/고힝신을 見ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 [於]苦行ㄴ/고힝올 依ㅅㅣ ㅎ/븥어금 究竟/구경 處ㅅㅣ ㅓ/곧아히 至ㅌㅛ/니르ᄂᆞ셔 操行人ㄴ/조힝신을 見ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 志行ㄴ/지힝올 堅持ㅅㅣ ㅎ/견디ᄒᆞ아금 佛道ㄴ/불도롤 捨ᄇᆞ/ᄇᆞ릳 不ㅅㅌㅛ/안둘ᄒᆞᄂᆞ셔 甲胄ㄴ/갑듀를 著ㅅㄱㄴ/탹ᄒᆞᆫ올 見ø/보안다힝 當願衆生/당원즁싱 常ㅣ/샹녜 善鎧ㄴ/션개롤 服ㅅㅣ ㅎ/복ᄒᆞ아금 無師ㅊ/무ᄉᆞᄉᆞ 法ㅅㅣ ㅓ/법아히 趣ㅅㅌㅛ/취ᄒᆞᄂᆞ셔 鎧仗ㆍ/개쟝 無ㄱㄴ/없은을 見ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 永ㄷ/길거 一切/일체 不善ㅊ/블션ㅅ[之] 業ㄴ/업을 離ㅌㅛ/여희ᄂᆞ셔 議論人ㄴ/의론신을 見ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 異論ㅅㅣ ㅓ/이론아히[於] 悉ㅅㅣ/다아 能ㅈ/시러디 摧伏ㅅㅌㅛ/최복ᄒᆞᄂᆞ셔

直譯/讀 바라문을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 영원히 범행(梵行)을 지니게끔 일체 나쁜 일을 여의소서. 고행(苦行)하는 사람을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 고행을 의지(依/依支)하게끔 끝나(究竟)는 곳에 이르소서. 조행(操行)이 좋은 사람을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 지조와 행실(志行)을 굳게 갖게끔 부처님 도를 버림 말으소서. 갑주(甲胄)를 갖춘(著/服) 사람을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 항상 선행의 갑옷을 입게끔 스승 없는 법에 나아가소서. 갑주와 무기가 없는 사람을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 영원히 일체 착(善)하지 못한 업(業)을 여의소서. 논난하는

사람을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 여러 가지 이론(異論)에서 모두 능히 꺾어 굴복하소서.

[29] <06:19~24>

原文/讀 正命人ㄴ/졍명신을 見∅/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 淸淨命ㄴ/쳥졍명을 得ᄀᆞᄒᆞ/시러금 威儀ᄀᆞ十/위의아히 矯逸尸/거즛짇 不ᄂᆞᆫᄒᆞ立/안돌ᄒᆞᄂᆞ셔 若∅/ᄒᆞ다가ㅅ [於]王ㄴ/왕올 見∅/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 得ᄀᆞᄒᆞ/시러금 法王ㅣ尸/법왕잉 爲入ㄴᄂᆞᆫᄀᆞᄒᆞ/ᄃᆞ외돌 ᄒᆞ아기 正法ㄴ/졍법을 恒轉ᄂᆞᆫᄒᆞ立/ᄒᆞᆼ뎐ᄒᆞᄂᆞ셔 若∅/ᄒᆞ다가ㅅ 王子ㄴ/왕ᄌᆞ를 見∅/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 法ㄴ/법을 從ᄐᆞ/조초ㅅ 化生ᄂᆞᆫᄀᆞᄒᆞ/화싱ᄒᆞ아기 而ᄆᆞ/ᄉᆡ로 佛子ㅣ尸/불ᄌᆞ잉 爲入ㄴᄂᆞᆫᄒᆞ立/ᄃᆞ외돌 ᄒᆞᄂᆞ셔 若∅/ᄒᆞ다가ㅅ 長者ㄴ/댱쟈를 見∅/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 善能ᄒᆞ/션능히 明斷ᄂᆞᆫᄀᆞᄒᆞ/명단ᄒᆞ아금 惡法ㄴ/악법을 行尸/녕 不ᄂᆞᆫᄒᆞ立/안돌ᄒᆞᄂᆞ셔 若∅/ᄒᆞ다가ㅅ 大臣ㄴ/대신을 見∅/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 恒ㅣ/샹녜 正念ㄴ/졍념을 守ᄂᆞᆫᄀᆞᄒᆞ/슈ᄒᆞ아금 衆善ㄴ/즁션을 習行ᄂᆞᆫᄒᆞ立/습힝ᄒᆞᄂᆞ셔 若∅/ᄒᆞ다가ㅅ 城郭ㄴ/셩곽올 見∅/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 堅固身ㄴ/견고신을 得ᄀᆞᄒᆞ/시러금 心ᄀᆞ十/ᄆᆞᅀᆞᆷ아히 屈ノ尸丶/굴호ㅿ 所∅/바아 無ᄒᆞ立/없ᄂᆞ셔

直譯/讀 바르게 사는(正命) 사람을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 깨끗한 목숨을 얻게끔 위의(威儀)에 거짓을 만듦 말으소서. 만일 임금을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 능하게끔 법왕인 몸 된들 (그리) 하여서 바른 법을 항상 운행하소서. 만일 왕자를 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 법을 따라 화생(化生)하여서 이로므로 부처님의 아들인 몸 된들 (그리) 하소서. 만일 장자(長者)를 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 능히 잘 밝게 판단하게끔 악법을 행함 아니하소서. 만일 대신들을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 항상 바른 생각을 지키게끔 모든 선을 익혀 행하소서. 만일 성곽(城郭)을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 경고한 몸을 얻게끔 마음

에 굴복하는 바 없으소서.

[30] <07:01~05>

原文/讀 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 王都ㄴ/왕도ᄅᆞᆯ 見ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 功德共聚ㅅᄀᆞᄒᆞㅂ/공덕공취ᄒᆞ아기 心ㅎ/ᄆᆞᅀᆞᆷ 恒ㅣ/샹녜 喜樂ㅅᄇᆞᄐᆞ/희락ᄒᆞᄂᆞ셔 林藪ᄀᆞ/림수아히 處ㅅᄀᆞㄴ/쳐ᄒᆞᆫᄃᆞᆯ 見ø/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 天人ㅋ/텬신의[之] 歎仰ㅅᄀᆞ/탄앙호ㅿ 所ㅣㄱ/바잇 爲ㅅㄴㅅㅎ/ᄃᆞ외ᄃᆞᆯ 홈 應ㅌㅅᄇᆞᄐᆞ/당다ㅅ ᄒᆞᄂᆞ셔 里ᄀᆞ/ᄆᆞᅀᆞᆯ아히 入ㅅᄀᆞㅸ/십ᄒᆞ아금 乞食ㅅㅈㄱㅣㅓㄱ/걸식ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 深法界ᄀᆞ/심법계아히 入ㅅㄱㅁ/십호ㅿ디 心ㅎ/ᄆᆞᅀᆞᆷ 障礙ㄱ/쟝앰 無ㅂᄐᆞ/없ᄂᆞ셔 人ㅋ/놈ᄋᆡ 門戶ᄀᆞ/문호아히 到ㅈㄱㅣㅓㄱ/니르건다힌 當願衆生/당원즁싱 一切/일쳬 佛法ㄷ/불법ㅅ[之] 門ᄀᆞ/문아히[於] 入ㅅㅂᄐᆞ/십ᄒᆞᄂᆞ셔 其/그 家ᄀᆞ/집아히 入ㄱ/드로ᄆᆞᆺ 已ᄀᆞㅅㅈㄱㅣㅓㄱ/그츨사 ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 得ᄀᆞㅸ/시러금 佛乘ᄀᆞ/불숭아히 入ㅅᄀᆞㅂ/십ᄒᆞ아기 三世/삼셰 平等ㅅㅂᄐᆞ/평등ᄒᆞᄂᆞ셔

直譯/讀 만일 임금의 수도를 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 공덕과 함께 모여서 마음이 항상 즐거우소서. 숲 속에 있음을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 하늘이나 세상 사람들의 찬탄하고 앙모함인 바가 된들 (그리) 함에 마땅케 하소서. 마을에 들어가게끔 걸식(乞食)했을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 깊은 법계(法界)에 들어가되 마음에 걸림됨 없으소서. 남의 문전에 이르렀을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 온갖 불법(佛法 : 佛의 가르침)의 문에 들어가소서. 그 집에 들어감 이미 끝냈다!는 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 능하게끔 부처님의 법도(佛乘/佛의 法道)에 들어가서 삼세(三世)가 평등하소서.

[31] <07:06~09>

原文/讀 捨ㄱ/ᄇᆞ릳 不ㅅᄉᆞㄷ/안ᄃᆞᆯᄒᆞ렷 人ㄴ/사ᄅᆞᆷᄋᆞᆯ 見ø/보안다힌

當願衆生ㅣ/당원즁싱이 常ㅇ/샹녜 勝ㅇ/이긔ᄂᆞᆫ 功德ㄷ/공덕ㅅ 法ㄴ/법을 捨離ᄒᆞ/샤릳 不ᄂᆞᆺᄒᆞᆫ다/안돌ᄒᆞᄂᆞ셔 能ᄒᆞᆫ/시러디 捨ᄂᆞᆺᄉᆞᆫ/샤ᄒᆞ렷 人ㄴ/사ᄅᆞᆷ올 見/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 永ㄷ/길거 得ᄒᆞᆷ/시러금 三惡道ㄷ/삼악도ㅅ 苦ㄴ/고ᄅᆞᆯ 捨離ᄂᆞᆺᄒᆞᆫ다/샤리ᄒᆞᄂᆞ셔 若/ᄒᆞ다가ㅅ 空鉢ㄴ/공발올 見/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 其/그 心/ᄆᆞᅀᆞᆷ 淸淨ᄂᆞᆷᄒᆞㅁ/쳥졍ᄒᆞ아기 空ᄒᆞᆷ/뷔어금 煩惱ㆍ/번노 無ᄒᆞᆫ다/없ᄂᆞ셔 若/ᄒᆞ다가ㅅ 滿鉢ㄴ/만발올 見/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 具ᄀᆞ/ᄀᆞᄌᆞ며 足ᄒᆞᆷ/죡ᄒᆞ 一切/일체 善法ㄴ/션법을 成滿ᄂᆞᆺᄒᆞᆫ다/셩만ᄒᆞᄂᆞ셔

直譯/讀 버리지 못한다 하는 사람을 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 항상 수승(殊勝)한 공덕의 법을 떠나 버림(捨離) 말으소서. 능히 버린다 하는 사람을 보았을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 영원히 얻게끔 세 가지의 나쁜 법도의 고통을 떠나 버리(捨離)소서. 만일 빈 바리때를 볼 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 그 마음이 청정(淸淨)하여서 텅 비게끔 번뇌를 없이 하소서. 만일 가득한 바리때를 보았을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 갖추며 넉넉하여 일체 선법(善法)을 가득 채우소서.

[32] <07:10~13>

原文/讀 若ㅇ/ᄒᆞ다가ㅅ 恭敬ᄂᆞᆺ尸入ㄴ/공경호ㅿ돌 得ᄒᆞᄀᆞㅣ十ᄀᆞ/얻안다힌 當願衆生/당원즁싱 恭敬ᄂᆞᆷᄒᆞᆷ/공경ᄒᆞ아금 一切/일체 佛法ㄴ/불법을 修行ᄂᆞᆺᄒᆞᆫ다/슈힝ᄒᆞᄂᆞ셔 恭敬ᄂᆞᆺ尸入ㄴ/공경호ㅿ돌 得尸/어듬 不ᄂᆞᆺᄀᆞㅣ十ᄀᆞ/아니ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 一切/일체 不善ㄷ/블션ㅅ[之]法ㄴ/법을 行尸/녕 不ᄂᆞᆺᄒᆞᆫ다/안돌ᄒᆞᄂᆞ셔 慙恥ᄂᆞᆺᄉᆞᆫ/참티ᄒᆞ렷 人ㄴ/사ᄅᆞᆷ올 見ㅇ/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 慙恥ㄷ/참티ㅅ 行ㄴ/힝올 具ᄀᆞᆷᄒᆞᆷ/ᄀᆞᄎᆞ아금 諸ᄀᆞ/모든 根ㄴ/근를 藏護ᄂᆞᆺᄒᆞᆫ다/장호ᄒᆞᄂᆞ셔 慙恥ᄂᆞ尸/참티홇 無ᄀᆞㄴ/없은을 見ㅇ/보안다힌 當願衆生/당원즁싱 慙恥ᄂᆞ尸入ㄴ/참티호ㅿ돌 捨離ᄂᆞㅁㅂ/샤리ᄒᆞ고기 大悲ㄷ/대ᄌᆞㅅ 道ᄒᆞᆷ十/도아히 住ᄂᆞᆺᄒᆞᆫ다/듀ᄒᆞᄂᆞ셔

直譯/讀 만일 곤경한 것임을 받았을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 공경하게끔 온갖 불법(佛法)을 닦아 행하소서. 공경한 것임을 얻지 못했을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 온갖 선하지 못한 법을 행함 아니하소서. 부끄러워한다 하는 사람을 보았을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 부끄러워하는 행(行)을 갖추게끔 모든 근(根 : 能力)을 간직하여 보호하소서. 부끄러워함 없는 이를 볼때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 수치한 것임을 떠나 버리(捨離)고서 큰 자비의 도(道)에 머무(住)소서.

[33] <0;14~17>

原文/讀 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 美食ㄴ/미식을 得ᄀᆞㄱㅣㅓㄱ/얻언다힌 當願衆生/당원즁싱 其/그 願ㄴ/원을 滿足ᄂᆞᄀᆞᄭ/만죡ᄒᆞ아금 心ᄀᆞㅓ/ᄆᆞᅀᆞᆷ아히 羨欲ᄂᆞᄑᆞ/션욕홇 無ㅂᆞᄑᆞ/없ᄂᆞ셔 不美食ㄴ/블미식을 得Ø/얻언다힌 當願衆生/당원즁싱 諸ㄱ/모든 三昧ㅊ/삼ᄆᆡㅅ 味ㄴ/맛올 獲得ᄂᆞᄑᆞ/획득ᄒᆞᆮ 不ᄂᆞᄑᆞㅜᄂᆞᄑᆞ/안ᄃᆞᆯᄒᆞᅀᆞ뎡 홇 莫ㅊㅂᆞᄑᆞ/없ᄂᆞ셔 柔輭食ㄴ/슈연식을 得Ø/얻언다힌 當願衆生/당원즁싱 大悲ᄇᆞ/대비로 熏ᄂᆞᄀᆞ/훈혼 所ㅣㅁ/바이라 心意柔輭ᄂᆞㅂᆞᄑᆞ/심의슈연ᄒᆞᄂᆞ셔 麤澀食ㄴ/추습식을 得Ø/얻언다힌 當願衆生/당원즁싱 心ᄉᆞ/ᄆᆞᅀᆞᆷ 染著ᄂᆞᄑᆞ/염탹홇 無ᄀᆞㅅ/없ᄉᆞ기 世ㅊ/누리ㅅ 貪愛ㄴ/탐이롤 絶ᄂᆞㅂᆞᄑᆞ/졀ᄒᆞᄂᆞ셔

直譯/讀 만일 맛있는 음식을 접했을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 그 소원을 만족하게끔 마음에 부러워함 없으소서. 맛 없는 음식을 접했을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 여러 삼매(三昧)의 맛을 얻지 못하였구나! (그러) 함 없이 하소서. 부드러운 음식을 접했을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 대비(大悲)로 훈습(薰習)한 바이라 마음 유연하소서. 껄끄럽고 나쁜 음식을 접했을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 마음에 물듦 없이 해서 세상의 탐애(貪愛)를 끊으소서.

[34] <07:18~20>

原文/讀 若ᄒᆞ다가ㅅ 飯食ᄋᆞᄉᆞᆫᄃᆡ/반식ᄒᆞ렷 時ㅓㄱ/다힌 當願衆生/당원즁싱 禪悅ᄂᆡ/션열을 食/밥 爲ᄒᆞᅀᅡ/삼!사며 法喜ᄂᆡ/법희를 充滿ᄋᆞᄇᆞ효/충만ᄒᆞᄂᆞ셔 若ᄋᆞ/ᄒᆞ다가ㅅ 味ᄂᆡ/맛올 受ᄒᆞᆫᄃᆡ/받건 時ᄋᆞ/다흰 當願衆生/당원즁싱 佛ᄉᆞ/부텨디 上味ᄂᆡ/샹미를 得ᄒᆞᅀᅡ/얻어기 甘露/감로 滿足ᄋᆞᄇᆞ효/만족ᄒᆞᄂᆞ셔 飯食ᄂᆡ/반식을 已ᄒᆞ/이믜사 訖ᄒᆞᄆᆞᄒᆞᄉᆞᆨ/ᄆᆞᄎᆞᆷ고기ᄂᆞᆯ 當願衆生/당원즁싱 所作ᄂᆡ/소작올 皆ᄒᆞᆫ/다아ㅅ 辨ᄋᆞᄒᆞᅀᅡ/변ᄒᆞ아금 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 佛法ᄂᆡ/불법을 具ᄀᆞᄇᆞ효/ᄀᆞᄎᆞᄂᆞ셔

直譯/讀 만일 밥을 먹는다는 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 선정(禪/禪定)의 기쁨을 밥(으로) 삼으며 불법(法/佛法)의 기쁨을 충만하소서. 만일 음식의 맛을 받았을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 부처님의 상품 맛(上味)을 얻어서 감로(甘露)로 만족하소서. 밥먹기를 이미싸 마쳤을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 만든 바를 모두 구별하게끔 여럿 불법(佛法)을 갖추(具)소서.

[35] <07:21~24>

原文/讀 若ᄒᆞ다가ㅅ 說法ᄋᆞᄉᆞᆫᄃᆡ/셜법ᄒᆞ렷 時ᄉᆞㅓㄱ/다여흰 當願衆生/당원즁싱 無盡辯ᄂᆡ/무진변을 得ᄒᆞᅀᅡ/시러금 廣ᄇᆡ/너비 法要ᄂᆡ/법요를 宣ᄋᆞᄇᆞ효/션ᄒᆞᄂᆞ셔 舍ᄂᆡ/집을 從ᄒᆞᆫ/조ᄎᆞᄉᆞ 出ᄋᆞᄉᆞᆫᄃᆡ/출ᄒᆞ건 時ᄋᆞ/다여흰 當願衆生/당원즁싱 深ᄇᆡ/기피 佛智ᄒᆞᅀᅡ/불디아히 入ᄋᆞᄒᆞᅀᅡ/십ᄒᆞ아기 永ᄃᆞᆫ/길거 三界ᄂᆡ/삼계를 出ᄋᆞᄇᆞ효/출ᄒᆞᄂᆞ셔 若ᄒᆞ/ᄒᆞ다가ㅅ 水ᄒᆞᅀᅡ/믈아히 入ᄋᆞᄉᆞᆫᄃᆡ/십ᄒᆞ건 時ㅓㄱ/다흰 當願衆生/당원즁싱 一切智ᄒᆞᅀᅡ/일체디아히 入ᄋᆞᄒᆞᅀᅡ/십ᄒᆞ아금 三世ᄑᆞ/삼셰 等ᄒᆞᅀᅡᄂᆞᆫᄀᆞᄉᆞᆫᄂᆡ/ᄀᆞᆮ아혼 ᄃᆞᆯ 知ᄇᆞ효/아ᄂᆞ셔 身體ᄂᆡ/신톄를 洗浴ᄋᆞᄉᆞᆫᄃᆡㅣㅓㄱ/세욕ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 身心ᄒᆞᅀᅡ/신심아히 垢/더 無ᄒᆞᅀᅡ/없어기 內外/닉외 光潔ᄋᆞᄇᆞ효/광결ᄒᆞᄂᆞ셔

直譯/讀 만일 불법을 말한다는 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 끊어지지 않는 변재(辯才)를 얻게끔 널리 법의 요령을 펼치소서. 집

을 따라 나섰을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 깊이 부처님의 지혜에 들어가서 영원히 삼계(三界)를 뛰어 나가소서. 만일 물에 들어갔을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 온갖 지혜에 들어가게끔 삼세(三世)가 평등한 것인 줄을 알으소서. 신체를 목욕했을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 몸과 마음에 때가 없어서 안팎이 깨끗하소서.

[36] <08:01~04>

原文/讀 盛暑ㅣ ᄆᆞᆷ/셩셔이라 炎毒ㅣ ᄭᆞᆨㅜㅣ十ㄱ/염독이건다힌 當願衆生/당원즁싱 衆ㄱ/모든 惱ㄴ/어즈러봄을 捨離ㅅ ᄇᆞᆷ/샤리호ㅿ디 一切ㄴ/일체를 皆ᄋᆞ/다아 盡ᄒᆞㅣᄐᆞ ᄒᆞᆫ/다ᄋᆞᄂᆞ셔 暑/더뷔 退ㅅᄒᆞᄒᆞ/퇴ᄒᆞ아 凉初ㅣ ᄭᆞᆨㅜㅣ十ㄱ/량초이건다힌 當願衆生/당원즁싱 無上法ㄴ/무샹법을 證ㅅᄒᆞ ᄒᆞ/증ᄒᆞ아금 究竟/구경 淸凉ㅅㅣᄐᆞ ᄒᆞᆫ/쳥량ᄒᆞᄂᆞ셔 經ㄴ/경을 諷誦ㅅ ᄭᆞᆨㄱ/풍송ᄒᆞ건 時十ㄱ/다흰 當願衆生/당원즁싱 佛ᄉᆞ/부텨디 說ㅱㅇㄱ/니ᄅᆞ샤온 所ᄒᆞ十/바아히 順ㅊㅅᄒᆞㅅ ㅂ/슌ㅅᄒᆞ아기 摠持ㅅᄒᆞᄒᆞ ᄒᆞ/총디ᄒᆞ아금 忘ᄆᆞ/니즌 不ㅅㅣᄐᆞ ᄒᆞᆫ/아니ᄒᆞᄂᆞ셔 若ㅊ/ᄒᆞ다가ㅅ 得ᄒᆞ ᄒᆞ/시러금 佛ㄴ/부텨를 見白ᄒᆞㄱㅜㅣ十ㄱ/보숩안다힌 當願衆生/당원즁싱 無礙眼ㄴ/무애안ᄋᆞᆯ 得ᄒᆞ ᄒᆞ/시러금 一切/일체 佛ㄴ/부텨를 見白ㅣᄐᆞ ᄒᆞᆫ/보숩ᄂᆞ셔

直譯/讀 한창 여름이라 지독히 더웠을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 여럿 번뇌를 떠나 버리되 온갖 것을 모두 없이 하소서. 더위가 물러가 서늘함이 시작됐을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 위없는 법을 증오(證悟)하게끔 끝까지 서늘하소서. 경(經)을 읽어 암송했을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 부처님의 말씀하시온 바에 따라서 모두 기억하게끔 잊지 말으소서. 만일 능하게끔 부처님을 뵈옵게 될 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 장애 없는 눈을 얻게끔 일체 부처님을 뵈이소서.

[37] <08:05~08>

原文/讀 諦ㅣ/ᄌᆞ세이 佛ㄴ/부텨를 觀ㅅ白ᄭᆞᆨㄱ/관ᄒᆞ숩건 時十ㄱ/다

힌 當願衆生/당원즁싱 皆七/다아ㅅ 普賢ㆍ/보현 如ᄉᆞᄉᆞᆷᄀᆞᆮᄒᆞ디 ᄒᆞ아 端正/단졍 嚴好ᄂᆞᄒᆞᄆᆞᆫ/엄호ᄒᆞᄂᆞ셔 佛塔ᄂᆞᆫ/불답ᄋᆞᆯ 見白ᄉᆞᆨ/보ᄉᆞᆸ건 時/다힌 當願衆生/당원즁싱 尊重ᄂᆞᄀᆞ 矣/존듕ᄒᆞᆫ디 塔/답 如ᄉᆞᄉᆞᆷᄀᆞᆮᄒᆞ人/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 ᄒᆞ아기 天人ᄉᆞ/텬신의 供ᄂᆞᆫ/공ᄋᆞᆯ 受ᄒᆞᆫ/받ᄂᆞ셔 敬ᄂᆞᄉᆞᆫ七/고마호렷 心ᄆᆞᆷ/ᄆᆞᄉᆞᆷᄋᆞ로 塔ᄂᆞᆫ/답ᄋᆞᆯ 觀ᄂᆞ白ᄉᆞᆨᄀᆞᅵᆞᆨᄀᆞ/관ᄒᆞᄉᆞᆸ건다힌 當願衆生/당원즁싱 諸ᄀᆞ/모든 天ᄉᆞ/하ᄂᆞᆯ여 及七/밋 人ᄉᆞᄂᆞᄉᆞᆫ/사ᄅᆞᆷ여 호려의 共七/ᄒᆞᆫ가지로ㅅ 瞻仰ᄂᆞᄑᆞ/쳠앙호ㅿ 所ᄒᆞᆫ/바이ᄂᆞ셔 [於]塔ᄂᆞᆫ/답ᄋᆞᆯ 頂禮ᄂᆞ白ᄉᆞᆨᄀᆞᅵᆞᆨᄀᆞ/뎡례ᄒᆞᄉᆞᆸ건다힌 當願衆生/당원즁싱 一切/일체 天人ㅣ/텬신이 能矣/시러디 頂ᄂᆞᆫ/뎡박이를 見ᄉᆞᆫ/보아려 無ᄒᆞᆫ/없ᄂᆞ셔

直譯/讀 자세히 부처님을 뵈었을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 모두 보현 보살과 같아서 단정하고 엄숙하소서. 부처님 탑을 뵈왔을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 존중하기가 탑과 같아서 하늘과 사람들의 공양을 받으소서. 공경한다는 마음으로 탑을 뵈었을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 여럿 하늘이나 또는 사람이라 한다는 이들과 함께 첨앙(瞻仰)하는 바 되소서. 탑을 정례(頂禮)하시올 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 온갖 사람들이 능히 정수리를 본다는 것 없으소서.

[38] <08:09~12>

原文/讀 [於]塔ᄂᆞᆫ/답ᄋᆞᆯ 右繞ᄂᆞᄉᆞᆨᄀᆞᅵᆞᆨᄀᆞ/우요ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 行ᄂᆞᄀᆞ/힝혼 所ᄉᆞᄋᆞᅵ/바마다 逆ᄑᆞ/거스릳 無ᄉᆞᄉᆞᆸ/없어기 一切/일체 智ᄂᆞᆫ/디를 成ㅣᄒᆞᆫ/일우리ᄂᆞ셔 塔ᄂᆞᆫ/답ᄋᆞᆯ 繞ᄂᆞᄑᆞᆷ/에우호ㅿ디 三帀ᄂᆞᄂᆞᄉᆞᆨᄀᆞᅵᆞᆨᄀᆞ/삼잡ᄋᆞᆯ ᄒᆞ건다힌 當願衆生/당원즁싱 勤七/부즈러ㅅ 佛道ᄂᆞᆫ/불도ᄅᆞᆯ 求ᄂᆞᄑᆞᆷ/구호ㅿ디 心ᄉᆞᆫ/ᄆᆞᄉᆞᆷ아히 懈歇ᄑᆞ/히헐ㅿ 無ᄒᆞᆫ/없ᄂᆞ셔 佛/부텨 功德ᄂᆞᆫ/공덕을 讚ᄂᆞ白ᄉᆞᆨᄀᆞᅵᆞᆨᄀᆞ/찬ᄒᆞᄉᆞᆸ건다힌 當願衆生/당원즁싱 衆ᄀᆞ/모든 德ᄂᆞᆫ/덕을 悉ᄉᆞᆫ/다아 具ᄀᆞᄉᆞᆷ/가초아금 俛歎ᄂᆞᄀᆞ/칭탄ᄒᆞ도 盡ᄑᆞ/다욛 無ᄒᆞᆫ/없ᄂᆞ셔 佛矣/부텨디 相好ᄂᆞᆫ/샹호ᄅᆞᆯ 讚ᄂᆞ白ᄉᆞᆨᄀᆞᅵᆞᆨᄀᆞ/찬ᄒᆞᄉᆞᆸ건다힌 當願衆生/당원즁싱 佛身ᄂᆞᆫ/불신을 成就ᄂᆞ

ᄀᆞᄒᆞ/셩취ᄒᆞ아금 無相ᄒᆞᆫ/무샹ㅅ 法ᄂᆞᆫ/법을 證ᄂᆞᆫᄃᆞᆫ/중ᄒᆞᄂᆞ셔

直譯/讀 탑을 오른 쪽으로 돌았을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 행(行)한 바(所)라 한다는 거슬(逆)림 없어서 온갖 지혜를 이루소서. 탑을 돌아가되 세 번을 했을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 부지런히 부처님의 도(道)를 구하되 마음에 게으름이 없으소서. 부처님 공덕을 찬탄했을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 모든 덕(德)을 골고루 갖추게끔 찬탄해도 다함 없으소서. 부처님의 서로를 칭탄하였을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 부처님 몸을 성취하게끔 형상(形/形狀) 없는 법을 증득(證得/完成)하소서.

[39] <08:13~15>

原文/讀 若ᄒᆞᆫ/ᄒᆞ다가ㅅ 洗足ᄂᆞᆫᄃᆞᆫ/세족ᄒᆞᆫ건 時ᄒᆞᆫ/다힌 當願衆生/당원즁싱 神足ᄒᆞᆫ/신족ㅅ 力ᄂᆞᆫ/힘을 具ᄀᆞᄀᆞᄒᆞ/ᄀᆞᄎᆞ아금 所行/소힝 礙ᄆᆞ/ᄀᆞ리옴 無ᄇᆞᆫᄃᆞᆫ/없ᄂᆞ셔 時ᄂᆞᆫ/다ᄅᆞᆯ 以ᄀᆞᄒᆞ/써 寢息ᄂᆞᆫᄃᆞᆫᄀᆞᆫᄀᆞᆫᄒᆞᆫ/침식ᄒᆞᆫ건다힌 當願衆生/당원즁싱 身ᄀᆞᄒᆞ/몸아히 安隱ᄂᆞᆫᄀᆞᆫᄉᆞᆫᄂᆞᆫ/안은ᄒᆞᆫ ᄃᆞᆯ 得ᄒᆞᆷ/얻져 心ᄀᆞᄒᆞ/ᄆᆞᅀᆞᆷ아히 動亂ᄆᆞ/뮈우 어즈럳 無ᄒᆞᆷᄂᆞᆫᄇᆞᆫᄃᆞᆫ/없져 ᄒᆞᄂᆞ셔 睡眠ᄂᆞᆫ/슈면을 始ᄒᆞᆫᄀᆞᆫ/비릇오 寤ᄉᆞᆫᄀᆞᆫᄀᆞᆫᄒᆞᆫ/잠기건다힌 當願衆生/당원즁싱 一切/일체 智ᄭᆞ/디로 覺ᄂᆞᆫᄆᆞᆷ/기ᄃᆞᆺ호ᅀᆞ디 周ᄒᆞᆫ/두루ㅅ 十方ᄂᆞᆫ/시방ᄋᆞᆯ 顧ᄂᆞᆫᄃᆞᆫᄒᆞᆫᄂᆞᄒᆞᄂᆞᆫᄀᆞᆫ/고ᄒᆞᄂᆞ셔 호리겨다

直譯/讀 만일 발을 씻었을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 신족(神足)의 힘을 갖추게끔 다니는 데 걸림이 없으소서. 때를 맞추어서 누어 잤을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 몸에 안온한 것을 얻는다네 마음에 흔들림 없다네 (또 그리) 하소서. 수면을 비로소 깼을 때에는 마땅히 원하기를 모든 중생이 온갖 지혜로서 깨닫되 두루 사방을 돌보소서 (또 그리) 하였을 것이다.

[40] <08:16~18>

原文/讀 佛子ᄀᆞᆫ/불ᄌᆞ아 若ᄒᆞᆫ/ᄒᆞ다가ㅅ 諸ᄀᆞ/모든 菩薩ᄇᆞᆯ/보살이 是

ㅐ/이 如ᄎ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 用心ᄉᆞᄆᆞᄆᆞ入ㄱ/용심ᄒᆞᄂᆞᅀᆞᄃᆞᆫ 則ᄎ/고디 一切/일쳬 勝妙/승묘 功德ㄴ/공덕을 獲ᄀᆞᄭᅩ/얻어금 一切/일쳬 世間ᄀᆞᄀᆡ/셰간의ㅅ 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 天ᄂᆞ/하ᄂᆞᆯ여 魔ᄂᆞ/귓것여 梵ᄂᆞ/범여 沙門ᄂᆞ/사문여 婆羅門ᄂᆞ/바라문여 乾闥婆ᄂᆞ/건달바여 阿修羅ᄂᆞᄉᆞᄆᆞ/아슈라여 ᄒᆞᆮ 等ㅣᄉᆞㄱㅐㅐᄂᆞ/ᄀᆞᆮ오다ᄒᆞᆫ 이여 及ㄱᆡ/밋 以ᄀᆞ/뼈 一切/일쳬 聲門ᄂᆞ/셩문여 緣覺ᄂᆞᄉᆞᄉᆞᄒᆞ/연각여 호려의 動ᄆᆞ/뮈욷 不能ㅐᄉᆞᄂᆞᄆᆞ/블능이디 호ᅀᆞ 所ㅐᄉᆞᄂᆞᄒᆞᄀᆡ/바이거겸ㅅ다

直譯/讀 불자여 만일 모든 보살이 이 같이 마음을 쓰는 것이면 곧 온갖 수승(殊勝)하고 묘한 공덕을 얻게끔 일체 세간(世間)에의 모든 하늘(天)이나 마군(魔/魔君)이나 범천(梵天)이나 사문(沙門)이나 바라문(婆羅門)이나 건달바(乾闥婆)이나 아수라(阿修羅)이나 (그러)한 것(들과) 나란히 한 것이나 그리고 써 일체 성문(聲門)이나 연각(緣覺)이나 한다는 것들의 흔들림은 ≪반드시≫ 못할 것인 바이었다 ≪!≫

大方廣佛華嚴經賢首品第十二之一

[41] <08:20~24>

原文/讀 爾/ᄉᆡ 時ㅓ/다희 文殊師利菩薩ㄱ/문슈ᄉᆞ리보살온 無濁亂淸淨行ㄷ/무탁란쳥졍힝ㅅ 大功德ㄴ/대공덕을 說ᄆᆞ/니ᄅᆞ샬 已ᄒᆞᄉᆞㅇㅗ/이믜사 ᄒᆞ고 菩提心ㄷ/보리심ㅅ 功德ㄴ/공덕을 顯示ᄉᆞᄆᆞ/현시ᄒᆞ 欲ㅅᄉᆞᄆᆞㅁᄆᆞㅅ/고쟈 ᄒᆞ시ᅀᆞᄃᆞ로 故ᄎ/그런디 偈ㄴ/게를 以ᄀᆞ/뼈 賢首菩薩ᄆᆞㅓ/현슈보살ᅀᆞ희 問ᄀᆞ/무러 曰ㅁᄆᆞ/ᄀᆞᆯ오ᄉᆡ 我ㄱ/나ᄂᆞᆫ 今ᄉᆞㄱ/엳ᄒᆞᆫ 已(ᄒᆞ)/이믜사 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 菩薩ᄆᆞ/보살ᅀᆞ 爲ᄒᆞ/위ᄒᆞ사 佛ᄉᆞ/부텨디 往ᄀᆞㅓ/가아히 修ㅎᆞᄀᆞㅂㄷ/닷ᄀᆞ샤온ᄂᆞᆺ 淸淨行ㄴ/쳥졍힝ᄋᆞᆯ 說ᄀᆞㅁㄴᄀᆞㄱㅐㅁ/니ᄅᆞ골 온이라 仁ㅐ/신이 亦ᄉᆞㄱ/ᄯᅩᄒᆞᆫ 當ㅅ/반ᄃᆞ기 此ㅐ/이 會ㄷ/모ᄃᆞㅅ 中ᄀᆞㄷᄉᆞㅅ/듕앳 ᄒᆞ아기[於] 修行ᄉᆞㅎᆞᄀᆞㅂㄷ/슈힝ᄒᆞ샤온ᄂᆞᆺ 勝功德ㄴ/숭공덕을 演暢ᄉᆞㅁㅁㅅ/연탕ᄒᆞ고기샤셔

直譯/讀 이 때에 문수사리 보살은 흐리지(濁亂) 않고 청정(淸淨)한

행(行)의 큰 공덕을 설명함이 그치고 보리심의 공덕을 보이(顯示)고자 하심과 (또 그런) 까닭 때문에 게송을 써서 현수 보살께 물어 말씀하시기를 나는 지금껏 이미싸 모든 보살 위하여싸 부처님의 나아감에 수행(修/修行)하시온 것의 청정(淸淨)의 행(行)을 말씀하삽온지라 그대(仁)가 또한 마땅히 이 모임 중에서 (그리) 하여 (또) 수행하셔 왔는 것의 좋은 공덕을 선양(演暢/宣揚)하고서 (또 그리) 하시옵소서.

[42] <09:01~05>

原文/讀 爾Ø ㅅㄱ/싯ᄒᆞᆫ 時十/다희 賢首菩薩ㄱ/현슈보살온 偈ㄴ/게를 以ㅋ/뼈 答ㅅㅋ/답ᄒᆞ아 曰ㅎㅁ/닐우샬 善ㅎㅁㄹㄱ/이드샤곤 哉ㅔ/지뎌 仁者ㅅ/신쟈여 諦ㅂ/ᄌᆞ세히 聽ㅎㅁㅜㅁ/드르샤옴 應ㅊㅅㄴㅣ/당닷ᄒᆞ겨다 彼/뎌 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 功德ㄱ/공덕은 量ㅋㅜㅁ/혜아룜 可ㅊㅅㄱ/짓ᄒᆞᆫ 不ᄉᆞㄱ ㄴ/아니딘을 我ㄱ/나ᄂᆞᆫ 今ㅅㄱ/엳ᄒᆞᆫ 力ㄴ/힘을 隨ㅁ/조초 少分ㅇㅅㄴ/쇼분마려ᄂᆞᆯ 說ㅁㅁㅁ/니ᄅᆞ오ㅿ디 猶入ㄱ/가줄비ᄃᆞᆫ 大海ㅋㅊ/대히앳 一ㄱ/ᄒᆞᆫ 滴ㅜㅊ/뎜ㅅ 水ㅅ/믈 如ㅈㅅㄱㄴㅅㅁㄴㅜㅜㅊㅣ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 ᄒᆞᆫ올 ᄒᆞ고ᄂᆞᆯ 옴ㅅ다 若ㅊ/ᄒᆞ다가ㅅ 有ナㅣ/잇겨다 菩薩ㅂ/보살이 初ㅊㅜ/첫음 發心ㅅㅋ/발심ᄒᆞ아 誓ㅂㅅ/밍셰이며 求ㅅㅋㅂ/구ᄒᆞ아금 當ㅅ/반ᄃᆞ기 佛/부텨 菩提ㄴ/보리를 證ㅅㅊㅔㅅナㅊㅅ/중ᄒᆞㅅ더 ᄒᆞ겨리여 彼ㅋ/뎌의[之] 功德ㄱ/공덕은 邊際ㅅ/변졔 無ロナㄱ/없고견 稱量ㅅㅋㅜㅜ/칭량ᄒᆞ아옴 可ㅊㅅㄱ/짓ᄒᆞᆫ 不ᄉᆞㅅ/아니디며 與ㅊㅅㅋㅂ/다ᄆᆞᆺ ᄒᆞ아금 等ㅋㅅㅋㅅ/ᄀᆞᆮ오 아ᄒᆞ아려 無ㅊナㅣ/없겨다

直譯/讀 이러한 때에 현수 보살은 게송(偈/偈頌)을 써서 대답하여 말씀하시기를 착(善)하신지어! 그대(仁者)여 자세히 들음에 응(應)하렸다 저 모든 공덕은 헤아림 가능한 것 않음을 나는 이제 힘(力)에 따라 조금을 설명하겠는데 그래도 큰 바다에 한 방울의 물과 같다 함을 ≪반드시≫ 말할 수 있다 ≪!≫ 마침 있었다 (그) 보살이 처음 발심(發心)하여 맹세함이며 구(求)하게끔 마땅히 부처님이 보리를 증(證)하렸다네 (그리) 하려 했음이라 그(彼) 공덕은 끝이 없었고 칭량(稱量)함 가능한

것 아니며 더불어 하여금 나란히(等) 한다는 것 없었다.

[43] <09:06~9>

原文/讀 何ㄴᄉ/어릿여 況ᄀ/ᄒᆞ물며 量Ø/그저 無ᄀ/없으며 邊ᄇ/ᄀᆞᆺ[11] 無Ø/없은 劫ᄀᆞ十/겁아히 具ᄀᆞ/ᄀᆞᄎ초 地度ㄴ/디도롤 修ㅅᄇᆞㄴ/닷노ᄂᆞᆺ 諸ㄱ/모든 功德ㅣㅁㅂᄀᆞㅓ/공덕이고 논며 十方ㄴ/시방ㅅ 一切/일체 諸ㄱ/모든 如來ㅣ/셔러이 悉ᄀᆞ/다아 共ㄴ/ᄒᆞᆫ가지로ㅅ 俛揚ᄉᆞㄴㄱᄀᆞ/칭양ᄒᆞ시나 能Ø/시러디 盡ᄀᆞᄇ/다ᄋᆞᆫ 不ㅣㅅᄉᆞㄴㅁㅇㄴㅎㄴㅣ/아니디 ᄒᆞ시골음ㅅ다 是ㅣ/이 如ᄎᆞ/ᄀᆞᄐᆞ디 邊ᄇ/ᄀᆞᆺ 無ㄱ/없은 大功德ㄴ/대공덕을 我ㄱ/나는 今ᄉᆞㄱ/엳ᄒᆞᆫ 中ᄀᆞ十ᄉᆞᄀᆞ八/듕아히[於] ᄒᆞ야기 少分ㅏᄉᆞㄴ/쇼분마려 놀 說ㅎᄇᆞㅁ/닐오ㅿ디 譬ㅅㄱ/가줄비든 鳥足ㅱ/됴쪽ᄋᆞ로 履ㅎㄱ/볼본 所ㄴ/바ㅅ 空ㆍ/공 如ᄎᆞᄉᆞㄱㄴᄉᆞㄱ/ᄀᆞᄐᆞ디 ᄒᆞᆫ올 ᄒᆞ며 亦ᄉᆞㄱ/또ᄒᆞᆫ 大地ᄀᆞㄴ/대디앗 一ㄱ/ᄒᆞᆫ 微塵/미딘 如ᄎᆞᄉᆞㄱㄴᄉᆞㄴㅁㅇㅎㄴㅣ/ᄀᆞᄐᆞ디 ᄒᆞᆫ올 ᄒᆞ골옴ㅅ다

直譯/讀 어찌여 하물며 한량 없으며 그지 없는 억겁(劫/億劫)에 맞추어 지도(地度)를 수행(修)하는 모든 공덕이었지여! 시방(十方)의 일체 모든 여래가 모두 함께 칭찬하시나 능히 다(盡)함 아니다 하실 것이 ≪반드시≫ 그러하다 ≪!≫ 이 같이 끝 없는 큰 공덕을 나는 이제껏 그 중에서 해서 조금을 설명하옵는데 비유하면 새 발(鳥足)로 밟는 허공과 같다 할 것이며 또한 대지(大地)에서 한 티끌과 같다 할 것이 ≪반드시≫ 그런 것이다 ≪!≫

[44] <09:10~13>

原文/讀 菩薩ㅣ/보살이 發意ᄉᆞᄀᆞ/발의ᄒᆞ아 菩提ㄴ/보리를 求ᄉᆞᄆᆞㄱ ㅅㄱ/구ᄒᆞ논 ᄃᆞᆫ 是ㅣ/이 因/인 無ㅣㅅᄉᆞㄱ/없이 ᄒᆞ며 有緣/유연 無ㅣㅅᄉᆞㅂ/

11) 위 '邊ᄇ'은 'ᄀᆞᆺ'이어야 正讀이 된다. 다시 말하여 토 'ᄇ'은 入聲字 'ㅿ'임이 立證된 것이다. 이는 필자가 이 자료에서 새로이 추정한 토 'ᄇ'가 'ᄇ → ᄇ/ㅿ · ㅿ'에서 借用했음을 뒷받침하는 것이다.

없이 ᄒᆞᄂᆞ 非ㅣ矣/아니디 佛法僧ᄋᆞ十/불법 숭아히[於] 淨信ㄴ/졍신을 生ㅣᄋᆞ/내아 是ㄴ/이를 以ᄭᅵᄋᆞ/뼈 而ᄆᆞ/ㅣ로 廣大∅/광대ㅅ 心ㄴ/ᄆᆞᅀᆞᆷ올 生ㅣᄂᆞᆨᄀᆞㅣㅣ/내견이다 五欲ᄉᆞ/오욕여 及ㄴ/밋 王位ᄉᆞ/왕위여 富饒ᄉᆞ/부요여 自樂ᄉᆞ/ᄌᆞ락여 大名稱ᄉᆞᄂᆞᄉᆞㄴ/대명칭여 호려ᄂᆞᆯ 求ᄂᆞᄋᆞᄂᆞㅌᆞᄀᆞ/구ᄒᆞ아 ᄒᆞᆫᄃᆞ 不矣ㅣ/아니디이 但ㅅ/오지기 永ᄀᆞᆮ/길거 衆生ㅋ/즁싱ᄋᆡ 苦ㄴ/고ᄅᆞᆯ 滅ᄋᆞᄀᆞ/멸ᄒᆞ아며 世間ㄴ/세간올 利益ᄂᆞᄀᆞᄂᆞ、/리익ᄒᆞ며 ᄒᆞ 爲人/(ᄒᆞ)과 而ᄆᆞ/ㅣ로 發心ᄂᆞᄂᆞᄀᆞㅣㅣᄀᆞ/발심ᄒᆞ견이며

直譯/讀 보살이 발심(發意/發心)하여 보리를 구(求)하는 것이면 이(是) 인(因)을 없이 하며 유연(有緣)이 없는 것 아님이 불보(佛)·법보(法)·승보(僧)에 깨끗한 믿음이 생겨서 이를 갖고서 이(而)로므로 넓고 큰 마음을 낳게 하였다. 오욕(五慾)이나 및 왕위(王位)이나 부귀(富饒/富豊 : 富貴)이나 스스로 즐김이나 큰 명예의 평판이나 한다는 것들을 구(求)하여 (그러) 한 것들은 아닌 것이 오직 영구히 중생들의 고통을 없이 하며 세상을 이익하며 (그리) 하(爲)고자 이(而)로므로 발심(發心)하였던 것이며

[45] <09:14~17>

原文/讀 常ㅣ/상녜 諸ㄱ/모든 衆生ㄴ/즁싱올 利樂ᄂᆞᄀᆞ/리락ᄒᆞ며 國土ㄴ/국토ᄅᆞᆯ 莊嚴ᄂᆞᄀᆞ/장엄ᄒᆞ며 佛ㄴ/부터를 供養ᄂᆞ白ᄀᆞ/공양ᄒᆞᄉᆞᆸ며 正法ㄴ/정법을 受持ᄂᆞᄋᆞᄭᅩ/슈디ᄒᆞ아금 諸ㄱ/모든 智ㄴ/디를 修ᄀᆞ/닷ᄀᆞ며 菩提ㄴ/보리를 證ᄂᆞᄀᆞᄂᆞ、/증ᄒᆞ며 ᄒᆞ[欲]ㅅᄂᆞᄆᆞㅅᄆᆞ/고쟈 ᄒᆞᅀᆞᄃᆞ로 故ᄎᆞ/그런디 而ᄆᆞ/ㅣ로 發心ᄂᆞᄂᆞᄀᆞㅣㅣᄀᆞ/발심ᄒᆞ견이며 深心ㄴ/심심ㅅ 信解ㅣ/신히이 常ㅣ/상녜 淸淨ᄂᆞᄀᆞ/쳥졍ᄒᆞ며 一切佛ㄹ/일체불을 恭敬尊重ᄂᆞᄒᆞ矣ᄀᆞ/공경존듕ᄒᆞ샤디며 [於]法ᄉᆞ/법여 及ㄴ/밋 僧ᄉᆞᄂᆞᄉᆞㅋᆞ十/승여 호려 의희 亦ㄲ/또 是ㅣ/이 如ᄎᆞᄂᆞᄀᆞᄂᆞᄀᆞᄃᆞᄒᆞ디 ᄒᆞ며 ᄒᆞ아 至誠ㄴᆞᄆᆞ/지셩으로 供養ᄂᆞㄴᆡ/공양ᄒᆞㅅ더 而ᄆᆞ/ㅣ로 發心ᄂᆞᄂᆞᄀᆞㅣㅣᄀᆞ/발심ᄒᆞ견이며

直譯/讀 항상 모든 중생들을 즐겁게 하며 국토를 장엄하며 부처님을 공양하옵시며 바른 법을 받아 갖게끔 모든 지혜를 닦으며 보리를

증(證)하며 (그리) 하고자 함과 (그런) 까닭 때문에 그리하여 발심하였던 것이며 깊은 마음의 믿음과 깨달음이 항상 청정(淸淨)하며 일체 부처님을 공경함과 존중하옵시며 교법(敎法)이나 및 스님이나 (그러) 하다는 곳에 또한 이같이 하며 (그리) 하여 지성으로 공양하였어! 이(而)로므로 발심하였던 것이며

[46] <09:18~19>

原文/讀 [於]佛ᄉ/부더여 及ᄒᆞ/밋 佛法ᄉᆞᄂᆞᆺᄉᆞᆫᄒᆞ/불법여 호려ᄂᆞᆯ 深信ᄂᆞᆺᄀᆞᆷ/심신ᄒᆞ며 亦ᄂᆞᄀᆞ/또ᄒᆞᆫ 佛子ᄅᆞ/불ᄌᆞ의 所行ᄒᆞᆫ/소힝ㅅ 道ᄂᆞᆫ/도ᄅᆞᆯ 信ᄂᆞᆺᄀᆞᆷ/신ᄒᆞ며 及ᄒᆞ/밋 無上大菩提ᄂᆞᆫ/무샹대보리를 信ᄂᆞᆺᄀᆞᆷᄂᆞᄀᆞ ᄋᆞᄆᆞ/신ᄒᆞ며 ᄒᆞ견 ᄃᆞ로 菩薩ᄀᆞ/보살은 是ᄂᆞᆫ/이를 以ᄋᆞᄋᆞ/뼈 初ᄒᆞᄆᆞᄒᆞᆫ/비릇오 發心ᄂᆞᆺᄀᆞᄂᆞᆫᄂᆞᆫᄂᆞ/발심ᄒᆞ견이다

直譯/讀 부처님이나 및 부처님의 법이나 (그러) 하다는 것들을 깊이 믿으며 또한 불자들의 행(行)하는 바의 도리(道理)를 믿으며 및 위 없는 큰 보리를 믿으며 (그리) 하였던 까닭으로 보살은 이를 갖고서 처음으로 발심하였던 것이다.

[47] <09:20~23>

原文/讀 信ᄀᆞ/신은 道ᄋᆞᄒᆞᆫ/도의ㅅ 元ᄉᆞᆨᄒᆞᆫᄂᆞᆫᄀᆞᆷ/비릇디 디이며[12] 功德ᄒᆞᆫ/공덕ㅅ 母ᄂᆞᆫᄆᆞ/어미잇 爲ㅅᄂᆞᆫᄂᆞᄂᆞᄀᆞ/ᄃᆞ외ᄃᆞᆯ ᄒᆞ고견 一切/일체 諸ᄀᆞ/모ᄃᆞᆫ 善法ᄂᆞᆫ/션법을 長養ᄂᆞᄒᆞᆼ/댱양ᄒᆞ져 疑網ᄂᆞᆫ/의망ᄋᆞᆯ 斷除ᄂᆞᄋᆞᄒᆞᆼ/단뎌ᄒᆞ아금 愛流ᄂᆞᆫ/이류를 出ᄂᆞᄒᆞᆼᄂᆞᆺᄎᆞᄆᆞᆷ/출ᄒᆞ져 ᄒᆞ겨리라 涅槃ᄉᆞ/녈반여 無上道ᄉᆞᄂᆞᆺᄉᆞᆫᄒᆞ/무샹도여 호려ᄂᆞᆯ 開ᄂᆞᄒᆞᆼ/기ᄒᆞ져 示ᄂᆞᄒᆞᆼᄂᆞᆺᄎᆞᆷᄀᆞᆷ/시ᄒᆞ져 ᄒᆞ겨리며 信ᄀᆞ/신은 垢濁/구탁 無ᄋᆞᄒᆞᆼ/없어금 心ᄆᆞ/ᄆᆞᅀᆞᆷ 淸淨ᄉᆞᄂᆞᄂᆞᆺᄎᆞᆷᄀᆞᆷ/쳥졍ᄒᆞ이겨리며 憍慢ᄂᆞᆫ/교만ᄋᆞᆯ 滅除ᄂᆞᄅᆞ/멸뎌ᄒᆞ고 恭敬ᄂᆞᄉᆞᆫᄒᆞᆫ/공경호려ㅅ 本ᄂᆞᆫᄆᆞᄒᆞᆫㄴᆞᆺᄂᆞᄀᆞᄂᆞᆫᄀᆞᆷ/본이ㅿ돌 ᄒᆞ견이며 亦ᄂᆞᄀᆞ/또ᄒᆞᆫ 法藏

12) 위 '元ᄉᆞᆨ ᄒᆞᆫᄂᆞᆫᄀᆞᆷ'의 토 'ᄉᆞᆨ/디'(去聲 : tieg)와 'ᄒᆞᆫ/디'(平聲 : tieg)는 성조를 달리 해서 읽었을 것이다. 그래야만 뜻 풀이가 가능하기 때문이다.

ᄀᆞᆫᄀᆞᆺ/법장앗 第一財ㅢㄹᄃᆞ/뎨일지잇 爲ᄉᆞᆫᄇᆞᆫᄃᆞᆫ/ᄃᆞ외ᄃᆞᆯ ᄒᆞ며 淸淨Ø/쳥정이ᄉᆞ 手ㅢㄹᄃᆞ/손잇 爲ᄉᆞᆫᄇᆞᆫᄀᆞᆺᄒᆞᄆᆞ/ᄃᆞ외ᄃᆞᆯ ᄒᆞ아금 衆ㄱ/모든 行ᄂᆞ/힝ᄋᆞᆯ 受ㅢㄴᅡᄎᆞᆫ/받디겨리며

直譯/讀 믿음은 도(道)의 근본된 것이며 공덕의 어머니가 된 것 (그리) 하였을 일체(一切) 모든 좋은 불법을 오래 길러 내네 의심의 그물을 끊게끔 애정의 흐름을 방출(出)하네 (그리) 하였을 것이라 열반이나 위 없는 도(道)이나 (그리) 한다는 것들을 열(開)으네 보이(示)네 (그리) 하였을 것이며 믿음은 때(垢濁)가 없게끔 마음(心) 청정(淸淨)케 하였을 것이며 교만을 멸제(滅除)하고 공경한다는 근본인 것들을 (그리) 하였을 것이며 또한 법장(法藏)의 첫째 (가는) 재물임이 된들 (그리) 하며 청정한 손(手)임이 된들 (그리) 하게끔 모든 수행(行/修行)을 받았을 것이며

[48] <09:24~10:03>

原文/讀 信ㄱ/신은 能ᄒᆞᆫ/시러디 惠施ㅅㄹᄃᆞᆷ/혜시호ㅿ디 心ᄉᆞᆷ/ᄆᆞᅀᆞᆷ 吝ㅅㄹᄃᆞ/린홈 無ㅢᄉᆞㅢㄴᅡᄎᆞᆫᄀᆞᆺ/없이 ᄒᆞ이겨리며 信ㄱ/신은 能ᄒᆞᆫ/시러디 歡喜ᄀᆞᆫᄀᆞᆺᄒᆞᄆᆞ/환희ᄒᆞ아금 佛法ᄀᆞᆫ十/불법아히 入ㅢㄴᅡᄎᆞᆫᄀᆞᆺ/드니겨리며 信ㄱ/신은 能ᄒᆞᆫ/시러디 智ᄎᆡ/디혜ㅅ 功德ᄂᆞ/공덕을 增長ᄀᆞᆫᄂᆞᅡᄎᆞᆫᄀᆞᆺ/중댱ᄒᆞ겨리며 信ㄱ/신은 能ᄒᆞᆫ/시러디 必ᄇᆞᆯ/반ᄃᆞ기 如來ㄹᄃᆞ/셔릐ㅿ 地ᄀᆞᆫ十/짜아히 到ㅢㄴᅡᄎᆞᆫᄀᆞᆺ/니르리겨리며 信ㄱ/신은 諸ㄱ/모든 根淨ᄀᆞᆫᄀᆞᆺᄒᆞᄆᆞ/근졍ᄒᆞ아금 明利/명리 令ㅢㄴᅡᄎᆞᆫᄀᆞᆺ/ᄒᆞ이겨리며 信ㄱ/신은 力Ø/힘 堅固ᄀᆞᆫᄀᆞᆺᄒᆞᄆᆞ/견고ᄒᆞ아금 能ᄉᆞᆨ/시러디 壞ᄀᆞᆫᄉᆞᆫ/믄허려 無ᄂᆞㄱㅢᄀᆞᆺ/없견이며 信ㄱ/신은 能ᄒᆞᆫ/시러디 永ᄃᆞᆫ/길거 煩惱ᄂᆞ/번노ᄅᆞᆯ 滅ᄀᆞᆫᄉᆞᆫᄎᆡ/멸ᄒᆞ려ㅅ 本ㅢㄹᄃᆞ入ᄂᆞᅡᄂᆞㄱㅢᄀᆞᆺ/밑이ㅿ돌 ᄒᆞ견이며 信ㄱ/신은 能ᄒᆞᆫ/시러디 專ᄆᆞ/오ᄋᆞ로 佛功德ᄀᆞᆫ十/불공덕아히 向ᄉᆞㅢㄴᅡᄎᆞᆫᄀᆞᆺ/향ᄒᆞ이겨리며

直譯/讀 신심은 능히 보시를 베풀(惠施/布施)되 마음 인색함 없이 되게 하였을 것이며 신심은 능히 환희하게끔 불법에 들었을 것이며 신심은 능히 슬기로운 공덕을 증장(增長)하였을 것이며 신심은 능히 반드

시 여래의 (그) 지위(地/地位)에 이르(到)렀을 것이며 신심은 모든 근(根)을 맑게끔 밝게 이(利)롭게 하였을 것이며 신심은 힘(力) 견고하게끔 능히 무너뜨린다(壞)는 것 없었으며 신심은 능히 영구히 번뇌를 멸한다는 본디(本)가 된들 (그리) 하였을 것이며 신심은 능히 오로지(專) 부처님의 공덕에 향(向)하게 하였을 것이며

[49] <10:04~09>

原文/讀 信ㄱ/신은 境界ᄀᆞ十/경계아히[於] 所著ノ尸/소탹홇 無ㅐソナチ分/없이 ᄒᆞ겨리며 諸ㄱ/모든 難し/난올 遠離ソロハ/원리ᄒᆞ고기 無難し/무난올 得ㅐナチ分/얻이겨리며 信ㄱ/신은 能ᄎᆞ/시러디 衆ㄱ/모든 魔ㅋ/귓것의 路し/길을 超出ᄉᆞㅐナチ分/툐출ᄒᆞ이겨리며 無上/무샹 解脫七/히탈人 道し/도롤 示現ソナチ分/시현ᄒᆞ겨리며 信ㄱ/신은 功德七/공덕人 不壞/불괴 種ㅐ尸/종잉 爲入しソナㄱㅐ分/ᄃᆞ외둘 ᄒᆞ견이며 信ㄱ/신은 能ᄎᆞ/시러디 菩提樹し/보리슈를 生長ソナチ分/싱댱ᄒᆞ겨리며 信ㄱ/신은 能ᄎᆞ/시러디 最勝智し/최승디를 增益ソナチ分/증익ᄒᆞ겨리며 信ㄱ/신은 能ᄎᆞ/시러디 一切/일체 佛し/불을 示現ソナㅎセ丨/시현ᄒᆞ겸人다 是ㅐ/이 故ᄆᆞ/젼ᄎᆞ로 依行し/의힝올 次第し/ᄎᆞ뎨를 說ㅋᄉᆞㅋ十/니ᄅᆞ오려의희 信/신은 樂ㅐᄒᆞ/즐귬이사 最勝ソᄒᆞホ/최승ᄒᆞ아금 甚ㅐ/심히 難ㅐᄒᆞ/어려비사 得ㅋチㄱ矣/얻ᄌᆞ오린디 譬入ㄱ/가줄비돈 一切/일체 世間七/세간人 中ᄀᆞ十/듕아히 而ᄆᆞ/ᄉᆡ로 隨意/슈의 妙寶珠ㅐ/묘보쥬이 有ㄱ/잇ᄂᆞᆫ 如ᄎᆞソㄱㅐ丨/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 ᄒᆞᆫ이다

直譯/讀 신심(信/信心)은 경계에 집착함 없이 하였을 것이며 모든 재난을 멀리 떠나고서 난(難) 없음을 얻었을 것이며 신심은 능히 모든(衆) 마(魔)의 길을 뛰쳐나오(超出)게 했을 것이며 위 없는 해탈의 길을 보여 주(示現)었을 것이며 신심은 공덕의 썩지 않는 종자가 된들 (그리) 하였을 것이며 신심은 능히 보리수를 생장(生長)하였을 것이며 신심은 능히 가장 승(最勝)한 지혜를 증익(增益)하였을 것이며 신심은 능히 온갖 부처를 ≪반드시≫ 나타내(示現)었도다 ≪!≫ 이런 이유로 념

불 행(依行 : 念佛을 行)하는 차례를 말한다는 것에 신심은 즐김이어야 최승(最勝)하게끔 심히 얻기 어려움인 것이싸 비유하면 온갖 세간(世間) 가운데에 이러므로 뜻(意)을 따르는 묘한 보배 구슬 있음과 같이 한 것이다.

[50] <10:10~13>

原文/讀 若ㄴ/ᄒᆞ다가ㅅ 常ㅣ/샹녜 [於]諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 佛ㅣ/부텨를 信奉ㅅ白ㅂㅌ入ㄱ/신봉ᄒᆞᄉᆞᆸᄂᆞㅿ든 則ᄎᆞ/고디 能ᄎᆞ/시러디 戒ㅣ/계를 持ㅅᄒᆞ/디ᄒᆞ져 學處ㅣ/ᄒᆞᆨ쳐를 修ᄒᆞㅅㅂㅊㅎ/닷ᄀᆞ져 ᄒᆞᄂᆞ리며 若ㄴ/ᄒᆞ다가ㅅ 常ㅣ/샹녜 戒ㅣ/계를 持ᄒᆞ/디니져 學處ㅣ/ᄒᆞᆨ쳐를 修ᄒᆞㅅㅂㅌ入ㄱ/닷ᄀᆞ져 ᄒᆞᄂᆞㅿ든 則ᄎᆞ/고디 能ᄎᆞ/시러디 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 功德ㅣ/공덕을 具足ㅅㅂㅊㅎ/구족ᄒᆞᄂᆞ리며 戒ㄱ/계를 能ᄎᆞ/시러디 菩提ㅣ/보리를 開發ㅅᄉᆞㄴ/기발호려ㅅ 本ㅣㅌ入ㅣㅅ/밑이ㅿ돌 ᄒᆞ며 學ㄱ/ᄒᆞᆨ온 是ㄱ/이는 功德ㅣ/공덕을 勤修ㅅᄉᆞㄴ/근슈호려ㅅ 地ㅣㅌ入ㅣㅅㅅㅅㄴㄱㅣㅎ/짜히ㅿ돌 ᄒᆞ며 ᄒᆞ견이며 [於]戒ㅅ/계여 及ㄴ/밋 學ㅅㅅㅎㅋ十/ᄒᆞᆨ여 호려의희 常/샹녜 順行ㅅㅂㅌ入ㅣ/슌힝ᄒᆞᄂᆞㅿ돌 一切/일체 如來ㅌ/셔리ㅿ 稱美ㅅㅎㅁㅌ/칭미ᄒᆞ샤오ㅿ 所ㅣㅂㅊㅎ/바이ᄂᆞ리며

直譯/讀 만일 항상 모든 부처님을 믿어 받드(信奉)시옵으면 곧 능히 계행(戒/戒行)을 갖는다네 배울 곳(學處)을 닦는다네 (그리) 할 것이며 만일 항상 계행(戒/戒行)을 갖는다네 배울 곳(學處)을 닦는다네 (그리) 한다면 곧 능히 모든 공덕을 구족할 것이며 계행은 능히 보리를 개발한다는 것의 근본인 것들을 하며 배움은 이는 공덕을 근수(勤修)한다는 것의 십지(地/十地)인 것들을 하며 (또 그리) 하였는 것이며 계율이나 및 배운다는 것들에서 항상 순행(順行)하는 것들을 일체 여래의 칭찬하고 찬미하시옵는 바일 것이며

[51] <10:14~17>

原文/讀 若ㄴ/ᄒᆞ다가ㅅ 常ㅣ/샹녜 [於]諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 佛ㅣ/부텨를 信奉

ᄉᆞ白ᄒᆡ尸入ㄱ/신봉ᄒᆞᅀᆞᄂᆞᅀᆞᄃᆞᆫ 則ᄎᆞ/고디 能ᄎᆞ/시러디 大供養ᄒᆞ/대공양ᄒᆞᆯ 興集ᄉᆞᄒᆡᄒᆞᄀᆞ/흥집ᄒᆞᄂᆞ리며 若ᄀᆞ/ᄒᆞ다가ㅅ 能ᄎᆞ/시러디 大供養ᄒᆞ/대공양ᄒᆞᆯ 興集ᄉᆞᄒᆡ尸入ㄱ/흥집ᄒᆞᄂᆞᅀᆞᄃᆞᆫ 彼人ㄱ/뎌 사ᄅᆞᆷᄋᆞᆫ 佛矣/부텨디 不思議ㅣᄒᆞᄆᆞㄱ入ᄒᆞ/브ᄉᆞ의이샤ᄋᆞᆫ ᄃᆞᆯ 信ᄉᆞᄒᆡᄒᆞᄀᆞ/신ᄒᆞᄂᆞ리며 若ᄀᆞ/ᄒᆞ다가ㅅ 常ㅣ/샹녜 [於]尊法ᄒᆞ/존법을 信奉ᄉᆞᄒᆡ尸のㄱ/신봉ᄒᆞᄂᆞᅀᆞᄃᆞᆫ 則ᄎᆞ/고디 佛法ᄒᆞ/불법을 聞ᄆᆞ尸ᄆᆞᆷ/드로ᅀᆞᄃᆡ 厭足尸/슬믜욤 無ᄒᆡᄒᆞᄀᆞ/없ᄂᆞ리며 若ᄀᆞ/ᄒᆞ다가ㅅ 佛法ᄒᆞ/불법을 聞ᄆᆞ尸ᄆᆞᆷ/드로ᅀᆞᄃᆡ 厭足尸/슬믜욤 無ᄒᆡ尸入ㄱ/없ᄂᆞᅀᆞᄃᆞᆫ 彼人ㄱ/뎌 사ᄅᆞᆷᄋᆞᆫ 法ㅣ/법이 不思議ㅣᄒᆞᄆᆞㄱ入ᄒᆞ/브ᄉᆞ의이샤ᄋᆞᆫ ᄃᆞᆯ 信ᄉᆞᄒᆡᄒᆞᄀᆞ/신ᄒᆞᄂᆞ리며

直譯/讀 만일 항상 모든 부처님을 믿어 받드(信奉)시옵는다면 곧 능히 큰 공양을 일으켜 모을(興集) 것이며 만일 능히 큰 공양을 일으켜 모은다면 그들은 부처님의 부사의(不思議)이시온 것들을 믿을 것이며 만일 항상 소중한 법(尊法)을 믿어 받들면 곧 불법(佛法)을 듣되 실증함이 없을 것이며 만일 불법(佛法)을 듣되 실증함이 없을 것이면 그들은 불법(法/佛法)이 부사의(不思議)이시온 것들을 믿을 것이며

[52] <10:18~21>

原文/讀 若ᄀᆞ/ᄒᆞ다가ㅅ 常ㅣ/샹녜 淸淨僧ᄒᆞ/청졍승을 信奉ᄉᆞᄒᆡ尸入ㄱ/신봉ᄒᆞᄂᆞᅀᆞᄃᆞᆫ 則ᄎᆞ/고디 得ᄀᆞᄒᆞ/시러금 信心ㅣ/신심이 退轉尸/믈리그욷 不ᄉᆞᄒᆡᄒᆞᄀᆞ/안돌ᄒᆞᄂᆞ리며 若ᄀᆞ/ᄒᆞ다가ㅅ 得ᄀᆞᄒᆞ/시러금 信心ㅣ/신심이 退轉尸/믈리그욷 不ᄉᆞᄒᆡ尸入ㄱ/안돌ᄒᆞᄂᆞᅀᆞᄃᆞᆫ 彼人ㄱ/뎌 사ᄅᆞᆷᄋᆞᆫ 信力ㅣ/신력이 能矣/시러디 動ᄉᆞᄀᆞᄉᆞ/동ᄒᆞ아려 無ᄒᆡᄒᆞᄀᆞ/없ᄂᆞ리며 若ᄀᆞ/ᄒᆞ다가ㅅ 得ᄀᆞᄒᆞ/시러금 信力ㅣ/신력이 能矣/시러디 動ᄉᆞᄀᆞᄉᆞ/동ᄒᆞ아려 無ᄒᆡ尸入ㄱ/없ᄂᆞᅀᆞᄃᆞᆫ 則ᄎᆞ/고디 得ᄀᆞᄒᆞ/시러금 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 根/근 淨ᄉᆞᄀᆞ/졍ᄒᆞ아 明利ᄉᆞᄒᆡᄒᆞᄀᆞ/명리ᄒᆞᄂᆞ리며 若ᄀᆞ/ᄒᆞ다가ㅅ 得ᄀᆞᄒᆞ/시러금 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 根/근 淨ᄉᆞᄀᆞ/졍ᄒᆞ아 明利ᄉᆞᄒᆡ尸入ㄱ/명리ᄒᆞᄂᆞᅀᆞᄃᆞᆫ 則Ø/고디 能Ø/시러디 惡知識ᄒᆞ/악디식을 遠離ᄉᆞᄒᆡᄒᆞᄀᆞ/원리ᄒᆞᄂᆞ리며

直譯/讀 만일 항상 청정(淸淨)한 스님들을 믿어 받들면 곧 얻게끔

믿는 마음이 퇴전(退轉 : 물러남)하지 아니할 것이며 만일 얻게끔 믿는 마음이 퇴전(退轉 : 물러남)하지 않는다면 그 사람은 믿는 힘이 능히 움직인다는 것 없을 것이며 만일 얻게끔 믿는 힘이 능히 움직인다는 것 없게 된다면 곧 얻게끔 모든 근(根/能力) 깨끗하여 총명(明利 : 聰明)할 것이며 만일 얻게끔 모든 근(根/能力) 깨끗하여 총명(明利 : 聰明)할 것이면 곧 능히 악지식(惡知識 : 邪惡의 引導者)을 멀리 떠나게 할 것이며

[53] <10:22~24>

原文/讀 若ㄴ/ᄒᆞ다가ㅅ 能ᄋᆞᄀᆞ/시러금 惡知識ㄴ/악디식을 遠離ᄂᆞᄆᆞ ᄇᆞㅅㄱㅣ/원리ᄒᆞᄂᆞᅀᆞ돈 則Ø/고디 得Ø/시러금 善知識ㄴ/션디식을 親近ᄂᆞᄆᆞ ᄆᆞᄎᆞᄀᆞ/친근ᄒᆞᄂᆞ리며 若ㄴ/ᄒᆞ다가ㅅ 得ᄋᆞᄀᆞ/시러금 善知識ㄴ/션디식을 親近ᄂᆞᄆᆞ ᄇᆞㅅㄱㅣ/친근ᄒᆞᄂᆞᅀᆞ돈 則Ø/고디 能Ø/시러금 廣大善ㄴ/광대션을 修集ᄂᆞᄆᆞ ᄆᆞᄎᆞᄀᆞ/슈집ᄒᆞᄂᆞ리며 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 能Ø/시러금 廣大善ㄴ/광대션을 修集ᄂᆞᄆᆞ ᄇᆞㅅㄱㅣ/슈집ᄒᆞᄂᆞᅀᆞ돈 彼人ㄱ/뎌 사ᄅᆞᆷ온 大因ㄴ/대인ㅅ力ㄴ/힘을 成就ᄂᆞᄆᆞ ᄆᆞᄎᆞᄀᆞ/셩취ᄒᆞᄂᆞ리며

直譯/讀 만일 능히 악지식(惡知識 : 邪惡의 引導者)을 멀리 여의면 곧 얻게끔 선지식(善知識 : 敎理의 引導者)을 친근할 것이며 만일 얻게끔 선지식(善知識)을 친근할 것이면 곧 능히 큰 선근(廣大善)을 익혀 닦을 것이며 만일 능히 큰 선근(廣大善 : 큰 善行)을 익혀 닦으면 그 사람은 큰 업인(大因 : 큰 業因)의 힘을 성취할 것이며

[54] <11:01~04>

原文/讀 若ㄴ/ᄒᆞ다가ㅅ 人ㅣ/사ᄅᆞᆷ이 大因ㄴ/대인ㅅ 力ㄴ/힘을 成就ᄂᆞᄆᆞ ᄆᆞᄎᆞᄀᆞ/셩취ᄒᆞᄂᆞᅀᆞ돈 則ᄎᆞ/고디 殊勝決定解ㄴ/슈숭결뎡히ᄅᆞᆯ 得ᄆᆞᄎᆞ/얻ᄂᆞ리며 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 殊勝決定解ㄴ/슈숭결뎡히ᄅᆞᆯ 得ᄆᆞᄀᆞ/얻ᄂᆞᅀᆞ돈 則ᄎᆞ/고디 諸ㄱ/모든 佛ᄉᆞ/부텨디 護念ᄂᆞᄒᆞᄆᆞᄀᆞ/호념ᄒᆞ샤오ᅀᆞ 所ㅣᄀᆞ/바잇 爲ㅅㄴᆞᄆᆞ ᄆᆞᄎᆞᄀᆞ[13]/ᄃᆞ외ᄃᆞᆯ ᄒᆞᄂᆞ리며 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 諸ㄱ/모든 佛ᄉᆞ/부텨디 護念ᄂᆞᄒᆞᄆᆞᄀᆞ/호념ᄒᆞ샤오ᅀᆞ 所ㅣᄀᆞ/바잇 爲ㅅㄴᆞᄆᆞ ᄇᆞㅅㄱㅣ

ㄱ[14]/ᄃᆞ외ᄃᆞᆯ ᄒᆞᄂᆞᅀᆞ돈 則Ø/고디 能Ø/시러금 菩提心ㄴ/보리심을 發起ᄉᆞᄒᆞᄆᆞᆫ/발긔ᄒᆞᄂᆞ리며 若Ø/ᄒᆞ다가ᅀᆞ 能Ø/시러금 菩提心ㄴ/보리심을 發起ᄉᆞᄒᆞᄆᆞᄉᆞᆨㄱ/발긔ᄒᆞᄂᆞᅀᆞ돈 則Ø/고디 能Ø/시러금 勤火七/부즈븟 佛Ø/부텨디 功德ㄴ/공덕을 修ᄒᆞᄎᆞᆫᆞᆫ/닷가ᄂᆞ리며

直譯/讀 만일 사람이 큰 인(大因 : 큰 業因)의 힘을 성취한다면 곧 수승(殊勝/뛰어남)하고 결정한 지혜(解 : 智慧)를 얻을 것이며 만일 수승(殊勝/뛰어남)하고 결정한 지혜(解 : 智慧)를 얻는다면 곧 모든 부처의 호념(護念 : 佛이 行者를 念해 보호)하시옵는 바가 된 것을 (그리) 할 것이며 만일 모든 부처의 호념(護念 : 佛이 行者를 念해 보호)하시옵는 바가 된 것을 (그리) 할 것이면 곧 능히 보리심(菩提心 : 無上道心)을 발기(發起)할 것이며 만일 능히 보리심을 발기할 것이면 곧 능히 힘써 부처님의 공덕을 수행할 것이며

[55] <11:05~08>

原文/讀 若Ø/ᄒᆞ다가ᅀᆞ 能Ø/시러디 勤火七/브즈븟 佛/부텨 功德ㄴ/공덕을 修ᄉᆞᄒᆞᄆᆞᄉᆞᆨㄱ/슈ᄒᆞᄂᆞᅀᆞ돈 則Ø/고디 得ᄀᆞᄒᆞ/시러금 如來ᄆᆞ/셔릐ᅀᆞ 家ᄀᆞ十/집아히 生在ᄉᆞᄒᆞᄎᆞᆫᆞᆫ/싱지ᄒᆞᄂᆞ리며 若Ø/ᄒᆞ다가ᅀᆞ 得ᄀᆞᄒᆞ/시러금 如來Ø/셔릐ᅀᆞ 家ᄀᆞ十/집아히 生在ᄉᆞᄒᆞᄆᆞᄉᆞᆨㄱ/싱지ᄒᆞᄂᆞᅀᆞ돈 則Ø/

---

13) 위 '爲ㅅ乙ᄉᆞᄒᆞᄎᆞᆫᆞᆫ'에서 토 '乙'이 原文에선 'ㄱ'으로 잘못 기입되었다. 이는 同軌吐 '爲ㅅ乙ᄉᆞᄒᆞᄎᆞᆫᆞᆫ'<十二14>로서 立證된다.

14) 위 "…諸ㄱ 佛矣 護念ᄉᆞᄒᆞᄆᆞᄆᆞᆫ 所ㅣᆫ、 爲ㅅ乙ᄉᆞᄒᆞᄆᆞᆫᆞᄉᆞᆨㄱ"에서 토 "① 'ᄉᆞᄒᆞ' ② 'ᄆᆞᆫ'과 ③ 'ㅅ乙' ④ 'ᄉᆞᄒᆞᄆᆞᆫ' ⑤ 'ᄉᆞᆨㄱ'들은 각각 ①은 尊敬, ②는 使役, ③은 認知, ④는 可能, ⑤는 假定 등으로 분석된다. 이를 풀이하면 '…(護念/호념)하시옵는 바가 된 것을 (그리) 할 것이면'이 된다. 그런데 이 高麗 때, 高僧의 讀解가 어쩌면 現代(1971), 日本의 高僧이 飜譯한 "諸佛の爲に護念せらるれば"와 一致함에 저으기 놀라지 않을 수 없다. 그 日文에 밑줄 친 文語體를 현대어로 옮기면 "①さ, ②せる, ③ことが, ④出來, ⑤れば"로 분석되어 위 필자의 번역문과도 완전히 一致한다. 결국 古今의 高僧들의 佛書 讀解는 거의 完璧하다는 데 同感한다. 이하 同軌吐 '(爲)ㅅ乙ᄉᆞᄒᆞᄆᆞᆫᆞᄉᆞᆨㄱ'<十二15,18>이 2회 더 나온다.

고디 善ᄎᆞ/이드디 巧ø/공교ᄒᆞᆫ 方便ᄒᆞ/방변을 修行ᄂᆞᆫᄒᆞᄒᆞᆷ/슈힝ᄒᆞᄂᆞ리며 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 善ᄎᆞ/이드디 巧ø/ 공교ᄒᆞᆫ 方便ᄒᆞ/방변을 修行ᄂᆞᆫᄒᆞᄆᆞのㄱ/슈힝ᄒᆞᄂᆞㅿ든 則ø/고디 信樂ᄒᆞ/신락ᄋᆞᆯ 得ᄒᆞᄭᅮ/시러금 心ᄉᆞᆷ/ᄆᆞᅀᆞᆷ 淸淨ᄂᆞᆫᄒᆞᄒᆞᆷ/쳥졍ᄒᆞᄂᆞ리며 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 信樂ᄒᆞ/신락ᄋᆞᆯ 得ᄒᆞᄭᅮ/시러금 心ᄉᆞᆷ/ᄆᆞᅀᆞᆷ 淸淨ᄂᆞᆫᄒᆞᄆᆞのㄱ/쳥졍ᄒᆞᄂᆞㅿ든 則ø/고디 增上ㅅ/즁샹와 最勝心ㅅᄉᆞᆫᄒᆞ/최슝심와려ᄂᆞᆯ 得ᄒᆞᄒᆞᆷ/얻ᄂᆞ리며

直譯/讀 만일 능히 힘써 부처님 공덕 닦아 익히면 곧 얻게끔 여래(如來)의 집에서 태어날 것이며 만일 얻게끔 여래의 집에서 태어난다면 곧 잘 공교히 방편(方便)을 닦아 행할 것이며 만일 잘 공교히 방편을 닦아 행한다면 곧 믿고 좋아함을 얻게끔 마음 청정(淸淨)하여질 것이며 만일 믿고 좋아함을 얻게끔 마음을 청정한다면 곧 증상(增上 : 훌륭함)과 최승심(最勝心 : 最上의 心性)과 (그러) 하다는 것들을 얻을 것이며

[56] <11:09~12>

原文/讀 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 增上ㅅ/즁샹와 最勝心ㅅᄉᆞᆫᄒᆞ/최슝심려ᄂᆞᆯ를 得ᄒᆞᄆᆞㅅㄱㄱ/얻ᄂᆞㅿ든 則ø/고디 常ㅐ/샹녜 波羅蜜ᄒᆞ/바라밀을 修習ᄂᆞᆫᄒᆞᄒᆞᆷ/슈습ᄒᆞᄂᆞ리며 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 常ㅐ/샹녜 波羅蜜ᄒᆞ/바라밀을 修習ᄂᆞᆫᄒᆞᄆᆞㅅㄱㄱ/슈습ᄒᆞᄂᆞㅿ든 則ø/고디 能ø/시러디 摩訶衍ᄒᆞ/마하연을 具足ᄂᆞᆫᄒᆞᄒᆞᆷ/구죡ᄒᆞᄂᆞ리며 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 能ø/시러디 摩訶衍ᄒᆞ/마하연을 具足ᄂᆞᆫᄒᆞᄆᆞㅅㄱㄱ/구죡ᄒᆞᄂᆞㅿ든 則ø/고디 能ø/시러디 法ᄒᆞᄭᅮ/법아히 如ᄐᆞᆫ/ᄀᆞᆮᄒᆞ져 佛ᄒᆞ/부텨를 供養ᄂᆞᆫ白ᄒᆞᄒᆞᆷ/공양ᄒᆞᄉᆞᆸᄂᆞ리며 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 能ø/시러디 法ᄒᆞᄭᅮ/법아히 如ᄐᆞᆫ/ᄀᆞᆮᄒᆞ져 佛ᄒᆞ/부텨를 供養ᄂᆞᆫ白ᄒᆞᄆᆞㅅㄱㄱ/공양ᄒᆞᄉᆞᆸᄂᆞㅿ든 則/고디 能ᄎᆞ/시러디 佛ᄒᆞ/부텨를 念ᄂᆞᆫ白ᄒᆞᄆᆞㅁ/념ᄒᆞᄉᆞᆸ오ㅿ디 心ᄉᆞᆷ/ᄆᆞᅀᆞᆷ 動ㅁ/뮈욷 不ᄂᆞᆫᄒᆞᄒᆞᆷ/아니ᄒᆞᄂᆞ리며

直譯/讀 만일 증상(增上 : 훌륭함)과 최승심(最勝心 : 最上의 心性)과 (그러) 하다는 것들을 얻는다면 곧 항상 바라밀(波羅蜜 : 보살 到彼岸의 修行)을 닦아 익힐 것이며 만일 항상 바라밀을 닦아 익히면 곧 능히 마하연(摩訶衍 : 보살 到彼岸의 修行)을 구족할 것이며 만일 능히 마하연

을 구족할 것이면 곧 능히 불법(佛/佛法)에서와 같으려 부처님을 공양하시올 것이며 만일 능히 불법(佛/佛法)에서와 같으려 부처님을 공양하시올 것이면 곧 능히 부처님을 염불(念佛)하시오되 마음 동하지 않을 것이며

[57] <11:13~16>

原文/讀 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 能Ø/시러디 佛ㅣ/부텨를 念ᄂᆞᆷ白ᄒᆞᄆᆞᄆᆞᆯᄆᆞᆷ/념ᄒᆞᄉᆞᆸᄋᆞᄃᆞᆫ 心ᄉᆞᆷ/ᄆᆞᅀᆞᆷ 動ᄆᆞ/뮈윤 不ᄂᆞᄒᆞᄆᆞのㄱ/안ᄃᆞᆯᄒᆞᄂᆞᄉᆞᄃᆞᆫ 則Ø/고디 常ㅐ/샹녜 量Ø·/그지 無ᄫᆞㄱ/없으샨 佛ㅣ/부텨를 覩見ᄂᆞ白ㅂᄒᆞᄒᆞᆫ/도견ᄒᆞᄉᆞᆸᄂᆞ리며 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 常ㅐ/샹녜 量ㅐ/그지 無ᄫᆞㄱ/없으샨 佛ㅣ/부텨를 覩見ᄂᆞ白ㅂᄆᆞᄋᆞㄱㅅㄱ/도견ᄒᆞᄉᆞᆸᄂᆞᄉᆞᄃᆞᆫ 則Ø/고디 如來ᄆᆞ/셔리ᄉᆞ 體ㅐ/몸이 常住ᄂᆞᄫᆞᄀᆞㅅㄱㄹ/샹듀ᄒᆞ샤ᄋᆞᆫ ᄃᆞᆯ 見白ㅂᄒᆞᄒᆞᆫ/보ᄉᆞᆸᄂᆞ리며 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 如來ᄆᆞ/셔리ᄉᆞ 體ㅐ/몸이 常住ᄂᆞᄫᆞᄀᆞㅅㄱㄹ[15]/샹듀ᄒᆞ샤ᄋᆞᆫ ᄃᆞᆯ 見白ㅂᄆᆞᄋᆞㄱㅅㄱ/보ᄉᆞᆸᄂᆞᄉᆞᄃᆞᆫ 則Ø/고디 能ᄉᆞ/시러디 法ᄒᆞ/법의 永ᄉᆞᆨ/길거 滅ᄂᆞᄅᆞㄱ/멸ᄒᆞ곤 不ᄉᆞᆺᄒᆞㄱㅅㄴ/아니디닌 ᄃᆞᆯ 知ㅂᄒᆞᄒᆞᆫ/아ᄂᆞ리며 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 能Ø/시러디 法ᄒᆞ/법의 永ᄉᆞᆨ/길거 滅ᄂᆞᄅᆞㄱ/멸ᄒᆞ곤 不ᄉᆞᆺᄒᆞㄱㅅㄱ/아니디닌 ᄃᆞᆫ 知ㅂᄆᆞᄋᆞㄱㅅㄱ/아ᄂᆞᄉᆞᄃᆞᆫ 則Ø/고디 得ᄀᆞᄒᆞ/시러금 辯才ㅐ/변지이 障礙ᄂᆞᄆᆞ/쟝애ᄒᆞᆮ 無ㅂᄒᆞᄒᆞᆫ/없ᄂᆞ리며

直譯/讀 만일 능히 부처님을 염불(念/念佛)하시옵되 마음 동하지 아니하면 곧 항상 그지 없으신 부처님을 뵈시(覩見/御覽)올 것이며 만일 항상 그지 없으신 부처님을 뵈시(覩見/御覽)올 것이면 곧 여래(如來)의 몸이 항상 계시(常住)온 것들을 보시(見)을 것이며 만일 여래의 몸이 항상 계시(常住)온 것들을 보시(見)올 것이면 곧 능히 불법(法/佛法)의 오래도록 멸하지 아닌 것을 알 것이며 만일 능히 불법(法/佛法)의 오래도록 멸하지 아닌 것을 안다면 곧 얻게끔 변재(辯才/辯說의 才能)가 장애됨이 없을 것이며

---

15) 위 原文 "常住ᄂᆞᄫᆞᄀᆞㅅㄱㄹ"(原吐)에서 2回의 끝 토 '_ㅅㄱㄹ'들은 모두 '_ㅅㄱ'들의 오류이므로 바로 잡는다.

[58] <11:17~20>

原文/讀 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 得ᄌᆞᆷ/시러금 辯才ㅣ/변지이 障礙ㅣ/쟝애홇 無ㅂᆞ/ᄆᆞᆫ 則ø/고디 能ø/시러디 邊ᄇᆞ/ᄀᆞᆺ 無ㄱ/없은 法ㅣ/법을 開演ㅣᄒᆞ/기연ᄒᆞ리며 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 能ø/시러디 邊ᄇᆞ/ᄀᆞᆺ 無ø/없은 法ㅣ/법을 開演ㅣᄒᆞᄇᆞ/기연ᄒᆞᄂᆞᆫ 則ø/고디 能ø/시러디 慈愍ㅣᄌᆞᆷ/ᄌᆞ민ᄒᆞ아금 衆生ㅣ/즁싱ᄋᆞᆯ 度ㅣᄒᆞ/건네ᄂᆞ리며 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 能ø/시러디 慈愍ㅣᄌᆞᆷ/ᄌᆞ민ᄒᆞ아금 衆生ㅣ/즁싱ᄋᆞᆯ 度ㅣᄒᆞᄇᆞ/건네ᄂᆞᆫ 則ø/고디 堅固ㅣᄒᆞ/견고ᄒᆞᆺ 大悲心ㅣ/대비심을 得ᄒᆞ/얻ᄂᆞ리며 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 堅固ㅣᄒᆞ/견고ᄒᆞᆺ 大悲心ㅣ/대비심을 得ᄒᆞᄇᆞ/얻ᄂᆞᆫ 則ø/고디 能ø/시러디 甚ø/심이 深法ㅣ/심법을 愛樂ㅣᄒᆞ/이락ᄒᆞ리며

直譯/讀 만일 얻게끔 변재(辯才/辯說의 才能)가 장애됨 없을 것이면 곧 능히 가(邊) 없는 불법(法/佛法)을 개시(開示)하여 연설(開連/開示와 演說)할 것이며 만일 능히 가(邊) 없는 불법을 개시(開示)하여 연설한다면 곧 능히 인자(慈愍/仁慈)하게끔 중생을 건질(度) 것이며 만일 능히 인자하게끔 중생을 건질(度) 것이면 곧 견고한 큰 자비심(大悲心)을 얻을 것이며 만일 견고하고 큰 자비심을 얻을 것이면 곧 능히 심히 깊은 법(深法 : 深遠한 法教理)을 애락(愛樂)할 것이며

[59] <11:21~24>

原文/讀 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 能ø/시러디 甚ø/심이 深法ㅣ/심법을 愛樂ㅣᄒᆞᄇᆞ/이락ᄒᆞᄂᆞᆫ 則ø/고디 能ø/시러디 有爲ㅌ/유위ㅅ 過ㅣ/그릇ᄋᆞᆯ 捨離ㅣᄒᆞ/샤리ᄒᆞ리며 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 能ø/시러디 有爲ㅌ/유위ㅅ 過ㅣ/그릇ᄋᆞᆯ 捨離ㅣᄒᆞᄇᆞ/샤리ᄒᆞᄂᆞᆫ 則/고디 憍慢ㅣ/교만여 及ㅌ/밋 放逸ㅣᄂᆞᆺ/방일여 호려ᄂᆞᆯ 離ᄎᆞᄒᆞ/여희디 ᄂᆞ리며 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 憍慢ㅣ/교만여 及ㅌ/밋 放逸ㅣᄂᆞᆺ/방일여 호려ᄂᆞᆯ 離ᄎᆞᄒᆞᄇᆞ/여희디 ᄂᆞᆫ 則ø/고디 能ᄎᆞ/시러디 兼ㅣ/겸ᄒᆞ이 一切/일체 衆ㅣ/중을 利ㅣᄒᆞ/리이ᄂᆞ리며 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 能ø/시러디 兼ㅣ/겸ᄒᆞ이 一切

/일체 衆ㄴ/즁을 利ㅢㅌㄹㅅㄱ/리이ᄂᆞㅿ든 則Ø/고디 生死ㅋㅓ/싱ᄉᆞ아히 處ㄴㄹㅁ/처호ㅿ더 疲厭ㅅㄹ/피염ᄒᆞᆫ 無ㅌㅜㅎ/없ᄂᆞ리며

直譯/讀 만일 능히 심히 깊은 법을 애락(愛樂)한다면 곧 능히 하염 있는(有爲) 허물(過)을 여의게 될 것이며 만일 능히 하염 있는(有爲) 허물을 여의게 되면 곧 교만이나 및 방일(放逸)한다는 것들을 여의게 되며 만일 교만이나 및 방일(放逸)이나 한다는 것들을 여의게 되면 곧 능히 겸하여 일체 중생을 이익케 할 것이며 만일 능히 겸하여 일체 중생을 이익케 한다면 곧 생사(生死)에 처하되 피로(疲厭/疲勞)함 없을 것이며

[60] <12:01~04>

原文/讀 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 生死Ø/싱ᄉᆞ아히 處Ø/처호ㅿ더 疲厭ㅅㄹ/피염ᄒᆞᆫ 無ㅌㄹㅅㄱ/없ᄂᆞㅿ든 則Ø/고디 能Ø/시러디 勇健ㅅㅋㅓ/용건ᄒᆞ아금 能ㅊ/시러디 勝ㅋㅅ/이긔아려 無ㅌㅜㅎ/없ᄂᆞ리며 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 能Ø/시러디 勇健Ø/용건ᄒᆞ아금 能Ø/시러디 勝Ø/이긔아려 無ㅌㄹㅅㄱ/없ᄂᆞㅿ든 則Ø/고디 能Ø/시러디 大神通ㄴ/대신통ᄋᆞᆯ 發起ㅅㅌㅜㅎ/발긔 ᄒᆞᄂᆞ리며 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 能Ø/시러디 大神通ㄴ/대신통ᄋᆞᆯ 發起ㅅㅌㄹㅅㄱ/발긔ᄒᆞᄂᆞㅿ든 則Ø/고디 一切/일체 衆生ㅋ/즁싱ᄋᆡ 行ㄴ/힝ᄋᆞᆯ 知ㅌㅜㅎ/아ᄂᆞ리며 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 一切/일체 衆生Ø/즁싱ᄋᆡ 行Ø/힝ᄋᆞᆯ 知ㅌㄹㅅㄱ/아ᄂᆞㅿ든 則Ø/고디 能Ø/시러디 諸ㄱ/모든 群生ㄴ/군싱ᄋᆞᆯ 成就ㅅㅌㅜㅎ/셩취ᄒᆞᄂᆞ리며

直譯/讀 만일 생사(生死)에 처하되 피로(疲厭/疲勞)치 않는다면 곧 능히 용맹하고 건장하게끔 능히 이긴(勝)다는 이 없을 것이며 만일 능히 용맹하고 건장하게끔 능히 이긴다는 이 없을 것이면 곧 능히 큰 신통(大神通)을 발기(發起)할 것이며 만일 능히 큰 신통을 발기한다면 곧 일체 중생의 행(行)을 알 것이며 만일 일체 중생의 행(行)을 알 것이면 곧 능히 모든 중생(群生/衆生)을 성취할 것이며

[61] <12:05~08>

原文/讀 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 能ø/시러디 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 群生ㄴ/군싱ᄋᆞᆯ 成就ᄂᆞᆷᄇᆞ/셩취ᄒᆞᄂᆞㅿᄃᆞᆫ 則ø/고디 善ᄎᆞ/이드디 衆生ㄴ/즁싱ᄋᆞᆯ 攝ㅅᄉᆞ/셥호려ㅅ 智ㄴ/디를 得ᄇᆞᄒᆞᆫ/얻ᄂᆞ리며 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 善ᄎᆞ/이드디 衆生ㄴ/즁싱ᄋᆞᆯ 攝ㅅᄉᆞ/셥호려ㅅ 智ㄴ/디를 得ᄇᆞᄆᆞᄒᆞᆫ/얻ᄂᆞㅿᄃᆞᆫ 則ø/고디 能ø/시러디 四攝ㄷ/ᄉᆞ셥ㅅ 法ㄴ/법을 成就ᄂᆞᄇᆞᄒᆞᆫ/셩취ᄒᆞᄂᆞ리며 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 能ø/시러디 四攝ø/ᄉᆞ셥ㅅ 法ø/법을 成就ᄂᆞᄇᆞᄆᆞᄒᆞᆫ/셩취ᄒᆞᄂᆞㅿᄃᆞᆫ 則ø/고디 衆生ㅋㅏ/즁싱이히 限ㅎ/ᄒᆞᆫ호 無ㄱᄇᆞㄷ/없은ᄂᆞᄉᆞ 利ㅎᄆᆞᄂᆞㄱ/리호ㅿᄃᆞᆫ 與ᄂᆞᄇᆞᄒᆞᆫ/다ᄆᆞᆺᄒᆞᄂᆞ리며 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 衆生ø/즁싱의희 無限ø/무ᄒᆞᆫㅅ 利ø/리를 與ᄂᆞᄇᆞᄆᆞのㄱ/다ᄆᆞᆺᄒᆞᄂᆞㅿᄃᆞᆫ 則ø/고디 最勝ᄂᆞᄇᆞㄷ/최숭ᄒᆞᄂᆞᆺ 智ø/디ㅅ 方便ㄴ/방변을 具ㅎᄇᆞᄒᆞᆫ/ᄀᆞᄎᆞᄂᆞ리며

直譯/讀 만일 능히 모든 중생(群生/衆生)을 성취한다면 곧 잘 중생을 거둬(攝) 준다는 지혜(智/智慧)를 얻을 것이며 만일 잘 중생을 거둬(攝) 준다는 지혜를 얻는다면 곧 능히 사섭(四攝 : 네 가지 佛道에의 方法)의 법을 성취할 것이며 만일 능히 사섭(四攝)의 법(法)을 성취한다면 곧 중생에게 제한 없는 이익(利/利益)한 것이면 함께(與)할 것이며 만일 중생에게 제한 없는 이익을 함께(與)할 것이면 곧 최승(最勝)한 것인 지혜의 방편(方便)을 구족(具/具足)할 것이며

[62] <12:09~12>

原文/讀 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 最勝ᄂᆞᄇᆞㄷ/최숭ᄒᆞᄂᆞᆺ 智ø/디ㅅ 方便ø/방변을 具ㅎᄇᆞᄆᆞᄒᆞᆫ/ᄀᆞᄎᆞᄂᆞㅿᄃᆞᆫ 則ø/고디 勇猛ø/용밍ㅅ 無上道ㅇㅓ/무샹도아히 住ᄂᆞᄇᆞᄒᆞᆫ/듀ᄒᆞᄂᆞ리며 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 勇猛ø/용밍ㅅ 無上道ø/무샹도아히 住ᄂᆞᄇᆞᄆᆞᄒᆞᆫ/듀ᄒᆞᄂᆞㅿᄃᆞᆫ 則ø/고디 能ø/시러디 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 魔力ㄴ/마력을 摧殄ᄂᆞᄇᆞᄒᆞᆫ/최딘ᄒᆞᄂᆞ리며 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 能ø/시러디 諸ø/모ᄃᆞᆫ 魔力ø/마력을 摧殄ᄂᆞᄇᆞᄆᆞᄒᆞᆫ/최딘ᄒᆞᄂᆞㅿᄃᆞᆫ 則ø/고디 能ø/시러디 四魔ㄷ/ᄉᆞ마ㅅ 境ㄴ/경을 超出ᄂᆞᄇᆞᄒᆞᆫ/툐출ᄒᆞᄂᆞ리며 若ø/ᄒᆞ

다가ㅅ 能Ø/시러디 四魔Ø/ᄉᆞ마ㅅ 境Ø/경을 超出Ø/툐출ᄒᆞᄂᆞᅀᆞᄃᆞᆫ 則Ø/고디 得ᄋᆞᄌᆞ/시러금 不退地ᄋᆞ十/블퇴디아히[於] 至ㅌㅈᄀᆞ/니ᄅᆞᄂᆞ리며

直譯/讀 만일 가장 승(最勝)한 지혜(智/智慧) 방편 구족(具/具足)한다면 곧 용맹하게 무상도(無上道 : 究極의 깨달음)에 머물(住) 것이며 만일 용맹하게 무상도에 머물게 된다면 곧 능히 모든 마군의 힘(魔力)을 꺾어 없이 할 것이며 만일 능히 모든 마군의 힘(魔力)을 꺾어 없이 한다면 곧 능히 네 가지 마(四魔)의 경계를 뛰어나올 것이며 만일 능히 네 가지 마의 경계를 뛰어나온다면 곧 얻게끔 물러가지 않는 곳에 이르게 될 것이며

[63] <12:13~16>

原文/讀 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 不退地ᄋᆞ十/블퇴디아히[於] 至Ø/니ᄅᆞ러 得Ø/얻ᄂᆞᅀᆞᄃᆞᆫ 則Ø/고디 無生Ø/무싱ㅅ 深Ø/기픠 法忍ㄴ/법신을 得ㅌㅈᄀᆞ/얻ᄂᆞ리며 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 無生Ø/무싱ㅅ 深Ø/기픠 法忍Ø/법신을 得Ø/얻ᄂᆞᅀᆞᄃᆞᆫ 則Ø/고디 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 佛ᅀᆞ/부텨디 授記ᄂᆞᆼㅎㄱᄑᆞ/슈긔ᄒᆞ샤오ᅀᆞ 所ㅣᄑᆞ/바잇 爲ㅅᄂᆞᆫㅌㅈᄀᆞ/ᄃᆞ외ᄃᆞᆯ ᄒᆞᄂᆞ리며 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 諸Ø/모ᄃᆞᆫ 佛Ø/부텨디 授記Ø/슈긔ᄒᆞ샤오ᅀᆞ 所Ø/바잇 爲ㅅᄂᆞᆫㅌㅈᄑᆞㅅㄱ/ᄃᆞ외ᄃᆞᆯ ᄒᆞᄂᆞᅀᆞᄃᆞᆫ 則Ø/고디 一切/일체 佛ㅣ/부텨이 其Ø/그 前ᄋᆞ十/알핑 現ㅌㅎᄀᆞ/나토ᄂᆞ샤리며 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 一切/일체 佛Ø/부텨이 其Ø/그 前Ø/알핑 現ㅌㅎᄑᆞㅅㄱ/나토ᄂᆞ샤ᅀᆞᄃᆞᆫ 則Ø/고디 神通Ø/신통ㅅ 深Ø/기픠 密用ㄴ/밀용ᄋᆞᆯ 了ᄂᆞᆼㅌㅈᄀᆞ/료ᄒᆞᄂᆞ리며

直譯/讀 만일 물러가지 않는 곳에 이르게 된다면 곧 생멸 없(無生)는 깊은 법인(法忍 : 진실을 깨닫기 직전의 안온함)을 얻게 될 것이며 만일 생멸 없는 깊은 법인을 얻게 된다면 곧 모든 부처의 수기(授記 : 成佛의 約束)하시온 바가 된 것을 (그리) 할 것이며 만일 모든 부처의 수기(授記)하시온 바가 된 것을 (그리) 한다면 곧 일체 부처님이 그 앞에서 나타나실 것이며 만일 일체 부처님이 그 앞에 나타나신다면 곧 신통의 깊고 비밀한 작용을 알(了) 것이며

[64] <12:17~20>

原文/讀 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 神通Ø/신통ㅅ 深Ø/기피 密用Ø/밀용올 了ᄂᆞᆫᄃᆞ/료ᄒᆞᄂᆞㅿᄃᆞᆫ 則Ø/고디 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 佛ᄉᆞ/부텨디 憶念ᄂᆞᆷᄀᆞᆷ/억념ᄒᆞ샤오ㅿ 所Ø/바잇 爲ㅅᄂᆞᆫᄃᆞ/ᄃᆞ외ᄃᆞᆯ ᄒᆞᄂᆞ리며 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 諸Ø/모ᄃᆞᆫ 佛Ø/부텨디 憶念Ø/억념ᄒᆞ샤오ㅿ 所Ø/바잇 爲ㅅᄂᆞᆫᄃᆞ/ᄃᆞ외ᄃᆞᆯ ᄒᆞᄂᆞㅿᄃᆞᆫ 則Ø/고디 佛Ø/부텨디 德ㄴ/덕을 以ᄋᆞ/뼈 自ᄅᆞᄉᆞㄴ/스싀려ᄂᆞᆯ 莊嚴ᄂᆞᆫᄃᆞ/장엄ᄒᆞᄂᆞ리며 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 佛/부텨디 德Ø/덕을 以Ø/뼈 自Ø/스싀려ᄂᆞᆯ 莊嚴ᄂᆞᆫᄃᆞ/장엄ᄒᆞᄂᆞㅿᄃᆞᆫ 則Ø/고디 妙福/묘복 端嚴Ø/단엄ㅅ 身ㄴ/몸올 獲ᄃᆞᆫᄃᆞ/얻ᄂᆞ리며 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 妙福/묘복 端嚴Ø/단엄ㅅ 身ㄴ/몸올 獲ᄃᆞᆫᄃᆞ/얻ᄂᆞㅿᄃᆞᆫ 則Ø/고디 身ㅐ/몸이 晃耀ᄂᆞᆫᄆᆞ/황요호ㅿᄃᆡ 金山ㆍ/금산 如ᄒᆞᄂᆞᆫᄃᆞ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 ᄒᆞᄂᆞ리며

直譯/讀 만일 신통(神通)의 깊고 비밀한 작용을 안(了)다면 곧 모든 부처님의 억념(憶念 : 기억으로 간직)하시옵는 바 인 몸 된들 (그리) 할 것이며 만일 모든 부처의 억념(憶念)하시옵는 바가 된 것을 (그리) 한다면 곧 부처님의 공덕(功德)을 갖고서 스스로 (그리) 한다는 것들과 장엄(莊嚴)할 것이며 만일 부처님의 공덕으로 스스로 (그리) 한다는 것들과 장엄할 것이면 곧 묘한 복의 단정(端嚴/端正)한 몸을 얻을 것이며 만일 묘한 복의 단정(端正)한 몸을 얻을 것이면 곧 몸이 찬란하되 금산(金山 : 佛身의 別稱)과 같이 할 것이며

[65] <12:21~24>

原文/讀 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 身Ø/몸이 晃耀Ø/황요호ㅿᄃᆡ 金山ㆍ/금산 如ᄒᆞᄂᆞᆫᄃᆞ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 ᄒᆞᄂᆞㅿᄃᆞᆫ 則/고디 相ㅣᄉᆞ/샹ᄋᆞ로 莊嚴ᄂᆞᆫᄆᆞ/장엄호ㅿᄃᆡ 三十二ㅣᄂᆞᆫᄃᆞ/삼십ᄉᆡ를 ᄒᆞᄂᆞ리며 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 則Ø/고디 相Ø/샹ᄋᆞ로 莊嚴Ø/장엄호ㅿᄃᆡ 三十二ㅣᄂᆞᆫᄃᆞ/삼십ᄉᆡ를 ᄒᆞᄂᆞㅿᄃᆞᆫ 則Ø/고디 隨好ㄴ/슈호ᄅᆞᆯ 具ᄀᆞᄌᆞᄒᆞ/ᄀᆞᄎᆞ아금 嚴飾ㆍ/엄식 爲ᄌᆞᄃᆞᄒᆞ/삼ᄋᆞ사 ᄂᆞ리며 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 隨好Ø/슈호ᄅᆞᆯ 具Ø/ᄀᆞᄎᆞ아금 嚴飾ㆍ/

엄식 爲ᄒᆞᄫᆞ尸入ㄱ/ᄃᆞ외사 ᄂᆞᅀᆞ든 則ø/고디 身ㄷ/몸ㅅ 光明ㅐ/광명이 限量ᄂᆞ/ᄒᆞᆫ량 無ᄇᆞᅔᄀᆞᆫ/없ᄂᆞ리며 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 身ø/몸ㅅ 光明ø/광명이 限量ᄂᆞ/ᄒᆞᆫ량 無ᄇᆞ尸入ㄱ/없ᄂᆞᅀᆞ든 則ø/고디 不思議ㄷ/브ᄉᆞ의ㅅ 光ㄴᄆ/빗으로 莊嚴ᄂᆞᄇᆞᅔᄀᆞᆫ/장엄ᄒᆞᄂᆞ리며

直譯/讀 만일 몸이 찬란(晃耀 : 빛내 반짝인다)하되 금산(金山 : 佛身의 別稱)과 같이 (그리) 한다면 곧 몸매(相)로 장엄(莊嚴)하되 三十二상(三十二相 : 偉人의 瑞相)을 (그리) 할 것이며 만일 곧 몸매(相)로 장엄하되 三十二상(相)을 (그리) 한다면 곧 잘생김(隨好)을 갖추게끔 몸치장(嚴飾)하여질 것이며 만일 잘생김(隨好) 갖추게끔 몸치장(嚴飾)하여질 것이면 곧 몸(身)의 광명이 한량 없을 것이며 만일 몸에 빛난 광명이 한량 없으면 곧 부사의(不思議 : 思慮를 초월)한 빛으로 장엄할 것이며

[66] <13:01~04>

原文/讀 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 不思議ø/브ᄉᆞ의ㅅ 光ø/빗으로 莊嚴ᄂᆞᄇᆞ尸入ㄱ/장엄ᄒᆞᄂᆞᅀᆞ든 其/그 光ㄱ/빗은 則ᄎᆞ/고디 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 蓮華ㄴ/련화ᄅᆞᆯ 出ᄂᆞᄇᆞᅔᄀᆞᆫ/출ᄒᆞᄂᆞ리며 其/그 光ㅐ/빗이 若ㄷ/ᄒᆞ다가ㅅ 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 蓮華ㄴ/련화ᄅᆞᆯ 出ᄂᆞᄇᆞ尸入ㄱ/출ᄒᆞᄂᆞᅀᆞ든 則ø/고디 量ㅐ/그지 無ㄱ/없은 佛ㅐ/부텨이 華/곶 上ᄀᆞ十/우ᄒᆞ아히 坐ᄂᆞᄀᆞ/좌ᄒᆞ아 十方ᄀᆞ十/시방아히 示現ᄂᆞ尸ㅁ/시현호ᅀᆞ딕 不ᄉᆞ/안ᄃᆞᆯ 徧ᄋᆞㅣᄂᆞㄱ/두루마다 혼 靡ㄷᄀᆞᄒᆞ/없어 금 悉ᄀᆞ/다아 能ᄎᆞ/시러디 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 衆生ㄴ/즁싱ᄋᆞᆯ 調伏ᄂᆞᄇᆞᅔᄀᆞᆫ/됴복ᄒᆞᄂᆞ리며 若ㄷ/ᄒᆞ다가ㅅ 能ᄎᆞ/시러디 是ㅐ·/이 如ᄎᆞ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 衆生ㄴ/즁싱ᄋᆞᆯ 調ᄂᆞᄒᆞᄐᆞᄀᆞㄱ入ㄴᄂᆞᄇᆞ尸ᄒᆞᅔᄀᆞᆫ/됴ᄒᆞ샤 누온 ᄃᆞᆯ ᄒᆞᄂᆞᅀᆞ리며 則ø/고디 量ø·/그지 無ㄱ/없은 神通ㄷ/신통ㅅ 力ㄴ/힘을 現ᄀᆞᄇᆞᅔᄀᆞᆫ/나토ᄂᆞ리며

直譯/讀 만일 부사의(不思議)한 빛으로 장엄한다면 그 빛은 곧 모든 연꽃을 나게 할 것이며 그 빛이 만일 모든 연꽃을 나게 한다면 곧 그지 없는 부처님이 그 꽃 위에 앉아 시방(十方)세계에서 나타나되 널리 않게 하는데 없게끔 다 능히 모든 중생을 조복(調伏 : 身心의 抑制)할 것

이며 만일 능히 이같이 중생을 조복(調伏 : 身心의 抑制)하는 중인 것을 (그리) 할 것이며 곧 그지 없는 신통(神通)의 힘을 나타낼 것이며

[67] <13:05~08>

原文/讀 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 無量/무량 神通ㄷ/신통ㅅ 力ㄴ/힘을 現ᄀᆞᄇᆞ ᄑᆞㅅㄱᆞ/나토ᄂᆞᅀᆞᄃᆞᆫ 則ø/고디 不可思議ㄷ/블가ᄉᆞ의ㅅ 土ᄀᆞᆞ+/짜아히 住ᄉᆞᄀᆞᄒᆞ/듀ᄒᆞ야금 不可思議ㄷ/블가ᄉᆞ의ㅅ 法ㄴ/법을 演說ᄉᆞᄀᆞ/연셜ᄒᆞ아 不思議ㄷ/브ᄉᆞ의ㅅ 衆ㄴ/즁을 歡喜ᄒᆞ/환희 令ㅐᄇᆞᄒᆞᄒᆞᆷ/ᄒᆞ이ᄂᆞ리며 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 不可思議ㄷ/블가ᄉᆞ의ㅅ 法ㄴ/법을 說ᄉᆞᄀᆞ/셜ᄒᆞ아 不思議ㄷ/브ᄉᆞ의ㅅ 衆ㄴ/즁을 歡喜ᄒᆞ/환희 令ㅐᄇᆞᄑᆞㅅㄱᆞ/ᄒᆞ이ᄂᆞᅀᆞᄃᆞᆫ 則ø/고디 智慧/디혜 辯才ㄷ/변지ㅅ 力ㄴ/힘을 以ᄀᆞᄒᆞ/뻐금 衆生ᄒᆞ/즁싱이 心ㄴ/ᄆᆞᅀᆞᆷ올 隨ᄀᆞ/조초 而ᄇᆞᆞ/ᄉᆡ로 化誘ᄉᆞᄇᆞᄒᆞᆷ/화유ᄒᆞᄂᆞ리며

直譯/讀 만일 한량 없는 신통의 힘을 나타낸다면 곧 불가사의(不可思議)한 국토(土/國土)에 머물게끔 불가사의한 법문(法/法文)을 연설하여 부사의(不思議)한 중생을 기쁘게 할 것이며 만일 불가사의한 법문을 연설하여 부사의한 중생을 기쁘게 한다면 곧 지혜와 말솜씨(辯才)의 힘을 갖게끔 중생의 마음을 따라 이로므로 교화 유도(化誘/敎化 誘導)할 것이며

[68] <13:09~12>

原文/讀 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 智慧ø/디혜ㅅ 辯才力ㄴ/변지력을 以ø/뻐 衆生ᄒᆞ/즁싱이 心ㄴ/ᄆᆞᅀᆞᆷ올 隨ø/조초 而ø/ᄉᆡ로 化誘ᄉᆞᄇᆞᄑᆞㅅㄱᆞ/화유ᄒᆞᄂᆞᅀᆞᄃᆞᆫ 則ø/고디 智慧ㄴ/디혜를 以ᄀᆞᄒᆞ/뻐아 先導ᄒᆞ/션도 爲ᄒᆞᄀᆞᄒᆞㅅ/삼ᄋᆞ기 身語意ø/신어의ㅅ 業ᄀᆞ+/업아히 恒ㅐ/샹녜 失ᄑᆞ/일흠 無ᄇᆞᄒᆞᄒᆞᆷ/없ᄂᆞ리며 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 智慧ø/디혜를 以ø/뻐아 先導ᄒᆞ/션도 爲ø/삼ᄋᆞ기 身語意ø/신어의ㅅ 業ø/업아히 恒ø/샹녜 失ᄑᆞ/일흠 無ᄇᆞᄑᆞㅅㄱᆞ/없ᄂᆞᅀᆞᄃᆞᆫ 則ø/고디 其/그 願力ᄀᆞ+/원력아히 自在ㄴ/ᄌᆞ재를 得ᄀᆞᄒᆞ/시러금 普ㅐ/너비 諸ㄱ/모든 趣ㄴ/취를 隨ᄀᆞ/조초 而ᄇᆞᆞ/ᄉᆡ로 身ㄴ/몸을 現ᄀᆞ

ᄒᆞᄒᆞ分/나토ᄂᆞ리며

直譯/讀 만일 지혜와 말솜씨의 힘을 갖고서 중생의 마음을 따라 이로므로 교화하고 유도한다면 곧 지혜를 갖고서 앞을 인도하여 몸과 말과 뜻의 업(業)에 항상 허물(失)이 없을 것이며 만일 지혜를 갖고서 앞을 인도하여서 몸과 말과 뜻의 업(業)에 항상 허물(失) 없다면 곧 그 원력(願力 : 念願力)에 자재(自在 : 自由自在)함을 얻게끔 널리 모든 갈래(趣 : 境遇)를 따라 이로므로 몸을 나타낼 것이며

[69] <13:13~16>

原文/讀 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 其/그 願力Ø/원력이 自在Ø/ᄌᆞ재를 得Ø/시러금 普Ø/너비 諸Ø/모든 趣Ø/취를 隨Ø/조초 而Ø/ᄉᆡ로 身ㄴ/몸ᄋᆞᆯ 現ᄀᆞᄇᆞᄆᆞㅅᄀᆞ/나토ᄂᆞᅀᆞ든 則Ø/고디 能Ø/시러디 衆ᄋᆞ/즁의 爲ᄋᆡ/위ᄒᆞ사 說法ᄉᆞᄉᆞㄷᆡ/셜법ᄒᆞ려ㅅ 時ᄉᆡ十/다여희 音聲ㅣ/음셩이 類ㄴ/류를 隨ᄀᆞᄂᆞᄆᆞᄆᆞᆷ/조초호ᅀᆞ딕 難ᄋᆡ/어려ᄇᆡ사 思議ㅅᄒᆞᄇᆞ分/ᄉᆞ의호리 ᄂᆞ리며 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 能Ø/시러디 衆Ø/즁의 爲Ø/위ᄒᆞ사 說法Ø/셜법ᄒᆞ려ㅅ 時Ø/다여희 音聲Ø/음셩이 類Ø/류를 隨Ø/조초호ᅀᆞ딕 難Ø/어려ᄇᆡ사 思議ㅅᄒᆞᄇᆞᄆᆞㅅᄀᆞ/ᄉᆞ의호리ᄂᆞᅀᆞ든 則Ø/고디 一切/일체 衆生ᄋᆞ/즁싱ᄋᆡ[於] 心ㄴ/ᄆᆞᅀᆞᆷᄋᆞᆯ 一ㄱ/ᄒᆞᆫ 念ᄉᆡ十/싱각아희 悉ᄉᆡ/다아 知ᄀᆞᄆᆞㅅᆷ/알오ᅀᆞ딕 有餘ㅅᄀᆞ/유여ᄒᆞᆫ 無ㅣㅅᄇᆞᄒᆞ分/없이 ᄒᆞᄂᆞ리며

直譯/讀 만일 그 원력(願力/念願力)이 자재(自在)를 얻게끔 널리 모든 갈래(趣 : 境遇)를 따라 이로므로 몸을 나타낸다면 곧 능히 중생을 위하야 설법한다는 때에 음성이 종류를 따르되 어렵도다 사의(思議)할 것이며 만일 능히 중생을 위하야 설법한다는 때에 음성이 종류를 따르되 어렵도다 사의(思議)할 것이면 곧 일체 중생의 마음을 한 생각(念)에 모두 알 것이되 남김 없이 할 것이며

[70] <13:17~20>

原文/讀 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 一切/일체 衆生Ø/즁싱ᄋᆡ 心Ø/ᄆᆞᅀᆞᆷᄋᆞᆯ 一Ø

/ᄒᆞᆫ 念Ø/싱각아ᄒᆡ[於] 悉Ø/다아 知Ø/알오ㅿ더 有餘ㅅㄱ/유여ᄒᆞᆫ 無ㅐ ㅅㅂㄹㅅㄱ/없이 ᄒᆞᄂᆞㅿ든 則Ø/고디 煩惱ㅐ/번노이 起ㅅㄹ/닐호ㅿ 所ㅣ /바 無ㅎㄱㅅㄴ/없온 ᄃᆞᆯ 知ㅣㅈ/알아금 永ㅿ/길거 生死ㅣㅓ/싱ᄉᆞ아ᄒᆡ[於] 沒溺ㅅㄹ/몰닉ᄒᆞᆫ 不ㅅㅂㅎㅏ/안ᄃᆞᆯᄒᆞᄂᆞ리며 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 煩惱Ø/번노이 起Ø/닐호ㅿ 所Ø/바 無Ø/업승ㄴᄃᆞᆯ 知Ø/알어금 永Ø/길거 生死Ø/싱ᄉᆞ아ᄒᆡ[於] 沒溺Ø/몰닉ᄒᆞᆫ 不ㅅㅂㄹㅇㄱ/아니ᄒᆞᄂᆞㅿ든 則Ø/고디 功德/공덕 法性/법셩ㅅ 身ㄴ/몸ᄋᆞᆯ 獲ㅣㅅ/얻어기 法ㄷ/법ㅅ 威力ㄴ/위력을 以ㅣ/뼈 世間ㅣㅓ/세간아ᄒᆡ 現ㅂㅎㅏ/나토ᄂᆞ리며

直譯/讀 만일 일체 중생들의 마음에 한 생각(念) 모두 알되 남음 있는 것 없이 한다면 곧 번뇌가 일어나는 바 없는 것을 알게끔 영구히 생사(生死)에 빠짐 아니할 것이며 만일 번뇌가 일어나는 바 없으면 알게끔 영구히 생사(生死)에서 빠짐 아니할 것이면 곧 공덕(功德)의 법성(法性)의 몸을 얻(獲)어서 법의 위력을 가져 세상에 나타날 것이며

[71] <13:21~24>

原文/讀 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 功德/공덕 法性Ø/법셩ㅅ 身Ø/몸ᄋᆞᆯ 獲Ø/얻어기 法Ø/법ㅅ 威力Ø/위력을 以Ø/뼈 世間ㅣㅓ/세간아ᄒᆡ 現ㅂㅅㄹㅅㄱ/나토ᄂᆞㅿ든 則Ø/고디 十地ㆍ/십디여 十Ø/십ㅿ 自在ㆍㅅㅜㄴ/ᄌᆞ지여 호려ᄂᆞᆯ 獲ㅣㅅ/얻어금 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 度ㆍ/도여 勝解脫ㆍㅅㅜㄴ/숭히탈여 호려ᄂᆞᆯ 修行ㅅㅂㅎㅏ/슈힝ᄒᆞᄂᆞ리며 若Ø/ᄒᆞ다가ㅅ 十地ㆍ/십디여 十Ø/십ㅿ 自在ㆍㅅㅂㄹㅅ/ᄌᆞ지여 호ㅿ을 獲ㅣㅅ/얻어금 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 度Ø/도여 勝解脫Ø/숭히탈여 호려ᄂᆞᆯ 修行ㅅㅂㅎㅏㅅㄱ/슈힝ᄒᆞᄂᆞㅿ든 則Ø/고디 灌頂Ø/관뎡ㅅ 大神通ㄴ/대신통ᄋᆞᆯ 獲ㅣㅅ/얻어금 最勝ㅅㅜㄴㄷ/최숭ᄒᆞ려ㅅ 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 三昧ㅣㅓ/삼ᄆᆡ아ᄒᆡ[於] 住ㅅㅂㅎㅏ/듀ᄒᆞᄂᆞ리며(注.이하부터 긴 無吐文은 懸吐者와 같이 음독대로 독음 및 풀이한다)

直譯/讀 만일 공덕(功德)의 법성(法性)의 몸을 얻어서 법성(法/法性)의 위력을 갖고야 세상에 나타난다면 곧 십지(十地)이나 열 (가지)의 자재(自在 : 自由自在)이나 한다는 것들을 얻(獲)게끔 모든 득도(得/得

度 : 救濟)이나 좋은 해탈(勝解脫)이나 한다는 것들을 수행할 것이며 만일 십지(十地 : 菩薩이 수행할 10가지 段階)이나 열 가지 자재(自在)이나 한다는 것들을 얻(獲)게끔 모든 득도(得/得度)이나 좋은 해탈(勝解脫)이나 한다는 것들을 수행한다면 곧 관정(灌頂)의 큰 신통(大神通)을 얻(獲)게끔 가장 승(最勝)한다는 모든 삼매(三昧)에 머물(住) 것이며

[72] <14:01~04>

原文/讀 若獲灌頂大神通/약획관뎡대신통 於最勝諸三昧/어최숭졔삼ᄆᆡ 住ㅅᄒᆞᄑᆞㅅㄱ/듀ᄒᆞᄂᆞㅿ돈 則ø/고디 十方ㅌᆞ/시방ㅅ 諸ㄱ/모든 佛ᄉᆞ/부텨ᄃᆡ 所ㅣ十ㅅㅣㅅ/바아히[於] ᄒᆞ아기 灌頂ㄴ/관뎡을 受ㅣㅈ/받어금 而ᄲᅴ로 鼎位ㅅㅎ/뎡위ᄒᆞᆷ 應ㅌᆞㅅᄒᆞᄎᆞᄀᆞ/당닷ᄒᆞᄂᆞ리며 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 十方ㅌᆞ/시방ㅅ 諸ㄱ/모든 佛ᄉᆞ/부텨ᄃᆡ 所ø/바아히[於] ᄒᆞ아기 受灌頂 而鼎位/슈관뎡 ㅿ뎡위 應ㅌᆞㅅᄒᆞᄎᆞᄑᆞㅅㄱ/당닷ᄒᆞᄂᆞ리ㅿ돈 則ø/고디 十方ㅌᆞ/시방ㅅ 一切/일체 佛ㅂᆡ/부텨이 手以甘露灌其頂/슈이감로관기뎡 蒙ᄒᆞᄎᆞᄀᆞ/닙ᄂᆞ리며

直譯/讀 만일 관정(灌頂)하는 큰 신통(大神通)을 얻(獲)어 가장 좋은 모든 삼매(三昧)에 머무른다면 곧 시방의 모든 부처님들이 (계신) 곳(所)에서 해서 관정(灌頂)을 받게끔 이로므로 정위(位/正位)에 오르름(鼎) 마땅할 것이며 만일 시방(十方)의 모든 부처님들이 (계신) 곳에서 해서 관정(灌頂)을 받게끔 이로므로 정위(位/正位)에 오르름 마땅할 것이면 곧 시방의 일체 부처님이 (당신) 손으로 감로수로써 그 정바기(頂)에 부음(灌)을 힘입을 것이며

[73] <14:05~08>

原文/讀 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 十方/시방 一切佛/일체불이 手以甘露灌其頂/슈이감로관기뎡 蒙ᄒᆞᄑᆞㅅㄱ/닙ᄂᆞㅿ돈 則/고디 身ㅂᆡ/몸이 充徧ㅅᄑᆞᄆᆞ/츙변호ㅿ디 虛空/허공 如ᄎᆞㅅㅣㅅ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 ᄒᆞ아기 安住不動ㅅㅣㅅ/안듀브동ᄒᆞ아금 十方ㅣ十/시방아히 滿ㅅᄒᆞᄎᆞ/만ᄒᆞᄂᆞ리며 若ø/ᄒᆞ다가ㅅ 身

充徧如虛空/신충변여허공 安住不動/안듀브동 十方Ø/시방아히 滿ㅅㅂㄲ ㅅㄱ/만ᄒᆞᄂᆞㅿ든 則Ø/고디 彼ㅋ/뎌의 所行ㄱ/소힝ᄋᆞᆫ 與ᄉᆞㅅㅈㅎ/더브럿 ᄒᆞ아금 等ㅁㅎ/ᄀᆞᆯ오고려 無ㅈ/없어 諸ㄱ/모든 天ㅊ/하ᄂᆞᆯ여 世人ㅊㅅㄲ/세싄여 호리 能ᄉᆞ/시러디 知ㅅㅎ/알호려 莫ㅿㄴㅎㅌㅣ/없거겸ㅅ다

直譯/讀 만일 시방 일체 불(수많은 부처)이 (당신) 손으로 감로수로써 관정(灌頂)함을 받게 된다면 곧 몸이 두루(徧) 가득하되 허공과 같이 하여서 안주(安住)하게끔 동요(動)하지 않아 시방(十方)에 충만(滿)할 것이며 만일 몸이 두루 충만하여 허공과 같이 하여서 안주(安住)하게끔 동요(動)하지 않아 시방(十方)에 충만한다면 곧 그들의 소행(所行)은 더불어 하여금 나란히(等) 함 없어 모든 천제(天/天帝)이나 세상 사람(世人)이나 (그리) 하올 이가 능히 안다는 것 ≪반드시≫ 없었다 ≪!≫

[74] <14:09~12>

原文/讀 菩薩ㄱ/보살ᄋᆞᆫ 勤ㅌ/브즈러ㅅ 大悲行ㄴ/대비힝ᄋᆞᆯ 修ㅈㅎ/닷ᄀᆞ금 願ㅅㄱ/원호ㅿ든 一切ㄴ/일체를 度ㅐㅁㅂㅎㅋㅐㄲㅁ/건네고기져 호ㅿ디 果ㅸㄲ/과졍[16] 不ㅅㄲㅜㄱㄲ/안ᄃᆞᆯᄒᆞㅿ뎡홇 無ㅐㅅㅈㄴㅎㅠ/없이 ᄒᆞ아겨리라 見聞ㅅㅎ/견문ᄒᆞ져 聽受ㅅㅎ/텽슈ᄒᆞ져 若ㅌ/ᄒᆞ다가ㅅ 供養ㅅㅎㅅㅁㅌ火ㅌㅂㄲㅅㄱ/공양ᄒᆞ져 ᄒᆞ고ᄂᆞ붓기ㅿ든 皆ㅌ/다아ㅅ 安樂ㄴ/안락ᄋᆞᆯ 獲ㅐ/얻옴이 ㅅㅐㄲ/ᄒᆞ잇 不ㅅㄲㅜㄱㄲ/안ᄃᆞᆯᄒᆞㅿ뎡 홇 靡ㅐㅌㅅ ㅌㅎㅿ/없이ㅅ ᄒᆞᄂᆞ리며 彼/뎌 諸ㄱ/모든 大士ㅋ/대ᄉᆞ인 威神ㅌ/위신ㅅ 力ㄴㅠ/힘으로 法眼/법안 常Ø/샹녜 全ㅅㅈㅎ/오ᄋᆞᆯᄒᆞ아금 缺減ㅅㄲ/결감 홇 無ㅐㅅㅌㅎㅿ/없이 ᄒᆞᄂᆞ리며 十善Ø/십션ㅅ 妙行Ø/묘힝 等ㅣㅅㄱ/ᄀᆞᆯ오다 ᄒᆞᆫ 諸ㄱ/모든 道ㅐㄱ/도인 無Ø/무샹ㅅ 勝寶ㄴ/숭보ᄅᆞᆯ 皆ㅌ/다아ㅅ 現ㅎ/나토 ㅅㅐㅏㅎㅌㅣ/ᄒᆞ이겸ㅅ다

16) 위 '果ㅸㄲ/과졍'의 독음과 의미는 "果(과/果斷) + 져(_으려) + ㅿ(동명사 어미 'ㅁ'의 해당)"로서 '果斷하렴'으로 풀이된다. 여기서 'ㅸ_져'<남광우 1997 : 1217>는 '_하려'이다. 日譯을 옮기면 "…果たさざること"로서 앞의 의미 기능과 一致한다. 이를 종전대로 '과ᄀᆞᆯㅠ'로 독음한다면 읽을 수도 없을 뿐더러 의미 기능조차 파악할 수 없다.

直譯/讀 보살은 부지런히 대비행(大悲行/큰 慈悲의 修行)을 닦게끔 원하면 일체를 건지(度)련다네 (그리) 하되 과단(果 : 果斷)하렴 아니구나 함 없이 하였느니라 보고 듣는(見聞)다네 듣고 받는(聽受)다네 아니면 공양(供養)하네 (그리) 하고서 뿐 (그리) 한다면 모든 안락을 획득(獲得)하게 함 아니구나 함 없이 할 것이며 저 모든 보살(大士/菩薩)의 위신(威神/偉大한 威力)의 힘으로 법안(法眼)이 항상 온전(常全)하게끔 부족(缺減 : 不足)함 없이 할 것이며 열 가지 선한 묘행(十善妙行)과 나란히(等) 한 모든 불도(道/佛道)인 위 없이(無上) 좋은 보배를 모두 ≪반드시≫ 나타내게 하였다 ≪!≫

[75] <14:13~14>

原文/讀 譬ㅅㄱ/가줄비둔 大海ㅣㄷ/대히아ㅅ 金剛聚ㄱ/금강취인 彼ㅎ/뎌의 威力ㄴ/위력을 以ㅣㅣ/뼈아 衆ㄱ/모둔 寶ㄴ/보비를 生ㅇㄱㅁ/나혼디 減ㅇㄲ/감홇 無ㅁ/없으며 增ㅇㄲ/중홇 無ㅁ/없으며 亦ㅇㄱ/또ᄒᆞᆫ 盡ㄲ/다ᄋᆞᆯ 無ㄱ/없은 如ᄉᆞ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 菩薩ㄲ/보살ㅿ 功德聚/공덕취 亦ㅁ/또 然ㄷㅇㅏㅣ/그러ㅅᄒᆞ겨다

直譯/讀 비유하면 큰 바다의 금강 덩어리인 저 위력(威力)을 써서 모든 보배를 생기게 하되 감소함 없으며 증가함(도) 없으며 또한 다(盡)함(도) 없는 것 같이 보살의 공덕 덩어리 또(한) 그러하였다(네).

[76] <14:15~18>

原文/讀 或ㅁ/혹도 有ㅏㅣ/잇겨다 刹土ㅐ/찰토이 有佛ᄉᆞ/유불디 無ㅱㅇㄱᄉᆞㅜ/업샤온디여 彼ㅐㅓㄱ/뎌이휜[於] 正覺ㆍ/졍각 成ㅏㅇㄱㅅㄴ/이ᄅᆞ누온ᄃᆞᆯ 示現ㅇㅏㄱ/시현ᄒᆞ겨며 或ㅁ/혹도 有ㅏㅣ/잇겨다 國土ㅐ/국토이 法ㄴ/법을 知ㄲ/아숧 不ㅇㅏㄲᄉᆞ/안ᄃᆞᆯᄒᆞ겨ㅿ디여 彼ㅐㅓㄱ/뎌이휜[於] 爲ㅣㅇ/삼ᄋᆞ사오 妙法藏ㄴ/묘법장올 說ㅁㅌㅎㄱ/니ᄅᆞ고 ᄂᆞ리며 有分別ㆍ/유분별 無ㅎ/없져 功用ㆍ/공용 無ㅎㅇㅏㄱㆍ/없져 ᄒᆞ견여 一ㄱ/ᄒᆞᆫ 念ㄷ/싱각ㅅ 項ㄷㅣㅓ/항ㅅ아히[於] 十方ㅣㅓ/시방아히 徧ㅏㅣㅇㄲㅁ/

두루마다 호ㅿ더 月光影ㅣ/월광영 如ᄒᆞᆫᄉᆞᄀᆞᆷ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 ᄒᆞ아금 周ᄒᆡᆫᄉᆞᄆᆞ/두루ᄉᆞ ᄒᆞᆫ 不ᄉᆞᄆᆞᄃᆞᆫᄉᆞᄆᆞ/아니ᄒᆞㅿ뎡 ᄒᆞᆫ 靡ᄒᆡᆫᄃᆞᆫ/없어 量ㅐ/그지 無ㄱ/없은 方便ᄇᆞᄲᆞ/방변으로 群生ᄉᆞ/군싱ᄋᆞᆯ 化ᄉᆞᄆᆞᄒᆡᄎᆞᄀᆞᆷ/화ᄒᆞ고ᄂᆞ리며

直譯/讀 혹 또 있었다(네) 국토(刹土/國土)가 부처님 계심 없음 아니신지라 저 곳에는 정각(正覺 : 깨달음)을 이루(成)는 중인 것을 나타내었으며 혹은 (또) 있었다(네) 국토가 불법(法/佛法)을 알지 못하였는 것인지라 거기에는 묘법장(妙法藏)을 삼아사 연설하고 있을 것이며 유분별(有分別 : 區別을 明示하는 認識/無分別의 對)도 없다네 공용(功用)도 없다네 (그리) 하였음이라 한(一) 생각(念)의 항목(項/項目)에(의) 시방세계에서 곳곳마다 (그리) 하되 달 빛 그림자 같이 하게끔 두루함 않는 구나 함 없이 그지 없는 방편(方便)으로 여러 중생들을 교화(化/敎化)하고 있을 것이며

[77] <14:19~22>

原文/讀 彼十方世界ᄉᆞᆫ/뎌 시방세계ㅅ 中ᄋᆞㅣ/듕아히[於] 念念ᄋᆞㅣ/ᄉᆞᆷᄉᆞᆷ아히마다 佛道/불도 成ᄐᆞᄆᆞᆼᄀᆞ ᄉᆞᆫᄒᆞ/이ᄅᆞ누온 ᄃᆞᆯ 示現ᄉᆞᆼᄒᆞ/시현하져 正法輪ᄒᆞ/졍법륜을 轉ᄒᆞᆼ/구울져 寂滅ᄋᆞㅣ/젹멸아히 入ᄉᆞᆼᄒᆞ/십ᄒᆞ져 乃ᄋᆡ/ᄒᆞ야사 至ㅐ/니르리 舍利ᄒᆞ/샤리를 廣ㅐ/너비 分布ᄉᆞᆼᄉᆞᄆᆞᄒᆡᄎᆞᄀᆞᆷ/분보ᄒᆞ져 ᄒᆞ고ᄂᆞ며 或ᄉᆞᄀᆞ/혹ᄒᆞᆫ 聲聞ᄉᆞ/셩문여 獨覺ᄒᆞᆫ/독각ㅅ 道ᄒᆞ/도롤 現ᄆᆞᄀᆞᆷ/나토며 或ᄉᆞᄀᆞ/혹ᄒᆞᆫ 成佛ᄉᆞᆼᄀᆞᆷ/셩불ᄒᆞ아금 普ㅐ/너비 莊嚴ᄂᆞᄀᆞ ᄉᆞᆫᄒᆞ/쟝엄혼 ᄃᆞᆯ 現ᄆᆞᄀᆞᆷᄉᆞᆼᄀᆞᆷ/나토며 ᄒᆞ아 是ㅐ/이 如ᄒᆞᆫᄀᆞᆮᄒᆞ디 三乘ᄒᆞᆫ/삼승ㅅ 敎ᄒᆞ/교롤 開闡ᄉᆞᆼᄀᆞᆷ/기쳔ᄒᆞ아금 廣ㅐ/너비 衆生ᄒᆞ/즁싱ᄋᆞᆯ 度ㅐᄆᆞᄃᆞᆫᄀᆞᆷ/건네오ㅿ며 量ㅐ/그지 無ㄱ/없은 劫ᄋᆞㅣ/겁아히 ᄒᆞ고ᄂᆞ며

直譯/讀 저 시방세계 중에서 시시각각(念念 : 時時刻刻)에서마다 불도를 이루는 중인 것을 나타내네 부처님이 가르친 바른 불법(正法輪)을 펼치네 적멸(寂滅)에 들어가네 이에싸 이르리 사리(舍利)를 널리 분포한다네 (그리) 하고 나며 혹은 성문(聲聞 : 修行僧)이나 독각(獨覺 : 獨居의 修行僧)의 길(道)을 나타내며 혹은 성불(成佛)하게끔 널리 장엄한

것들을 나타내며 (그리) 하여 이 같이 삼승(三乘 : 得道의 세 實踐法)의 교법을 설명(開闡/開陳/說明)하게끔 널리 중생을 건지는 것이며 그지 없는 억겁(劫/億劫)에서 (그리) 하고 나며

[78] <14:23~15:02>

原文/讀 或ᄂᆞᆫ/혹ᄒᆞᆫ 童男ᄋᆞ/동남여 童女ᄅᆞ/동녀의 形ᄋᆞ/형여 天ᄋᆞ/텬여 龍ᄋᆞ/룡여 及ᄀᆞᆫ/밋 以ᄋᆞ/뼈 阿修羅ᄋᆞ/아슈라여 乃ᄋᆞ/ᄒᆞ야사 至ㅣ/니르리 摩睺羅伽/마후라가 等ㅣᄂᆞᆫᄀᆞㅣᄉᆞᄏᆞᄒᆞᄀᆞᄉᆞᄂᆞᆫ/ᄃᆞᆯ오다 ᄒᆞᆫ이여 호리닌 ᄃᆞᆯ 現ᄀᆞᄋᆞ/나토아 其/그 樂ᄀᆞᄇᆞ/됴호ᅀᅡ 所ᄂᆞ/바ᄅᆞᆯ 隨ᄀᆞ/조초 悉ᄋᆞ/다아 見ㅣ/봄이 令ㅣㅁᆞᄒᆞ/ᄒᆞ이고ᄂᆞ 衆生ᄅᆞ/즁싱의 形相ᄀᆞ/형샹온 各ᄀᆞ/제여금 不ᄉᆞ/안ᄃᆞᆯ 同ㅣᄀᆞ/오히며 行業ᄋᆞ/힝업여 音聲ᄋᆞᄂᆞᆺ/음셩여 호려 亦ᄀᆞ/또 量ㅣ/그지 無ᄀᆞᄂᆞᆫ/없은을 是ㅣ/이 如ᄎᆞᄂᆞᆫᄀᆞᄃᆞᄒᆞ/ᄃᆞᆮᄒᆞ디 ᄒᆞᆫ 一切ᄂᆞ/일체를 皆ᄀᆞ/다아ㅅ 能ᄎᆞ/시러디 現ᄀᆞᄐᆞᄀᆞᄉᆞᄀᆞ/나토 누온ᄃᆞᆫ 海印三昧ᄀᆞ/히인삼미ㅅ 威神ᄀᆞ/위신ㅅ 力ㅣᄂᆞㅣ/힘이겨다

直譯/讀 혹은 동정남(童貞男)이나 동정녀(童貞女)의 모양이나 천왕이나 용왕이나 및 더불어(以) 아수라(阿修羅 : 一種의 惡神. asura)이나 이에싸 이르리 마후라카(摩睺羅伽 : 蛇神의 一種. 이무기. mahoraga)와 나란히 하는 것들이나 (그러) 한 것들을 나타내어 그 좋아하는 바에 따라 모두 보(見)이게 하고 있어 중생의 형상은 각기 아니 같으며 행업(行業 : 修行)이나 음성(音聲 : 發音의 말씀)이나 (그러) 한 것들 또한 그지 없는 것들을 이와 같이 한 일체를 모두 능히 나타내는 중인 것들은 해인삼매(海印三昧 : 一切의 것이 心中에 나타나는 마음의 고요함)의 위신(威神 : 超人的)의 힘(力)이었다.

[79] <15:03~07>

原文/讀 不可思議ᄀᆞᆫ/블가ᄉᆞ의ㅅ 刹ᄂᆞ/찰올 嚴淨ᄂᆞᆫᄀᆞ/엄졍ᄒᆞ며 一切/일체 諸ᄀᆞ/모ᄃᆞᆫ 如來ᄂᆞ/셔릐ᄅᆞᆯ 供養ᄂᆞᆫ白ᄀᆞ/공양ᄒᆞᄉᆞᆸ며 大光明ᄂᆞ/대광명을 放ᄂᆞᄀᆞᄆᆞ/노혼ᄃᆡ 有邊ᄇᆞ/ᄀᆞᆺ 이숌 無ㅣᄂᆞᆫᄀᆞ/없이 ᄒᆞ며 衆生ᄂᆞ/즁싱올

度脫ノ尸ム/도탈호ㅿ디 亦ン기/또훈 限ㄱ/한오 無ㅐンか/없이 ᄒᆞ며 智慧/ 디혜 自在ン ᄌᆞ/ᄌᆞ지ᄒᆞ아 思議尸/ᄉᆞ읳 不ノ尸か/안돌호ㅿ며 說法ヒ/셜법ㅅ 言辭/언ᄉᆞ 有礙尸/유앵 無か/없으며 施ㄴ/시여 戒ㄴ/계여 忍ㄴ/신여 進ㄴ/진여 及ヒ/밋 禪定ㄴ/션뎡여 智慧ㄴ/디혜여 方便ㄴ/방변여 神通ㄴンア/신통여 ᄒᆞᆫ 等ㅣンㄱ/ᄃᆞᆯ오다 ᄒᆞᆫ 是ㅐ/이 如ᄎンㄱ/ᄀᆞᆮ디 ᄒᆞᆫ 一切尸十/일체ㅿ희 皆ヒ/다아ㅅ 自在ᄌントㄱ入ㄱ/스스리 지(在)ᄒᆞ 누온ᄃᆞᆫ 佛/부텨 華嚴/화엄 三昧ヒ/삼미ㅅ 力し/힘을 以ᄀナㅎㅣ/뻐겸ㅅ다

直譯/讀 불가사의(不可思議)한 나라(刹)를 장엄(嚴/莊嚴)하여 청정(淨/淸淨)하며 일체 모든 여래를 공양하옵시며 큰 광명을 방출호되 한계(有邊/限界) 있음 없이하며 중생을 제도(度/濟度)하고 해탈(脫/解脫)하되 또한 제한 없이 하며 지혜가 자재(自在)하여 사의(思議)함 않게 하며 설법의 말씀도 걸림 없으며 보시(施/布施)이나 지계(戒/持戒)이나 인욕(忍/忍辱)이나 정진(進/精進)이나 및 선정(禪定)이나 지혜이나 방편이나 신통이나 하는 것들과 나란히 하는 이 같은 일체께 다 자재(自在)히 하는 중이면 부처님이 화엄경의 삼매(三昧 : 마음 고요한 瞑想)의 힘을 ≪반드시≫ 썼(以)는 것이었다 ≪!≫

[80] <15:08~12>

原文/讀 一ㄱ/ᄒᆞᆫ 微塵ヒ/미딘ㅅ 中ᄀ十/듕아히 三昧ᄀ十/삼미아히 入ノ尸ム/십호ㅿ디 一切/일체 微塵ヒ/미딘ㅅ 定し/뎡을 成就ンナᄉᆞㄴ/셩취ᄒᆞ겨려여 而ØㄱIII/ㅣ곤 彼/뎌 微塵ㄱ/미딘은 亦ンㄱ/또훈 增ンロㄱ/중ᄒᆞ곤 不矢ㄱし/아니딘을 一ㄱㄹ十/ᄒᆞᆫ이히[於] 普ㅐ/너비 難思ヒ/난ᄉᆞㅅ 刹し/찰을 現ㄱロヒか/나토고 ᄂᆞ며 彼/뎌 一ㄱ/ᄒᆞᆫ 塵しㅆハ/듣글으로기 內ᄀヒ/안해ㅅ 衆ㄱ/모든 多ㅐㄱ/해인 刹ㄱ/찰온 或カ/혹도 有ナㅣ/잇겨다 佛矢/부텨디 有ナハㅎㄱ矢ㄴ/잇겨기 샤온 디여 或ナㅣ/혹겨다 佛矢/부텨디 無ㅎㄱ矢ㄴ/없샤온 디여 或カ/혹도 有ナㅣ/잇겨다 雜染ンㄱ矢ㄴ/잡염ᄒᆞᆫ 디여 或ナㅣ/혹겨다 淸淨ンㄱ矢ㄴ/쳥졍ᄒᆞᆫ 디여 或カ/혹도

17) 위 '而ØㄱIII/ㅣ곤'은 문맥상 逆接이다. 日譯도 '而き'(p.212:4行)로 나와 있다.

有ナㅣ/잇겨다 廣大ᄂᆞᆨ矣ᄉᆞ/광대ᄒᆞᆫ 디여 或Ø/혹겨다 狹小ᄂᆞᆨ矣ᄉᆞ/협쇼ᄒᆞᆫ 디여 或ᄂᆞᆨ/혹ᄒᆞᆫ 復ㅁ/또 有ナㅣ/잇겨다 成ㅏᄀᆞᆨ矣ᄉᆞ/일우눈 디여 或ㅁ/혹도 有ナㅣ/잇겨다 壞ㅏᄀᆞᆨ矣ᄉᆞ/믄허눈 디여 或ㅁ/혹도 有ナㅣ/잇겨다 正住ᄂᆞᆨ矣ᄉᆞ/졍듀ᄒᆞᆫ 디여 或ナㅣ/혹겨다 傍住ᄂᆞᆨᄎᆞᄉᆞ/방듀ᄒᆞᆫ 디여

直譯/讀 한 티끌 가운데서 삼매(三昧)에 들어가되 온갖 티끌의 선정(定/禪定)을 성취하였음이라 그러나 그 티끌은 또한 더하거늘 (그리) 하지 않음을 하나인 것에 널리 불가사의(難思 : 不可思議)한 세계(刹)를 나타내고 있으며 저 한 티끌로서 안에는 여럿 많은 세계는 또한 있었다 부처님이 있으시온지라 또 이었다 부처님이 없으셨는지라 혹도 있었다 더러운 것인지라 혹 이었다 깨끗한 것인지라 혹도 있었다 넓고 큰 것인지라 혹은 협소한 것인지라 혹은 또 있었다 이루는 중인지라 혹도 있었다 무너지는 중인지라 혹도 있었다 바르게 머무는 것인지라 혹도 이었다 곁들어 머무는 것인지라.

[81] <15:13~15>

原文/讀 或ナㅣ/혹겨다 曠野ㄴᆡ/광야ㅅ 熱時ㄴᆡ/열시ㅅ 燄/붓곳 如ᄎᆞᄂᆞᆨ矣ᄉᆞ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 ᄒᆞᆫ 디여 或ナㅣ/혹겨다 天上ᄋᆞㄴᆡ/텬샹아ㅅ 因陀網ㆍ/인타망 如ᄎᆞᄂᆞᆨ矣ᄉᆞ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 ᄒᆞᆫ 디여 一ㄱ/ᄒᆞᆫ 塵ㄴᆡ/듣글ㅅ 中ᄋᆞ十/듕아히 示現ᄂᆞᆨ/시현혼 所ㄴᆞᆫ尸/바ᄅᆞᆯ ᄒᆞᆷ 如ᄎᆞ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 一切/일체 微塵ᄋᆞ十ㄱ/미딘아히도 悉ᄋᆞ/다아 亦ㄱ/또 然ᄉᆞᄂᆞᆫᄀᆞᆨ矣ᄉᆞ/그러ᄒᆞ여 ᄒᆞ겨눈 디여 此ㄱ/이는 大名稱ㄹᆡᄂᆞㅣ/대명칭이겨다 諸ㄱ/모든 聖人ᄉᆞ/셩신의 三昧/삼ᄆᆡ 解脫/히탈 神通ㄴᆡ/신통ㅅ 力ㄹᆡᄂᆞㅣ/힘이겨다

直譯/讀 혹 이었다 광야의 여름(熱時 : 夏期)의 불꽃(燄) 같은지라 혹 이었다 하늘 위의 인드라망(因陀羅網 indra-jala : 帝網/寶網) 같은지라 한 티끌 가운데에서 나타난 바를 (그리) 함과 같이 일체 티끌에도 다 또 그러하였는 중인지라 이는 큰 평판(大名稱)이었다 모든 성인(聖人)의 삼매(三昧)와 해탈과 신통의 힘(力)이었다.

[82] <15:16~19>

原文/讀 若ㄴ/ᄒᆞ다가ㅅ 一切/일체 佛ㅣ/부텨를 供養ㅅ白/공양ᄒᆞᅀᆞᆸ 欲ㅎㅅᄃᆞㅣㅓㄱ/고쟈 ᄒᆞ건다힌 三昧ㅣ十/삼ᄆᆡ아히[于] 入ㅅㅣㅸ/십ᄒᆞ아금 神變ㅣ/신변을 起ㅅᄇᆞᆷ/긔호ㅿ디 能ᄒᆞ/시러디 一ㄱ/ᄒᆞᆫ 手ㅣ/손올 以ㅣ/뼈 三千ㅣ十/삼쳔아히 徧ᄋᆞㅣㅅㅣ/두루마다 ᄒᆞ아 普ㅐ/너비 一切/일체 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 如來ㅣ/셔릐롤 供ㅅᄂᆞᄉᆞㅣ/이바디ᄒᆞ겨려여 十方ㅣ十/시방아히 有ㄱ/잇ᄂᆞᆫ 所ㄴ/바ㅅ 勝妙華ㅣ/숭묘화여 塗香ㅣ/도향여 末香ㅣ/말향여 無價寶ㅣ/무가보여 是/이 如ᄒᆞㅅㅣㄱㅣ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 ᄒᆞᆫ올 皆ㄴ/다아ㅅ 手ㄴ/손 中ㅣ/가온ᄃᆡ를 從ㄴ/조초ㅅ 出ㅐㅣㅸ/내어금 道樹ㅣㄴ/도슈아ㅅ 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 最勝ㅐㅎㄱㅣ/최숭이샨올 供養ㅅ白ㅂㅁ/공양ᄒᆞᅀᆞᆸᄂᆞ며

直譯/讀 만일 일체 부처님을 공양하옵고자 하였을 때에는 삼매에 들어가게끔 신통(神變/神通)을 일으키되 능히 한 손을 갖고서 삼 천 세계에 두루(徧/周)마다 하여 널리 일체 모든 여래를 공양(供/供養)하였음이라 시방 세계에 있는 바의 썩 좋은 꽃이나 가루향이나 바르는 향이나 값 없는(無價) 보배이나 이 같이 한 것들을 다 손 안을 따라 나오게끔 보리수(道樹 : 菩提樹)의 모든 높으시온 분을 공양하옵으며

[83] <15:20~23>

原文/讀 無價ㅇ/무가ㅅ 寶衣ㅣ/보의여 雜妙香ㅣ/잡묘향여 寶ㄴ/보ㅅ 幢ㅣ/당여 幡ㅣ/번여 蓋ㅣㅅㅊ/개여 호리 皆ㄴ/다아ㅅ 嚴好ㅅㄱㅐㅣ/엄호ᄒᆞᆫ이여 眞金ㅣ/진금을 華ㆍ/곳 爲ㅣㅅㄱㅐㅣㅅᄉᆞㄹ/삼ᄋᆞ사 ᄒᆞᆫ이여 호려ᄂᆞᆯ 寶ㅣ/보빗롤 帳ㆍ/댱 爲ㅣㅅㄱㅐㅣㅅᄉᆞㅣ/삼ᄋᆞ사 ᄒᆞᆫ이여 호려ᄂᆞᆯ 皆ㄴ/다아ㅅ 掌ㄴ/손바당ㅅ 中ㅣ/가온ᄃᆡ를 從ㄴ/조초ㅅ 雨ㅐㄹ/비힐 不ㅅᄅᆞᄃᆞᄅᆞ/안ᄃᆞᆯᄒᆞㅿ뎡 홀 莫ㄴㅐㅅㅁㅂㅁ/없이 ᄒᆞ고 ᄂᆞ며 十方ㅣ十/시방아히 有ㄱ/잇ᄂᆞᆫ 所ㄴ/바ㅅ 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 妙物ㅐ/묘믈이 無上尊ㅋ十/무샹존이히 奉獻ㅅ白ㅎㅎ/붕헌ᄒᆞᅀᆞᆸ옴 應可ㄴㅅㄱㅣㄴ/짓 응ᄒᆞᄂᆞᆯ 掌ㄴ/손바당ㅅ 中ㅣ十/가온ᄃᆡ아히 悉ㅣ/다아 雨ㅐㅎㄱㅐㅁ/비히온ᄃᆡ 備ㅎㄹ/ᄀᆞ초옳 不ㅅᄅᆞᄃᆞᄅᆞ/안ᄃᆞᆯᄒᆞㅿ뎡 홀 無ㅐㅅㄴㅣ/없이 ᄒᆞ겨아 菩提樹ㄴ/보리슈ㅅ

前ᄋᆞ十/앒피 持ㅐᄋᆞᄉᆞ/디니아금 佛ᄉᆞ/부텨를 供ᄉᆞᆼ白ᄒᆞᆫ分/이바디ᄒᆞᅀᆞᆸᄂᆞ며

直譯/讀 값 없는 보배 옷이나 여러 잡되고 묘한 향이나 보배의 당기(幢/幢旗)이나 번(幡 : 莊嚴具)이나 덮개(蓋 : 煩惱의 異名)이라 한다는 것이 모두 대단히 좋은 것이라 순금을 꽃 삼(爲)아싸 (그러) 한 것이라 보물(寶/寶物)을 휘장(帳) 삼(爲)아싸 (그러) 하다는 것들을 모두 손바닥 안을 따라 비 내리지 않는구나 함 없이 (그리) 할 것이며 시방세계에 있는 바의 모든 묘한 것들이 가장 높은 부처님께 받으시옵기 마땅한 것들을 손바닥 가운데서 모두 비 내리옵되 준비함 아니구나 함 없이 하였어 보리수나무의 앞에서 갖게끔 부처님을 공양하옵으며

[84] <15:24~16:03>

原文/讀 十方ㄷᆡ/시방ㅅ 一切/일체 諸ㄱ/모든 妓樂ㅐㄱ/기악인 鐘ᄉᆞ/죵여 鼓ᄉᆞ/고여 琴ᄉᆞ/금여 瑟ᄉᆞᄂᆞᆺᄉᆞㄱ/슬여호려ᄂᆞᆯ 一ㄱ/ᄒᆞᆫ 類/류 非ᄋᆞᆺㄱᄉᆞ/아니딘여 悉ᄋᆞ/다아 和雅ᄂᆞᆫᄒᆞㄷᆡ/화아ᄒᆞᄂᆞᆺ 妙音聲ᄒᆞ/묘음셩을 奏ᄂᆞᆫᄉᆞᆺᄒᆞ/쥬ᄒᆞ겨려ᄂᆞᆯ 掌ㄷᆡ/손바당ㅅ 中ᄒᆞ/가온ᄃᆡ[於]ᄅᆞᆯ 從ㅇ/조ᄎᆞㅅ 出ᄂᆞᆫᄑᆞ/출ᄒᆞᆫ 不ᄂᆞᆫᄑᆞᄀᆞᄂᆞᆫᄑᆞ/아니ᄒᆞᅀᆞᆷ명 홇 靡ㄷᆡㅐᄂᆞᆫᄆᆞᄒᆞᆫ分/없이 ᄒᆞ고 ᄂᆞ며 十方ᄋᆞ十/시방아히 有ㄱ/잇ᄂᆞᆫ 所ㄷᆡ/바ㅅ 諸ㄱ/모든 讚頌ㅐ/찬숑이 如來ᄑᆞ/여러ᅀᆞᆷ 實/춤 功德ᄒᆞ/공덕을 偁歎ᄂᆞᆫ白ᄀᆞᅀᆞㄷᆡ/칭탄ᄒᆞᅀᆞᆸ오려ㅅ 是/이 如ᄎᆞᆫᄀᆞ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디ᄒᆞᆫ 種種ㄷᆡ/갓갓 妙/묘 言辭ᄒᆞ/언ᄉᆞᄅᆞᆯ 皆ㄷᆡ/다아ㅅ 掌內ᄒᆞ/손바당ᄋᆞᆯ 從ㄷᆡ/조ᄎᆞㅅ 而ᄆᆞ/ᄉᆡ로 開演ᄂᆞᆫᄒᆞᆫ分/기연ᄒᆞ고 ᄂᆞ며

直譯/讀 시방세계의 온갖 모든 기생과 풍류인 종이나 북이나 거문고(琴)이나 비파(瑟)이나 한다는 것들은 한 종류 (뿐) 아닌 것이라 다 화평하고 아담한 미묘한 음악을 연주(奏)하였다는 것들을 손바닥 안을 따라 나옴 아니구나 함 없이 하고 있으며 시방세계에 있는 바의 모든 찬송이 여래의 참다운 공덕을 찬탄하옵는다는 것의 이 같이 한 가지가지의 묘한 말들을 다 손바닥 안을 따라 이러므로 개시(開/開示)와 연설(演/演說)하고 있으며

[85] <16:04~08>

原文/讀 菩薩ㄱ/보살은 右手ㅣ十/우슈아히 淨光ㄴ/졍광을 放ㅅㄱㅁ/노흔ᄃᆡ 光ㄷ/빗 中ㅣ十ㄱ/듕아히는 香水ㄴ/향슈를 空ㄴ/공을 從ㄷ/조ᄎᆞㅅ 雨ㅐㅣ/비히아 普ㅐ/너비 十方ㄷ/시방ㅅ 諸ø/모든 佛土ㅣ十/불토아히 灑ㅅㅣㅈ/쇄ᄒᆞ아금 一切/일체 世ㄴ/누리를 照ㅐㅎᄉᆞㄷ/비취샤려ㅅ 燈ㄴ/등을 供養ㅅㅁㅂㅋ/공양ᄒᆞ고 ᄂᆞ며 又ㄲ/또 光明ㄴ/광명을 放ㅅㄴㅎㄷㅣ/노ᄒᆞ겸ㅅ다 妙ø/묘ㅅ 莊嚴ㅣㅅㅎㅣ/장엄여 호리여 量ㅐ/그지 無ㄱ/없은 寶蓮華ㄴ/보련화를 出生ㅅㄹㅁ/출싱호ㅿᄃᆡ 其/그 華ㄷ/곳ㅅ 色相ㄱ/식샹은 皆ㄷ/다아ㅅ 殊妙ㅅㄱㄴ/슈묘ᄒᆞᆫ올 此ㄴ/이를 以ㅈ/뼈 [於]諸ㄱ/모든 佛ㄴ/부텨를 供養ㅅㄴㅋ/공양ᄒᆞ겨며 又ㄲ/또 光明ㄴ/광명을 放ㅅㄴㅎㄷㅣ/방ᄒᆞ겸ㅅ다 華莊嚴ㅣㅅㅎㅣ/화장엄여 호리여

直譯/讀 보살은 오른 손에 맑은 빛을 방출(放/放出)하되 빛 가운데서는 행수를 하늘을 따라 비 내리어 널리 시방세계의 모든 부처님 국토에 뿌리게끔 일체 세상을 비치신다는 등불을 공양하고 있으며 또 광명을 ≪반드시≫ 방출하였다 ≪!≫ 묘한 장엄이라 (그리) 할 것이라 그지 없는 보련화를 지어서 나타나(出生)게 하되 그 꽃의 색상은 다 아름다운(殊妙) 것들인 이를 갖고서 모든 부처님을 공양하였으며 또 광명을 ≪반드시≫ 방출하였다 ≪!≫ (이) 꽃을 장엄이라 할 것이라.

[86] <16:08~13>

原文/讀 種種ㄷ/갓갓 妙華ㄴ/묘화를 集ㅅㅣㅈ/집ᄒᆞ아금 帳ㆍ/댱 爲ㅑㅎㄴㄱㄴ/삼ᄋᆞ삼견을 普ㅐ/너비 十方ㄷ/시방ㅅ 諸ø/모든 國土ㅣ十/국토아히 散ㅅㅣㅈ/산ᄒᆞ아금 一切/일체 大德尊ㄴ/대덕존올 供養ㅅㄴㅋ/공양ᄒᆞ겨며 又/또 放光明香莊嚴/방광명향장엄 種種ㄷ/갓갓 妙香ㄴ/묘향올 集ㅅㅣㅈ/집ᄒᆞ아금 帳ㆍ/댱 爲ㅑㅎㄴㄱㄴ/삼ᄋᆞ삼견을 普ㅐ/너비 十方ㄷ/시방ㅅ 諸ㄱ/모든 國土ㅣ十/국토아히 散ㅅㅣㅈ/산ᄒᆞ아금 一切/일체 大德尊ㄴ/대덕존올 供養ㅅㄴㅋ/공양ᄒᆞ겨며 又/또 放光明末香嚴/방광명말향엄 種種ㄷ/갓갓 末香ㄴ/말향올 聚ㅅㅣㅈ/취ᄒᆞ아금 爲帳/위당 普散十方諸

國土/보산시방계국토 供養一切大德尊/공양일체대덕존

直譯/讀 가지가지의 묘한 꽃들을 모으게끔 휘장을 삼았는 것들을 널리 시방세계의 모든 국토에 뿌리게끔 온갖 대덕론(大德尊)을 공양하였으며 또 광명을 놓아서 향기 장엄하니 가지가지의 묘한 향기를 모으게끔 휘장을 삼았는 것들을 널리 시방세계의 모든 국토에 뿌리게끔 일체 큰 덕존(大德尊)을 공양하였으며 또 광명을 방출(放/放出)하여서 가루향 장엄(嚴)하니 가지가지의 가루향을 모으게끔 휘장(帳)을 삼았어 널리 시방세계의 온 국토에 뿌리게끔 온갖 큰 덕존(大德尊)을 공양할 것이니라.

[87] <16:14~21>

原文/讀 又放光明衣莊嚴/우방광명의장엄 種種ㄷ/종종ㅅ 名衣ㄴ/명의를 集爲帳/집위댱 普散十方諸國土/보산시방제국토 供養一切大德尊/공양일체대덕존 又放光明寶莊嚴/우방광명보장엄 種種ㄷ/종종ㅅ 妙寶ㄴ/묘보롤 集爲帳/집위댱 普散十方諸國土/보산시방제국토 供養一切大德尊/공양일체대덕존 又放光明蓮莊嚴/우방광명련장엄 種種ㄷ/종종ㅅ 蓮華ㄴ/련화롤 集爲帳/집위댱 普散十方諸國土/보산시방제국토 供養一切大德尊/공양일체대덕존 又放光明瓔莊嚴/우방광명영장엄 種種ㄷ/종종ㅅ 妙瓔ㄴ/묘영을 集爲帳/집위댱 普散十方諸國土/보산시방제국토 供養一切大德尊/공양일체대덕존

直譯/讀 또 광명을 방출(放/放出)하여 옷(衣)으로 장엄하게끔 가지가지의 훌륭한 옷(名衣)들을 모아서 휘장(帳)을 삼았어 널리 시방세계의 모든 국토에 흩어서 온갖 대덕존(大德尊/훌륭한 僧侶)께 공양하리라. 또 광명을 방출하여 보배로 장엄하게끔 가지가지의 훌륭한 보배(妙寶)들을 모아서 휘장을 삼았어 널리 시방세계의 모든 국토에 흩어서 온갖 대덕존께 공양하리라. 또 광명을 방출하여 연꽃으로 장엄하게끔 가지가지의 연꽃들을 모아서 휘장을 삼았어 널리 시방세계의 모든 국토에 흩어서 온갖 대덕존께 공양하리라. 또 광명을 방출하여 목걸이(瓔)로 장

엄하게끔 가지가지의 훌륭한 목걸이(妙瓔)들을 모아서 휘장을 삼았어 널리 시방세계의 모든 국토에 흩어서 온갖 대덕존께 공양하리라.

[88] <16:22~17:03>

原文/讀 又放光明幢莊嚴/우방광명당장엄 其/그 幢ㄱ/당온 絢煥ㅅㅈ ㅎ/현환ᄒᆞ아금 衆ㄱ/모든 色ㄴ/식을 備ㅎㄴㄱㅣ/ᄀᆞ초견여 種種ㅊㅣ/갓갓이 量ㅣ/그지 無ㅈ ㅎ/없어금 皆ㅌ/다아ㅅ 殊好ㅅㄱㄴ/슈호ᄒᆞᆫ을 此ㄴ/이를 以ㅈ ㅎ/뼈금 諸ㄱ/모든 佛土ㄴ/불토를 莊嚴ㅅㄴㅎ/장엄ᄒᆞ겨며 種種ㅌ/갓갓 雜寶ㅱ/잡보로 莊嚴ㅅㅂㅌ/장엄호ᄃᆞᆫ 蓋ㅈ ㅏ/개아히 衆ㄱ/모든 妙ㄱ/묘ᄒᆞᆫ 繒幡ㅣ/증번이 共ㅌ/ᄒᆞᆫ가지로ㅅ 垂飾ㅅㅎ/슈식ᄒᆞ며 摩尼寶鐸ㅈ ㅏ/마니보탁아히 佛音ㄴ/불음을 演ㅅㅎㅅㅈㄴ/연ᄒᆞ며 ᄒᆞ려ᄂᆞᆯ 執持ㅅㅈ ㅎ/집디ᄒᆞ아금 諸ㄱ/모든 如來ㄴ/셔리를 供養ㅅㄴㅎㅌㅣ/공양ᄒᆞ겸ㅅ다 手ㅈ ㅏ/손아히 供具ㄴ/공구를 出ㅅㄱㅁ/출혼디 難ㅣㅐ/어려비사 思議ㅅㅎㅠ/ᄉᆞ의호리라 是ㅣ/이 如ㅊ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 一ㄱ/ᄒᆞᆫ 導師ㄴ/도ᄉᆞ를 供養ㅅㄴㅎ/공양ᄒᆞ겨며 一切/일체 佛ㅊ/부텨디 所ㅈ ㅏㄲ/바아히도 皆ㅌ/다아ㅅ 是ㅣ/이 如ㅊㅅㄲのㄴ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 ᄒᆞㅿᄃᆞᆯ 大士ㅋ/대ᄉᆞ이 三昧神通ㅌ/삼미신통ㅅ 力ㅈㅅㅎㅏㅣ/힘여 호리겨다

直譯/讀 또 광명을 방출하여 당기(幢)를 장엄하되 그 당기는 현란(絢煥/絢爛)하게끔 여러 가지 빛깔을 갖추었음이라 가지가지의 그지 없게끔 다 훌륭한 것들을 이를 갖게끔 모든 불토(佛土)를 장엄하였으며 가지가지의 잡된 보배로 장엄한 것의 덮개(蓋)에 모든 묘한 비단 깃발이 함께 드리워 있으며 마니보탁(摩尼寶鐸 : 珠玉의 風磬)에서 (나는) 부처님의 음성을 연주하며 (그러)한 것들을 붙잡게끔 모든 여래를 ≪반드시≫ 공양하였다. 손에 공구(供具 : 佛의 供養에 쓰는 諸道具)를 내어 놓되 어려울싸 사의(思議)함이라 이 같이 한(一) 분의 도사(導師)를 공양하였으며 일체 부처님의 계신 곳(所)도 모두 이 같이 (그러)한 것들을 보살(大士)의 삼매의 신통한 힘이라 할 것이었다.

[89] <17:04~10>

原文/讀 菩薩ㅣ/보살이 三昧ㄴ/삼미ㅅ 中ᄋᆞ+/듕아히 住在ᄉᆞᄋᆞᄂᆞ/듀지ᄒᆞ아 ᄒᆞᆫ 種種ㄴ/갓갓 自在ᄫᅥ/ᄌᆞ지로 衆生ㅣ/즁싱ᄋᆞᆯ 攝ᄉᆞᄂᆞᆺᄉᆞ/셥ᄒᆞ겨려여 悉ᄋᆞ/다아 所行ㄴ/소힝ㅅ 功德ㄴ/공덕ㅅ 法ㅣ/법을 以ᄋᆞ/뼈 量ㅣ/그지 無ㄱ/없은 方便ᄫᅥ/방변으로 而ᄫᅥ/ᄉᆡ로 開誘ᄂᆞᄑᆞᄆᆞ/기유호ㅿ디 或ᄉᆞᄂᆞ/혹ᄒᆞᆫ 如來ㅣ/셔릐롤 供養ᄉᆞ白ᄀᆞᄉᆞㄴ/공양ᄒᆞᄉᆞᆸ오려ㅅ 門ㅣ/문을 以ᄋᆞᄉᆞᄑᆞᄀᆞᄉᆞᄀᆞ/뼈 ᄒᆞㅿ도 ᄒᆞ며 或ᄉᆞᄂᆞ/혹ᄒᆞᆫ 難思ㄴ/난ᄉᆞㅅ 布施門ㅣ/보시문을 以ᄋᆞᄉᆞᄑᆞᄀᆞᄉᆞᄀᆞ/뼈 ᄒᆞㅿ도 ᄒᆞ며 或以頭陀持戒門/혹이두타디계문 或以不動堪忍門/혹이브동감인문 或以苦行精進門/혹이고힝졍진문 或以寂靜禪定門/혹이젹졍션뎡문 或以決了ᄂᆞᄉᆞㄴ/혹이결료호려ㅅ 智慧門/디혜문 或以所行ㄴ/혹이소힝ㅅ 方便門/방변문 或以梵住神通門/혹이범듀신통문 或以四攝利益門/혹이ᄉᆞ셥리익문

直譯/讀 보살이 삼매 중에 머물러 있어 (그러)한 가지가지의 자재(自在)로 중생을 섭수(攝/攝受)하였을 것들이라 다 소행(所行)의 공덕의 법을 갖고서 그지 없는 방편으로 이로므로 열어 인도(開誘)하되 혹은 여래를 공양하옵는다는 문을 갖고서 (그리) 함도 하며 혹은 헤아릴 수 없는(難思) 보시의 문을 갖고도 (그리) 하며 혹은 두타(頭陀 : 衣食住를 떠난 修行)로서 계행(戒行)을 가지는 문, 혹은 동요하지 않는 욕을 참는 문, 혹은 고행으로 정진하는 문, 혹은 고요하게 선정(禪定)을 닦는 문, 혹은 단정하여 결정한다는 지혜의 문, 혹은 행하는 바의 방편의 문, 혹은 범천이 머무르는 신통의 문, 혹은 네 가지로 섭수(攝受)하여 이익주는 문,

[90] <17:11~16>

原文/讀 或以福智莊嚴門/혹이복디쟝엄문 或以因緣ᄉᆞ/혹이인연여 解脫ᄉᆞᄂᆞᄉᆞㄴ/히탈여 호려ㅅ 門∅/문을 或以根ᄉᆞ/혹이근여 力ᄉᆞ/힘여 正道ᄉᆞᄂᆞᄉᆞㄴ/졍도여 호려ㅅ 門∅/문을 或以聲聞ᄒᆞ/혹이셩문의 解脫門∅/히탈문ㅅ 或以獨覺ᄒᆞ/혹이독각ᄋᆡ 淸淨門∅/쳥졍문을 或以大乘ㄴ/혹이대숭

ㅅ 自在門Ø/ᄌᆞ지문을 或以無常ᄒᆞ/혹이무샹여 衆苦ᄒᆞᄂᆞᆺᄉᆞᆫᄃᆡ/즁고여 호려 ㅅ 門Ø/문을 或以我ᄒᆞ/혹이아여 壽者ᄒᆞᄂᆞᆺᄉᆞ/슈쟈여 호려 無ㄱㅌㄷ/없은 ᄂᆞᆺ 門Ø/문을 或以不淨離欲門Ø/혹이브졍리욕문을 或Ø/혹ᄒᆞᆫ 滅盡三昧門ㄴ/멸진삼미문을 以Ø/ᄋᆞᄆᆞᄀᆞᄋᆞᄂᆞᆺᄒᆞ/뻐 ᄒᆞᅀᆞ도 ᄒᆞ겨아 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 衆生ㅋ/즁싱ᄋᆡ 病/병 不ᄉᆞ/안ᄃᆞᆯ 同ㅐㄱㅅㄴ/오헌ᄃᆞᆯ 隨ㅎ/조초 悉ᄒᆞ/다아 法藥ㄴ/법약ᄋᆞᆯ 以ᄒᆞ/뻐 而ᄴᆞ/ᄉᆡ로 對治ᄂᆞᄀᆞ/디티ᄒᆞ며

直譯/讀 혹은 복덕과 지혜로써(以) 장엄하다는 문, 혹은 인연으로써(以)이나 해탈이나 (그리) 한다는 문, 혹은 오근(根/五根)으로써(以)이나 오력(力/五力)이나 정도(正道)이나 (그리) 한다는 문, 혹은 성문(聲聞 : 教聞의 修行者)을 갖고서 해탈의 문, 혹은 독각(獨覺 : 獨居의 修行者)으로써(以)들의 청정문(淸淨門), 혹은 대승(大乘)으로써(以)들을 갖는 자재문(自在門), 혹은 무상(無常)으로써(以)들을 갖는 것이나 중고(衆苦)이나 (그러)한 것들의 문, 혹은 써(以) 나(我)이나 오랜 삶(壽者)이나 (그러)한 것들이 없는 문, 혹은 부정(不淨)으로써(以)이나 탐욕을 여의는 문, 혹은 멸(滅)하여 없어(盡)지는 삼매의 문을 가졌음에도 (그리) 하였어 모든 중생의 병(病) 아니 같은(同) 것들(을) 따라 다 법약(法藥 : 世人의 病을 고치는 가르침의 藥)을 써서 이로므로 치료(對治 : 解悟의 煩腦 退治)하며

[91] <17:17~20>

原文/讀 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 衆生ㅋ/즁싱ᄋᆡ 心ㅌ/ᄆᆞᅀᆞᆷㅅ 樂ㅎᄂᆞᄀᆞ/됴호ㅿ 所ㄴ/바ᄅᆞᆯ 隨ㅎ/조초 悉ᄒᆞ/다아 方便ㄴ/방변을 以ᄒᆞ/뻐 而ᄴᆞ/ᄉᆡ로 滿足ᄉᆞㅐㅎ/만죡ᄒᆞ이며 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 衆生ㅋ/즁싱ᄋᆡ 行Ø/힝ㅅ 差別ᄂᆞㄱㅅㄴ/차별ᄒᆞᆫ ᄃᆞᆯ 隨ㅎ/조초 悉ᄒᆞ/다아 善巧ㄴ/션교ᄅᆞᆯ 以ᄒᆞ/뻐 而ᄴᆞ/ᄉᆡ로 成就ᄉᆞㅐㅏㄱㅅ/셩취ᄒᆞ이눈여 是ㅐ/이 如ᄂᆞㄱ/ᄃᆞᆫ 三昧/삼미 神通ㅌ/신통ㅅ 相ㄴ火/샹올붓 一切/일체 天人ㅐ/텬신이 能ᄉᆞ/시러디 測ᄒᆞᄉᆞ/혜아려 莫ㅌㄴㅣ/없겨다 妙三昧Ø/묘삼미ㅅ 有ㅛㄴㅣ/두겨다 名ㄱ/일홈은 隨樂ᄒᆞᄂᆞᄒᆞᄎᆞ/슈락여 호리여

直譯/讀 모든 중생들의 마음에서 좋아하는 바를 따라 여러 방편을 써서 이로므로 만족케 하며 모든 중생의 수행(行/修行)의 차별인 것을 따라 다 선한 공교(善巧)함을 써서 이로므로 성취케 하는 중이라 이 같은 삼매의 신통한 모양인 것만 일체 하늘이나 사람들이 능히 헤아림 못하였다. 묘삼매(妙三昧) 있었다. 이름은 수락(隨樂)이라 할 것이라.

[92] <17:20~23>

原文/讀 菩薩ㄱ/보살은 此ㅂㅋㅏ/이의희 住ㅅㅈㅅㄱ/듀ᄒᆞ아 ᄒᆞᆫ 普ㅂ/너비 觀察ㅅㅁ/관찰ᄒᆞ고 宜ㄱㅋㅏ/맛당ᄒᆞᆫ이히 隨ㄱ/조초 示現ㅅㅈㅎ/시현ᄒᆞ아금 衆生ㄴ/즁싱ᄋᆞᆯ 度ㅂㅏㅈ/건네겨아 悉ㅈ/다아 歡心ㅠ/환심으로 法化ㅈㅏ/법화아히 從ㄷ/조ᄎᆞㅅ 使ㅂㄱㄹㅁ/브리오ㅿ딕 劫ㄷ/겁ㅅ 中ㅂ/가온딕이 饑饉ㅅㅈㅎ/긔근ᄒᆞ아금 災難ㅂㅿㅌㄷ/지난이거ᄂᆞᆺ 時ㅂㅏㄱ/다이흰 悉ㅈ/다아 世間ㄷ/세간ㅅ 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 樂具ㄴ/악구를 與ㅅㅏㅈ/다ᄆᆞᆺᄒᆞ겨아 其/그 欲ㄱㄹ/ᄒᆞ고쟈오ㅿ 所ㄴ/바ᄅᆞᆯ 隨ㄱ/조초 皆ㄷ/다아ㅅ 滿ㅇ/만죡 令ㅂㅈㅎ/ᄒᆞ이아금 普ㅂ/너비 衆生ㄱ/즁싱ᄋᆡ 爲ㅈ/위ᄒᆞ사 饒益ㄴ/쇼익을 作ㅅㅏㅅ/작ᄒᆞ겨며

直譯/讀 보살은 여기에 머물러 한 널리 관찰하고 마땅한 곳에 좇아 보이게끔 중생을 제도(濟度)하였어 다 환희한 마음으로 교화(法化/敎化)에 따르게 하되 억겁 먼 때(劫)의 중에서 흉년 들게끔 재난이었던 때에는 다 세상의 모든 생필품(樂具 : 生必品)을 주어서 그들의 욕망한 바에 따라 모두 만족케 하게끔 널리 중생을 위해 이익(饒益/利益)을 만들었으며

[93] <17:24~18:03>

原文/讀 或ㅅㄱ/혹ᄒᆞᆫ 飮食ㄷ/음식ㅅ 上好ㅅㅂㄷ/샹호ᄒᆞᄂᆞㅅ 味ㅈ/맛여 寶衣ㅈ/보의여 嚴具ㅈ/엄구여 衆ㄱ/모ᄃᆞᆫ 妙物ㅈㅅㅅㄴ/묘믈여 호려ᄂᆞᆯ 以ㅅㅏ/뻐ᄒᆞ며 乃ㅅㅈ/ᄒᆞ아사 至ㅂ/니르리 王位ㄴ/왕위를 皆ㄷ/다아ㅅ 能捨ㅅㅏㅅㅈ/능샤ᄒᆞ며 ᄒᆞ아 施ㄴ/시를 好ㄱㅅㅅㄷ/됴호ᄒᆞ려ㅅ 者ㄴ/

놈올 悉ᄒᆞ/다아 化ᄒᆞ十/화아히 從ᄃᆞ/조ᄎᆞᄉᆞ 令ㅢᄂᆞᆨ/ᄒᆞ이겨며 或ᄂᆞᆫ/혹ᄒᆞᆫ 相好ᄭᅮ/샹호으로 莊嚴ᄂᆞᄇᆞᄃᆞ/장엄호ᄂᆞᆫᄉᆞ 身ᄉᆞ/몸여 上妙衣服ᄉᆞ/샹묘의복여 寶瓔珞ᄉᆞᄂᆞᄉᆞᆫ/보영락여 호려ᄂᆞᆯ 以ᄀᆞ/쁘며 華鬘ᄒᆞᆫ/화망올 飾/구뮤미 爲ᄒᆞᄀᆞ/삼ᄋᆞ사며 香ᄒᆞᆫ/향올 體ᄒᆞ十/몸아히 塗ᄂᆞᆫᄀᆞᄂᆞᄒᆞ/도ᄒᆞ며 ᄒᆞ아 威儀ᄒᆞᆫ/위의를 具足ᄂᆞᄒᆞᄒᆞ/구족ᄒᆞ아금 衆生ᄒᆞᆫ/즁싱올 度ㅢᄂᆞᆨᄀᆞ/건네겨며

直譯/讀 혹은 음식의 아주 좋은 맛이나 보배옷이나 좋은 단장(嚴具 : 端裝)이나 모든 기묘한다는 것들을 가지며 이에싸 이르리 왕위(까지)를 모두 능히 버리며 (그리) 하여 보시(施/布施)를 좋아한다는 것인이(者)를 다 교화에 따르게 하였으며 혹은 훌륭한 특징(相好 : 32相과 80種好)으로 장엄한 몸이나 훌륭한 의복이나 보배 영락(瓔珞)이나 (그러) 한 것들을 쓰며 꽃목걸이(華鬘)를 꾸미였으며 향(香)을 몸에 바르며 (그리) 하여 위의(威儀)를 갖추게끔 중생을 제도(度/濟度)하였으며

[94] <18:04~07>

原文/讀 一切/일체 世間ᄒᆞᆫ/세간인 好ᄀᆞ/됴ᄒᆞ며 尙ᄀᆞᄆᆞ/슝샹호ᅀᆞ 所ᄉᆞ/바ᄉᆞ 色相ᄉᆞ/식샹여 顔容ᄉᆞ/안용여 及ᄉᆞ/밋 衣服ᄉᆞᄂᆞᄉᆞᆫ/의복여 호려ᄂᆞᆯ 應ᄉᆞᄂᆞᆨ/당닷흔 隨ᄀᆞᄆᆞ/조초 普/너비 現ᄀᆞᄆᆞ/나톤 其/그 心ᄒᆞ十/ᄆᆞᄉᆞᆷ아히 愜ᄒᆞᄂᆞᄒᆞ/ᄆᆞᄯᅳᆮ히 ᄒᆞ아 色ᄂᆞᆫ/식올 樂ᄀᆞᄂᆞᄉᆞᆫ/됴ᄒᆞ려ᄉᆞ 者ᄒᆞᄂᆞᆫ/놈올 皆ᄉᆞ/다아ᄉᆞ 道ᄒᆞ十/도아히 從ᄃᆞ/조ᄎᆞᄉᆞ 俾ㅢᄂᆞᆨᄀᆞ/히이겨며 迦陵頻伽ᄒᆞ/가릉빈가인 美妙ᄂᆞᄇᆞᄃᆞ/미묘ᄒᆞᄂᆞᆮ 音ᄉᆞ/음여 俱枳羅等ㅣᄂᆞᄀᆞᄒᆞ/구기라 ᄀᆞᆯ오다 ᄒᆞᆫ인 妙音聲ᄉᆞ/묘음셩여 種種ᄉᆞ/갓갓 梵音ᄉᆞᄂᆞᄉᆞᆫ/범음여 호려ᄂᆞᆯ 皆ᄉᆞ/다아ᄉᆞ 具足ᄂᆞᄂᆞᄒᆞ/구족ᄒᆞ겨아 其/그 心樂ᄂᆞᆫ/심락올 隨ᄀᆞᄆᆞ/조초 爲ᄒᆞᄀᆞ/삼ᄋᆞ사오 說法ᄂᆞᄂᆞᄀᆞ/셜법ᄒᆞ겨며

直譯/讀 온갖 세상의 좋아하며 숭상하는 바의 모양새(色相)이나 얼굴(顔容)이나 및 의복이나 한다는 것들을 마땅함을 따라 널리 나타난 그 마음에 맞갖(愜)어 빛깔을 좋아한다는 이들을 모두 법도(道/法道)에 따르게 하였으며 칼라빙카(迦陵頻伽 : kalavinka.極樂鳥)의 아름답고 미

묘한 소리이나 구기라(俱枳羅 : kokila.鳩夷羅)새와 나란히 한 것의 미묘한 음성이나 가지가지의 범음(梵音 : 佛의 敎音)이나 한다는 것들을 다 구족(具足)하였으며 그 마음의 안락을 좇아 삼(爲)아싸 불법(法/佛法)을 말하였으며

[95] <18:08~11>

原文/讀 八萬四千ㅌ/팔만ᄉᆞ천ㅅ 諸ㄱ/모든 法門ㄴ/법문을 諸ㄱ/모든 佛ㄱ/부텨는 此ㄴ/이를 以ᄀᆞ/써 衆生ㄴ/즁싱ᄋᆞᆯ 度ㅐㅎㅏㅌㄱㄴ/건네샤ᄃᆞᆫ을 彼ㄲ/뎌도 亦ᄂᆞㄱ/또ᄒᆞᆫ 其/그 差別法ㄴ/차별법을 如印/ᄀᆞᆮ 世ㅌ/누리ㅅ 宜ㄱ/맛당ᄒᆞᆫ 所ㄴ/바를 隨ㅁ/조초 而ㅱ/ᄉᆡ로 化度ᄂᆞㅏㅁ/화도ᄒᆞ겨며 衆生ㅋ/즁싱ᄋᆡ 苦ㅅ/고여 樂ㅅ/락여 利ㅅ/리여 衰ㅅᄂᆞㅍ/ᄉᆡ여ᄒᆞᆮ 等ㅣᄂᆞㄱ/ᄀᆞᆮ오다 ᄒᆞᆫ 一切/일체 世間ㅌ/세간ㅅ 作ᄂᆞㅏㅁㄱ/작ᄒᆞ누온 所ㅌ/바ㅅ 法ㅈㅓ/법아히 悉ㅈ/다아 能ㅊ/시러디 應現ᄂᆞㅈㅎ/응현ᄒᆞ아금 其/그 事ㅋㅓ/일의희 同ᄂᆞㅏㅈ/ᄀᆞᆮᄒᆞ겨아 此ㄴ/이를 以ᄀᆞㅎ/써금 普ㅐ/너비 諸ㄱ/모든 衆生ㄴ/즁싱ᄋᆞᆯ 度ㅐㅏㅏㅁ/건네겨며

直譯/讀 八만 四천의 모든 법문을 모든 부처님은 이를 갖고서 중생을 제도(度/濟度)하시는 중임을 그들도 또한 그 차별법과 같이 세상의 마땅한 바를 따라 이로므로 교화하고 제도(化度)하였으며 중생의 고생이나 즐거움이나 이익이나 손실이나 하는 것들과 나란히 하는 일체 세상의 만들고 있는 중인 바의 불법(法/佛法)에서 다 능히 그들의 소질에 응하여 나타나(應現)게끔 그 일에서 같이 하였어 이를 갖게끔 널리 모든 중생을 건지(度)었으며

[96] <18:12~14>

原文/讀 一切/일체 世間ㅌ/세간ㅅ 衆ㄱ/모든 苦患ㄱ/고환은 深ᄂᆞㅎ/심ᄒᆞ겨 廣ᄂᆞㅎᄂᆞㅈㅎ/광ᄒᆞ겨 ᄒᆞ아금 涯ㅋ/믓ᄀᆞ의 無ㄱ ㅊ/없은디 大海/대히 如ㅊᄂᆞㅁㄱㄴ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 ᄒᆞ곤ᄋᆞᆯ 彼ㄴ/뎌를 與ㅌ/더브러ㅅ 同事ᄂᆞㅈㅎ/동ᄉᆞᄒᆞ아금 悉/다아 能ㅊ/시러디 忍ᄂᆞㅈ/신ᄒᆞ아 其ㄴ/그를 利益ᄂᆞㅈㅎ/리

익ᄒᆞ아금 安樂ᄒᆞ/안락ᄒᆞᆯ 得ㅐ/어드리 令ㅐᄂᆞᆨ/ᄒᆞ이겨며 若ᄒᆡ/ᄒᆞ다가ㅅ 有ᄂᆞㅣ/잇겨다 出離ᄒᆡ/출리ㅅ 法ᄒᆞ/법을 識ㅅᄆᆞ/식ᄒᆞᆫ 不ㅅᄀᆞ/아니ᄒᆞ며 解脫ㅅᄀᆞᄌᆞ/히탈ᄒᆞ아금 誼憒ᄒᆞ/의분을 離ᄒᆞᆫㅅᄆᆞᄒᆞᆫㅅᄒᆞ/여희디 호ㅿᄃᆞᆯ 求ᄆᆞ/구ᄒᆞᆫ 不ㅅᄂᆞᄒᆞᄌᆞ/아니ᄒᆞ겨리여

直譯/讀 온 세상의 여러 가지 고난과 걱정은 깊다네 넓다네 (그리) 하게끔 끝 없는 것이 큰 바다와 같건만을 그런 것들과 더불어 같은 일로 하게끔 다 능히 참아 이 것들을 이익하게끔 안락을 얻게 하였으며 (또) 있었다 벗어나는 불법(法/佛法)을 알지 못하며 해탈하게끔 정의나 분개(誼憒 : 情誼, 憒慨)를 떠나게 함을 얻지 못하였을 것이라

[97] <18:15~19>

原文/讀 菩薩ㄱ/보살온 爲ᄌᆞᄀᆞ/삼ᄋᆞ사오 國ᄌᆞ/나라여 財ᄌᆞㅅᄉᆞ/지믈여 호려ᄂᆞᆯ 捨ㅅㅁ/샤ᄒᆞ고 常ㅐ/샹녜 出家ㅅᄆᆞᄒᆞᆫㅅᄒᆞ/출가호ㅿᄃᆞᆯ 樂ᄀᆞㅅᄌᆞᄌᆞ/됴ᄒᆞ아금 心ᄉᆞᄆᆞᄉᆞᆷ 寂靜ㅅᄀᆞㅅᄒᆞ/젹졍혼 ᄃᆞᆯ 現ᄀᆞᄂᆞᆨ/나토겨며 家ㄱ/집은 是ㄱ/이는 貪愛繫縛ㅊ/탐이계박ㅅ 所ㅐㅂ/곧이니 衆生ㅅ/즁싱ᄋᆞᆯ 悉ᄌᆞ/다아 免離/면리 使ㅐ/ᄒᆞ이 欲ㅅ/고쟈와 故ㅿ/그랑거 出家ㅅᄌᆞᄌᆞ/출가ᄒᆞ아금 解脫ㅅ/히탈ᄋᆞᆯ 得ᄌᆞ/얻어 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 欲樂ᄌᆞㅓ/욕락아히[於] 受ᄀᆞᄆᆞ/받오ㅿ 所ᄌᆞ/바아 無ᄀᆞᄀᆞᄉᆞᄒᆞᆫ/없은 ᄃᆞᆯ 示ㅐᄂᆞᆨ/보이겨며 菩薩ㄱ/보살온 十ᄆᆞ/열[18] ㅿ 種行ㅅ/죵힝ᄋᆞᆯ 行ㅅᄒᆞ/힝ᄒᆞ져 亦ㅅᄀᆞ/또ᄒᆞᆫ 一切/일체 /大人ᄒᆞ/대신의 法ㅅ/법을 行ㅅᄒᆞㅅㅅᄂᆞᄀᆞᄀᆞㅅ/힝ᄒᆞ져 ᄒᆞ누온 ᄃᆞᆯ 示ㅐᄂᆞᆨ/보이며 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 仙ㅊ/션ㅅ 行/힝 等ㅣㅅᄀᆞㅅᄌᆞᄌᆞㄱ/ᄀᆞᆮ오다 ᄒᆞᆫ올아도 悉ᄌᆞ/다아 餘ㅅᄀᆞ/남ᄒᆞ온 無ㅐㅅᄂᆞᄒᆞㅊㅣ/없이 ᄒᆞ겸ㅅ다 衆生ㅅ/즁싱ᄋᆞᆯ 利益ㅅ/리익ᄒᆞ 欲ㅅ/고쟈와 爲ㅅᄆᆞᄒᆞㅅᄆᆞ/ᄒᆞㅿᄃᆞ로 故ᄌᆞ/고로여

直譯/讀 보살이 되려고야 나라이나 재물이나 한다는 것들을 버리고

---

18) 위 '十ㆍᄆᆞ'은 '열ㅿ'로 읽어야 할 것이다. 필자의 새 추정자 독음 'ᄆᆞ → ᄆᆞ/ㅿ'라야 맞는다. 종전대로 추정한 'ᄆᆞ/ᄠᅳ'의 독음 '엃'로는 맞지 않는다. 만일 '엃'이 쓰일 경우는 후행에 거의 '_제'가 와야 하기 때문이다. 따라서 'ᄆᆞ/ᄠᅳ'의 추정은 잘못임이 여기서도 立證된다. 前文 [71]에서 '十ㆍØ/십ㅿ' 또는 '열ㅿ'<十三22,23>의 'Ø'도 여기서 추정한 'ᄆᆞ'이다.

항상 출가한 것을 좋아하게끔 마음을 고요하게 한 것을 나타내었으며 집은 이는 탐욕 애정 등이 얽혀 묶여 있는 곳이니 중생을 다 벗어나게 하고자 함과 그러므로 출가하게끔 해탈을 얻어 모든 욕락(欲樂)에서 받는 바 없는 것을 보였으며 보살은 열의 종행(種行)을 행하네 또한 온갖 큰 어른(大人)의 법을 행하네 (그리) 하는 중인 것들을 보여 주며 모든 선인(仙人)들의 수행(行/修行)과 나란히 하여도 다 남은 것(餘)은 ≪반드시≫ 없이 하였다 ≪!≫ 중생을 이익케 하고자 함인 까닭 때문이라

[98] <18:20~22>

原文/讀 若七/ᄒᆞ다가ㅅ 有ナㅣ/잇겨다 衆生ㅣ/즁싱이 壽ㅎ/목숨 量/그지 無ㄱㅣ/없은여 煩惱/번노 微細ㅅᄀᆞᆫ/미세ᄒᆞ져 樂/락 具足ㅅᄀᆞᆫㅅナㄱㅣ/구족ᄒᆞ져 ᄒᆞ견이여 菩薩ㄱ/보살은 中ㅋ十/듕아히[於] 自在ㄴ/ᄌᆞ지를 得ナㄱㅅ/얻견 ᄃᆞ로 老病死七/로병ᄉᆞㅅ 衆ㄱ/모든 患ㄴ/근심을 受トㅁㄱㅅㄴ/받누온 ᄃᆞᆯ 示ㅣナカ/보이겨며 或ㅁ/혹도 有ナㅣ/잇겨다 貪欲ㅈ/탐욕여 瞋恚ㅈ/진에여 癡ㅈノᄉᆞ七/티여 호려ㅅ 煩惱七/번노ㅅ 猛火ㅣ/밍화이 常ㅣ/샹녜 熾然ㅅナㄱㅣカㅈ/치연ᄒᆞ견이며여

直譯/讀 만일 (또) 있었다 중생이 목숨(壽)은 그지 없음이나 번뇌는 미세하네 즐거움(樂)은 고루 갖추(具足)고 있네 (그리) 하였음이라 보살은 (그) 가운데에 자재(自在)를 얻었으므로 늙고 병나 죽는 모든 근심을 얻는 중인 줄을 보였으며 혹은 (또) 있었다 탐욕이나 분노이나 어리석음이나 한다는 것들의 번뇌의 맹렬한 불길(猛火)이 항상 치연(熾然)하였는 것이며 (그리) 함이라

[99] <18:23~19:03>즁

原文/讀 菩薩ㄱ/보살은 爲ㅁ/삼오 老病死ㄴ/로병ᄉᆞ를 現ㅁㅋㅎ/나토아금 彼/뎌 衆生ㄴ/즁싱올 悉ㅋ/다아 調伏丶/됴복 令ㅣナカ/ᄒᆞ이겨며 如來ㄱ[19]/셔릐ㅿ 十力ㅈ/십력여 無所畏ㅈ/무소외여 及七/밋 以ㅋ/뼈 十八不共法ㅈ/십팔 블공법여 有ㅐㅎㅁㄱ/두샤온 所七/바ㅅ 量丶/그지 無ㄱ

/없은 諸ㄱ/모든 功德ㅣㅅᄉᆞ/공덕여 호려ᄂᆞᆯ 悉ᄒᆞ/다아 以ᄒᆞㅎ/써금 示現ᄉᆞᄒᆞ/시현ᄒᆞ아 衆生ᄂᆞ/즁싱ᄋᆞᆯ 度ㅐㄴㅀ/건네겨며 記心ㅣ/긔심여 敎誡ㅣ/교계여 及ㄴ/밋 神足ㅣㅅᄉᆞㄱ/신족여 호려는 悉ᄒᆞ/다아 是ㄱ/이는 如來ㄹ/여릐ㅿ 自在 用ㅐㅎㄱㄴᄀᆞ/즈지 용이샨ᄋᆞᆯ 彼/뎌 諸ㄱ/모든 大士ㄱ/대ᄉᆞ는 皆ㄴ/다아ㅅ 示現ᄉᆞᄒᆞㅎ/시현ᄒᆞ아금 能ᄒᆞ/시러디 衆生ᄂᆞ/즁싱ᄋᆞᆯ 盡ᄒᆞ/다아 調伏ᄂᆞ/됴복 使ㅐㄴㅀ/ᄒᆞ이겨며

直譯/讀 보살은 되(爲)어 늙고 병나 죽음을 나타나게끔 저 중생들을 다 조복(調伏)케 하였으며 여래의 열 가지 힘이나 두려운 바 없음이나 및 써(以) 十八 가지 함께 하지 않는 법이나 있으셨는 바의 그지 없는 모든 공덕이나 한다는 것들을 다 갖게끔 나타내어 중생을 건지었으며 마음을 구별함(記心)이나 가르침이나 및 신통력(神足/神通力)이나 한다는 것들은 다 이것은 여래의 자재(自在/自由自在)한 공용(功用/努力)이신 것을 저 모든 보살(大士 : 菩薩)들은 다 보여 주게끔 능히 중생을 다 하(盡)여 조복(調伏/抑制)케 하였으며

[100] <19:04~07>

原文/讀 菩薩ㄱ/보살온 種種ㄴ/갓갓 方便門ㅣᄆᆞ/방변문으로 世ㄴ/누리ㅅ 法ᄒᆞㅂ/법아히 隨ㅁ/조초 順ㄴᄂᆞᆫᄒᆞ/슌ㅅᄒᆞ아 衆生ᄂᆞ/즁싱ᄋᆞᆯ 度ㅐㅁㅀㅁ/건네오ㅿ더 譬ㅅㄱ/가줄비든 蓮華ㅐ/련화이 水ᄒᆞㅂ/믈아히 著/브틈 不ㄴㄹ/아니홇 如ᄒᆞ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 是/이 如ᄒᆞ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 世ㅐㅂ/누리희 在ᄂᆞᆫㅎ/지ᄒᆞ아금 深信/심신 令ㅐㄴㅍㄴㅣ/ᄒᆞ이겸ㅅ다 雅思ㅐㅎ/아ᄉᆞ이져 淵才ㅐㅎᄂᆞᆫㅎ/연지이져 ᄒᆞ아 文中ᄒᆞㄴ/문듕앗 王ㅐㄹㅅ니ᄂᆞㄴㅀ/왕이ㅿ돌ᄒᆞ겨며 歌舞ᄂᆞㅎ/가무ᄒᆞ져 談說ᄂᆞㅎㄴㄹㅁ/담셜ᄒᆞ져 호ㅿ더 衆/무리 欣ㄴㄹ/깃글호ㅿ 所ㅐㄹㅅ니ᄂᆞㅀ/바이ㅿ돌 ᄒᆞ며 一切/일체 世間ᄒᆞㄴ/세간

19) 위 "如來ㄹ 十力ㅣ"에서 토 'ㄹ'는 문맥상 속격 기능이다. 이를 필자가 여기서 추정한 'ㄹ→ㄹ/ㅿ'의 'ㅿ'(이는 '_의'의 기능<남광우 1997 : 989>임)으로 읽어야 正讀이 된다. 종전대로 추정한 'ㄹ/ㅱ'의 '_ㅱ'(이는 '_ㄹ, _을'의 기능<남광우 1997 : 521>임)으로 읽으면 誤讀이 됨을 알 수 있다. 따라서 이제까지 'ㄹ/_ㅱ'의 讀音은 잘못임이 여기서도 立證된다.

앗 衆ㄱ/모든 技術ㄴノ尸ム/기술을 호ㅿ디 譬入ㄱ/가졸비든 幻師/환ᄉ 如ᄒᆞᆫᄌᆞᄒᆞ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 ᄒᆞ아금 現ㅎ尸/나톨 不ㄴ尸丁ノ尸/안돌ᄒᆞㅿ뎡 홇 無ナ가/없겨며

直譯/讀 보살은 가지가지 방편문(方便門 : 引導할 方便의 入口)으로 세상의 법(法)에 따라 순응(順/順應)하여 중생을 제도(度)하되 비유하면 연꽃이 물에 묻지 않는 것 같이 이 같이 세간(世/世間)에 존재하게끔 깊이 ≪반드시≫ 믿게 하였다 ≪!≫ 아담한 생각이네 깊은 재조(淵才)이네 (그리) 하여 문(文) 중의 왕(王)인 줄을 (그리) 하였으며 노래와 춤추네 담설(談說)하네 (그리) 하되 대중들이 즐기는 바인 것을 하며 일체 세간의 많은(衆) 기술을 (그리) 하되 비유하면 요술쟁이 같이 하게끔 나타냄 아니구나 함 없이 하였으며

[101] <19:08~11>

原文/讀 或ㄴㄱ/혹ᄒᆞᆫ 長者ㅣ ㅁ ㅎ/댱쟈이라금 邑ㄷ/고을ㅅ 中ᄌᆞㄷ/가온딧 主ㅣ尸/쥬잉 爲入ㄴᄒᆞᆫ가/ᄃᆞ외돌 ᄒᆞ며 或ㄴㄱ/혹ᄒᆞᆫ 賈客ㅣ ㅁ/고긱이라 商人ㅋ/샹신의 導ㅣ尸/인도잉 爲入ㄴᄒᆞᆫ가/ᄃᆞ외돌 ᄒᆞ며 或∅/혹ᄒᆞᆫ 國王ㅅ/국왕여 及ㄷ/밋 大臣ㅣ尸/대신잉 爲入ㄴᄒᆞᆫ가/ᄃᆞ외돌 ᄒᆞ며 或ㄴㄱ/혹ᄒᆞᆫ 良醫ㅣ尸入ㄴ/량의이ㅿ돌 作ᄂᆞᆫᄌᆞᄒᆞ/작ᄒᆞ아금 衆ㄱ/모든 論ㄴ/의론올 善ᄒᆞᆫᄂᆞᆫ가/이드디 ᄒᆞ며 或ㄴㄱ/혹ᄒᆞᆫ 曠野ᄌᆞㅏ/광야아히[於] 大樹ㅣ尸入ㄴ/대슈이ㅿ돌 作ᄂᆞᆫ가/작ᄒᆞ며 或ㄴㄱ 혹ᄒᆞᆫ/ 良藥ㅅ/량약여 衆ㄱ/한 寶藏ㅅノᄒ尸/보장여 호릿 爲入ㄴᄒᆞᆫ가/ᄃᆞ외돌 ᄒᆞ며 或ㄴㄱ/혹ᄒᆞᆫ 寶珠ㅣ尸入ㄴ/보쥬이ㅿ돌 作ᄂᆞᆫᄌᆞᄒᆞ/작ᄒᆞ아금 求ノ尸/구호ㅿ 所ㄴ/바ᄅᆞᆯ 隨∅/조초 或ㄴㄱ/혹ᄒᆞᆫ 正道ㄴ/졍도ᄅᆞᆯ 以ᄌᆞ/뼈 衆生ㅋㅏ/즁싱이히 示ㅣナ가/보이겨며

直譯/讀 혹은 장자(長者 : 富豪)이게끔 고을 중의 주인 몸 된듯 하며 혹은 장사아치들이라 상점 주인의 인도하듯 하며 혹은 임금이나 및 대신인 몸 된듯 하며 혹은 좋은 의사 몸 되게끔 많은(衆) 말 잘하기도 하며 혹은 광야에서 큰 나무인 듯이 만들며 혹은 좋은 약이나 많은 보장

(寶藏)이나 (그러)한 것 된듯 하며 혹은 보배 구슬(寶珠)인 것들 만들게 끔 구하는 바를 좇아 혹은 정도(正道 : 바른 實踐法)를 가져 중생에 보였으며

[102] <19:12~15>

原文/讀 若ㄴ/ᄒᆞ다가ㅅ 世界ㅐ/세계이 始ㅁ/비릇오 成立ㅅ亡ㄱ ᄉᆞ/셩립ᄒᆞ건여 衆生ㄱ/즁싱은 資身ㄴ/ᄌᆞ신ㅅ 具ㄴ/구를 有ㅛㄹ/둔 未ㅐㅅㄱ ㅅㄴ/아니혼 ᄃᆞᆯ 見ㅁㅏㄱ/보고기는 是ᄉᆞㄴㅅㄱ/ᄉᆡ엿ᄒᆞᆫ 時十/다희 菩薩ㄱ /보살은 工匠ㅐㄹ/공쟝잉 爲ㅅㄴㅅ가/ᄃᆞ외ᄃᆞᆯ ᄒᆞ며 之ㅋ/이의 爲ᄉᆞㅁ/ 삼ᄋᆞ사 種種ㄴ/갓갓 業ㄴ/업을 示現ㅅㄹㅁ/시현호ㅿ딕 衆生ㄴ/즁싱을 逼惱ㅅㅜㄴ/핍노호려ㅅ 物ㄴㄴ/갓을 作ㅅㄴㅜㄱ/작ᄒᆞ겨려ᄂᆞᆫ 不矣ㅐ/아니디 비 但ㅅ/오지기 世間ㄴ/셰간을 利益ㅅㅜㄴ/리익호려ㅅ 事ㄴ/일을 說ㅅㄴ ᄉᆞ/셜ᄒᆞ겨아 呪術ᄉᆞ/쥬술여 藥草ᄉᆞㅅㄹ/약초여 ᄒᆞᆮ 等ㅣㅅㄱ/ᄃᆞᆯ오다ᄒᆞᆫ 衆ㄱ/한 論ㅐㄱ/의론인 是/이 如ㅅㄱ/ᄀᆞᆮᄒᆞᆫ 有ㄱ/잇ᄂᆞᆫ 所ㄴ/바ᄅᆞᆯ 皆ㄴ/다아ㅅ 能ㅊ/시러 說ㅜㅎ/니ᄅᆞ겨며

直譯/讀 만일 세계가 처음 아룩하였음이라 중생은 살림살이의 갖춤을 갖지 못함을 보고서는 이러한 때에 보살은 공장(工匠)인 몸 되게 하며 이을 위(爲)한 가지가지 업(業)을 보이되 중생을 괴롭힌다는 물건을 만들었다는 것 아닌 것이지마는 오직 세간을 이익한다는 일을 설명하였어 주술(呪術)이나 약초이나 하는 것들과 나란히 하는 많은(衆) 의론(論)인 이 같은 있는 바를 다 능히 설명하였으며

[103] <19:16~20>

原文/讀 一切/일체 仙人ㅋ/션신의 殊勝行ㄱ/슈승힝은 人天/신텬 等ㅣㅅㅌㄴ/ᄃᆞᆯ오다ᄒᆞᄂᆞᆺ 類ㅁ/동뉴 同ㅐ/오히 信仰ㅅㅎㄱㄴ/신앙호린을 是/이 如ㅊ/ᄀᆞᆮᄒᆞ디 難行ㅅㅜㄴ/난힝호려ㅅ 苦行ㄴ/고힝ㅅ 法ㄴ/법을 菩薩ㄱ/보살은 應ㄴㅅㄱ/당다ㅅ혼 隨ㅁ/초조 悉ㅈ/다아 能ㅊ/시러디 作ㅅㄴㅜㄱ/작ᄒᆞ겨며 或ㅅㄱ/혹ᄒᆞᆫ 外道/외도 出家人ㅐㅁㅏㅅㄴ/출가신이ㅿᄃᆞᆯ 作ㅅㄱ/

작ᄒᆞ며 或ᄂᆞᆨ/혹ᄒᆞᆫ 山林ᄋᆞᆫ/산림아히 在ᄂᆞᄋᆞᄒᆞ/지ᄒᆞ아금 自ᄅᆞᄆᆞ/스싀로 勤苦ᄂᆞᄀᆞᆫ/근고ᄒᆞ며 或ᄂᆞᆨ/혹ᄒᆞᆫ 形體ㄴ/형톄를 露ᄀᆞᄋᆞᄒᆞ/드로아금 衣服/의복 無ᄀᆞᆨ ㅅㄴᄂᆞᄋᆞ/없ᄋᆞᆫ 둘 ᄒᆞ아 而ᄆᆞ/ᄉᆡ로 彼/뎌 衆ㄹᆞ十/즁의희[於] 師長ㅐㄹᆞ/ᄉᆞ댱이ㅿ둘 作ᄂᆞᄀᆞᆫ/작ᄒᆞ며 或ᄂᆞᆨ/혹ᄒᆞᆫ 邪命ㅌ/샤명ㅅ 種種ㅌ/갓갓 行ㄴ/힝ᄋᆞᆯ 現ᄀᆞᄋᆞ/나토아 非法ㄴ/비법을 習行ᄂᆞᄋᆞᄒᆞ/습힝ᄒᆞ아금 以ᄋᆞ/뼈 勝ᄂᆞᆨ/승ᄒᆞᆫ 爲ᄒᆞㄹᆞᄀᆞᄂᆞᆫ/ᄃᆞ외사ㅿ도 ᄒᆞ며

直譯/讀 온갖 선인(仙人)들의 수승(殊勝)한 행(行)을 사람이나 하늘이나 하는 것들이 나란히 하는 같은 무리(類/同類) 같이 신앙하려는 것을 이같이 어렵게 행(行)한다는 고행(苦行)의 법을 보살은 마땅히 좇아 다 능히 만들었으며 혹은 외도(外道 : 異敎의 가르침)에 출가하는 사람이듯 되며 혹은 숲 속에서 있게끔 스스로 힘써 고행하며 혹은 형태를 들어내게끔 의복 없는 듯 하여 이러므로 저(러한) 무리에게 사장(師長 : 스승과 年長者)인듯 만들며 혹은 사명(邪命)의 가지가지 행(行)을 나타내어 비법(非法)을 습행(習行)하게끔 가져서 이김(勝) 되는 것도 하며

[104] <19:21~24>

原文/讀 或ᄂᆞᆨ/혹ᄒᆞᆫ 梵志ㄹᆞ/범지ㅿ 諸ᄀᆞ/모ᄃᆞᆫ 威儀ㄴ/위의를 現ᄀᆞᄋᆞᄒᆞ/나토아금 彼/뎌 衆ㅌ/무릐 中ᄋᆞᆫ/듕아히[於] 上首ㅐㄹᆞ/샹슈잇 爲ㅅㄴᄂᆞᄀᆞᆫ/ᄃᆞ외ᄃᆞᆯ ᄒᆞ겨며 或ᄂᆞᆨ/혹ᄒᆞᆫ 五熱ㄴ/오열을 受ᄋᆞ/받아 日ㄴ/히를 隨ᄀᆞ/조초 轉ᄂᆞᄂᆞᆫ/뎐ᄒᆞ겨며 或ᄂᆞᆨ/혹ᄒᆞᆫ 牛ㅅ/쇼여 狗ㅅ/가히여 及ㅌ/밋 鹿ㅅㅅㄹᆞ/사슴여 호려의 戒ㄴ/계를 持ᄂᆞᆫ/디ᄒᆞ며 或ᄂᆞᆨ/혹ᄒᆞᆫ 壞衣ㄴ/괴의를 著ᄂᆞᄋᆞᄒᆞ/탹ᄒᆞ아금 火ㄴ/블을 奉事ᄂᆞᆫᄂᆞᄋᆞ/봉ᄉᆞᄒᆞ며 ᄒᆞ아 是ㅐ/이 等ㅣᄂᆞᄀᆞㄴ/ᄃᆞᆯ오다 ᄒᆞᆫ올 化ᄂᆞ/(교)화ᄒᆞ 爲ㅅ/(ᄒᆞ)와 導師ㅐㄹᆞ/도ᄉᆞ이ㅿ둘 作ᄂᆞᄂᆞᆫ/작ᄒᆞ겨며 或ㄱ/혹도 有ㅏㅣ/잇겨다 諸ᄀᆞ/모ᄃᆞᆫ 天廟ㄴ/텬묘를 謁ᄂᆞᄒᆞᄀᆞᄀᆞᆫ/알ᄒᆞ누온 둘 示ㅐㅅㄱᆞㅊㅅ/보이논 디여 或ㅏㅣ/혹겨다 復ᄂᆞᆨ/또ᄒᆞᆫ 恒河水ᄋᆞ十/항하슈아히 入ㄴᄀᆞᆫㅅㄴ/십혼 둘 示ㅐㅅㄱᆞㅊㅅ/보이논 디여

直譯/讀 혹은 범지(梵志 : 婆羅門/遊行者)들의 모든 위의(威儀)를 나타내게끔 저(彼) 무리들 중에서 우두머리(上首)가 된들 (그리) 하였으며 혹은 오열(五熱 : 暑熱에 苦行하는 異敎徒)들을 받아 해(日)를 좇아 돌아 다녔으며 혹은 소이나 개이나 또는 사슴이나 한다는 것들의 계행(戒/戒行)을 가지며 혹은 떨어진 옷을 입게끔 불을 섬기며 (그리) 하여 이와 나란히 한 것들을 교화(化/敎化)함과 스승인 몸인들 만들었으며 혹 또 있었다 모든 하늘 사당(天廟)을 뵈옵는 중임을 보여 주는지라 혹은 이었다 또한 항하수(恒河水)에 들어감인 것을 보여 주는지라

[105] <20:01~03>

原文/讀 根ㅅ/불휘여 果ㅅㅅ尸/여름여 ᄒᆞᆫ 等ㅣㅅㄱㄴ/ᄀᆞᆯ오다 ᄒᆞᆫᄋᆞᆯ 食ㅅㅏㅋㄱㅅㄴ/식ᄒᆞ누온 ᄃᆞᆯ 悉ㅈ/다아 示ㅅㄱ/시ᄒᆞ져 行ㅅㄱㅅㅈ/힝ᄒᆞ져 ᄒᆞ아 彼ㅂㅏ/뎌이희[於] 常ㅂ/샹녜 已ㅋㅏ/이믜의희 勝ㅅㅌㄴ/숭ᄒᆞᄂᆞㅅ 法ㄴ/법을 思ㅅㅂㅏㄱ/ᄉᆞ랑ᄒᆞ이겨며 或ㅅㄱ/혹ᄒᆞᆫ 蹲踞ㅅㄱㅅㄴ/준거혼ᄃᆞᆯ 現ㅋㅁ/나토며 或ㅅㄱ/혹ᄒᆞᆫ 翹足ㅅㅁ/교족ᄒᆞ며 或ㅅㄱ/혹ᄒᆞᆫ 草棘ㅅ/초극여 及ㄴ/밋 灰上ㅅㅅㅁㅋㅏ/회샹여 호려의희 臥ㅅㅁ/와ᄒᆞ며 或ㅅㄱ/혹ᄒᆞᆫ 復ㄲ/ᄯᅩ 杵ㅈㅏ/방핫고아히 臥ㅅㅈㅎ/와ᄒᆞ아금 出離ㅅ尸ㅅㄴ/출리호ㅿᄃᆞᆯ 求ㅅㅁㅅ尸ㅁ/구ᄒᆞ며 호ㅿ디 而ㅱ/ᄉᆡ로 彼/뎌 衆ㅋㅏ/즁의희[於] 師首ㅂ尸ㅅㄴ/ᄉᆞ슈이ㅿᄃᆞᆯ 作ㅋㅏㅎㄴㅣ/지ᅀᅩ겸ㅅ다

直譯/讀 풀뿌리이나 과일이나 하는 것들과 나란히 하는 것들을 먹는 중인 것들을 다 보여 주네 수행하네 (그리) 하여 거기에서 항상 이미 좋(勝)은 불법(法)을 사랑케 했으며 혹은 쭈그리(蹲)거나 웅크리(踞)거나 한 것들을 나타내며 혹은 한 발 들거나(翹足) 하며 혹은 가시덤불이나 및 매운 재 위이나 한다는 것들에서 누우며 혹은 또 공이(杵)에 눕게끔 벗어나려 함을 구하며 (그리) 하되 이러므로 저(彼) 무리에서 ≪반드시≫ 스승(師首)인 몸 되었다 ≪!≫

[106] <20:04~07>

原文/讀 是/이 如ᄎ/ᄀᆞᆮ디 等ᄂᆞᆨ/들ᄒᆞᆫ 類ø/동뉴 諸ㄱ/모든 外道ᄅᆞ十/외도의희 其/그 意解ㄴ/의히ᄅᆞᆯ 觀ᄂᆞㅁ/관ᄒᆞ고 與ㄷ/더브러ㅅ 同事ᄂᆞᄂᆞᄒᆞ/동ᄉᆞᄒᆞ겨아 示ㅣᄀᆞㄱ/보이온 所ㄷ/바ㅅ 苦行火ㄷ八ᄆᆞ入ㄱ/고힝ᄇᆞᆺ기ㅿ든 世ㅣ十/누리희 堪ㅣ矣ᄂᆞᄒᆞᄉᆞ/견디디 ᄒᆞ아려 靡ㄷㅣᄂᆞᄒᆞᄒᆞ/없이 ᄒᆞ아금 彼ㄴ/뎌를 見ㅣᄆᆞ/보잇 已ᄒᆞᄂᆞㅁ/이믜사 ᄒᆞ고 皆ㄷ/다아ㅅ 調伏ㆍ/됴복 令ㅣㅁㅌᄒᆞ/ᄒᆞ이고 ᄂᆞ며 衆生ㄱ/즁싱ᄋᆞᆫ 迷惑ᄂᆞᄒᆞᄒᆞ/미혹ᄒᆞ아금 邪敎ㄴ/샤교ᄅᆞᆯ 稟ᄂᆞᄂᆞㄱㅅᄆᆞ/품ᄒᆞ견 ᄃᆞ로 惡見ᄒᆞ十/악견아히[於] 住ᄂᆞᄒᆞ/듀ᄒᆞ아 衆ㄱ/모든 苦ㄴ/고ᄅᆞᆯ 受ㅏᄀᆞㄴ/받ᄂᆞᆫ 其ㄹ/그의 方便ㄴᄆᆞ/방변으로 爲ㅑ/삼ᄋᆞ사 妙法ㄴ/묘법을 說ᄒᆞ/니ᄅᆞ 悉ᄒᆞ/다아 得ᄒᆞᄒᆞ/시러금 眞實/진실ㅅ 諦ㄴ/뎌를 解ᄂᆞㆍ/히ᄒᆞ 令ㅣᄀᆞㄱㅁ/(ᄒᆞ)이온디

直譯/讀 이 같은 것들인 무리(類/同類)의 모든 외도(外道 : 異敎)에 그 뜻 풀이를 살펴보고 일을 같이(同事)하였어 보이는 바 고행(苦行)뿐인 것이면 세상에서 견디(堪)는 (그러) 한다는 것들은 아니하게끔 그들을 봄이 끝났다 하고 다 조복(調伏)케 하고 나며 중생은 미혹(迷惑)하게끔 사악한 교(邪敎)를 받(稟)었는 고로 나쁜 소견(惡見)에서 머물어 모든 고생을 입(受)는 중임을 그것을 위하사 방편으로 묘법(妙法 : 佛의 敎法)을 말씀하여 모두 얻게끔 진실한 깨달음(諦 : 眞理/悟道)을 알게(解) 하되

[107] <20:08~11>

原文/讀 或ᄂᆞᆨ/혹ᄒᆞᆫ 邊ø/ᄀᆞᆺ 呪語ㅁ/쥬어로 四諦ㄴ/ᄉᆞ톄를 說ᄆᆞᄀᆞᄂᆞᄀᆞ/니ᄅᆞㅿ도 ᄒᆞ며 或ᄂᆞᆨ/혹ᄒᆞᆫ 善ø/션ㅅ 密語ㅁ/밀어로 四諦ㄴ/ᄉᆞ톄를 說ᄆᆞᄀᆞᄂᆞᄀᆞ/니ᄅᆞㅿ도 ᄒᆞ며 或ø/혹ᄒᆞᆫ 人ㄹ/사ᄅᆞᆷ의 直語ㅁ/딕어로 四諦ø/ᄉᆞ톄를 說ø/니ᄅᆞㅿ도 ᄒᆞ며 或ø/혹ᄒᆞᆫ 天ㄹ/하ᄂᆞᆯ의 密語ㅁ/밀어로 四諦ㄴ/ᄉᆞ톄를 說ø/니ᄅᆞㅿ도 ᄒᆞ며 文字ㄴ/문ᄌᆞ를 分別ᄂᆞᄒᆞ/분별ᄒᆞ아 四諦ø/ᄉᆞ톄를 說ø/니ᄅᆞㅿ도 ᄒᆞ며 決定ᄂᆞᄒᆞㄷ/결뎡ᄒᆞᄂᆞᆺ 義理ㅁ/의리로 四諦ø/ᄉᆞ톄를 說ø/니ᄅᆞㅿ도 ᄒᆞ며 善ᄎᆞ/이드디 [於]他ㄴ/타ᄅᆞᆯ 破ᄂᆞᄒᆞ/파

ᄒᆞ아 四諦ø/ᄉᆞ톄를 說ø/니ᄅᆞᅀᆞ도 ᄒᆞ며 外ᄆᆞ/밧 動ᄂᆞᆞᄀᆞᄆᆞ/동ᄒᆞ아 오ᅀᆞ 所ᄂᆞᆞ/바아 非ᄉᆞᄆᆞ/아닌디라 四諦ø/ᄉᆞ톄를 說ø/니ᄅᆞᅀᆞ도 ᄒᆞ며

直譯/讀 혹은 변경(邊/邊境)의 속어(呪語/南印度 邊境의 俗語)로 四체(四諦 : 넷 直理)를 설명함도 (그리) 하며 혹은 선교(善/善巧)한 비밀 말로 四체(四諦)를 설명함도 (그리) 하며 혹은 사람의 곧은 말(直語)로 四체(四諦)를 설명함도 (그리) 하며 혹은 하늘의 비밀한 말(密語)로 四체를 설명함도 (그리) 하며 글자를 분별하여 四체를 설명함도 (그리) 하며 결정한 도리(義理/道理)로 四체를 설명함도 (그리) 하며 좋게(善) 남의 말(他/他論) 깨뜨리어 四체를 설명함도 (그리) 하며 다른(外) 동작(動/動作)하는 바 못(非)하게 하는지라 四체를 설명함도 (그리) 하며

[108] <20:12~15>

原文/讀 或ø/혹ᄒᆞᆫ 八部語ᄭᅮ/팔부어로 四諦ø/ᄉᆞ톄를 說ø/니ᄅᆞᅀᆞ도 ᄒᆞ며 或ø/혹ᄒᆞᆫ 一切/일체 語ᄭᅮ/어로 四諦ㄴ/ᄉᆞ톄를 說ᄆᆞᄀᆞᄉᆞᄀᆞᄂᆞᆞ/니ᄅᆞᅀᆞ도 ᄒᆞ며 ᄒᆞ아 彼ᄅᆞ/뎌의 解ᄂᆞᆞᄆᆞ/히호ᅀᆞ 所ㄷᆡ/바ㅅ 語言/어언 音ㄴ/음을 隨ᄀᆞ/조초 爲ᄂᆞᆞᄀᆞ/ᄃᆞ외사오 四諦ㄴ/ᄉᆞ톄를 說ᄂᆞᆞᄒᆞ/니ᄅᆞ금 解脫ᄂᆞ/히탈 令ㅣㄴᅀᆞㅎㄷᆡ/ᄒᆞ이겸ㅅ다 有ㄱ/잇ᄂᆞᆫ 所ㄷᆡ/바ㅅ 一切/일체 諸ㄱ/모ᄃᆞᆫ 佛法ㄴ/불법을 皆ㄷᆡ/다아ㅅ 是ㅣ/이 如ᄎᆞ/ᄀᆞᄒᆞ디 說ᄀᆞᄆᆞᄆᆞ/니ᄅᆞ오ᅀᆞ디 盡ᄆᆞ/다ᄋᆞᆫ 不ᄂᆞᆞᄆᆞᄐᆞᄂᆞᆞᄆᆞ/안ᄃᆞᆯᄒᆞᅀᆞ명 홇 無ㅣㄴᄂᆞᆞᄂᆞᆞ/없이 ᄒᆞ겨아 語ㄷᆡ/말ᄉᆞᆷㅅ 境界ø/경계ㅅ 不思議ㅣㄱㅇㄴ/브ᄉᆞ의인 ᄃᆞᆯ 知ㄴᆞᄆᆞㅅㄴ/알겨ᅀᆞᄃᆞᆯ 是ㄴ/이를 名ㅏ/일홈하 說法ø/셜법ㅅ 三昧ㄷᆡ/삼미ㅅ 力ᄂᆞᄀᆞᄎᆞㄴᆡ/힘여 호리겨다

直譯/讀 혹은 팔부신(八部神/八部衆 : 佛法의 敎化를 받는 八種類의 者들)의 말(語)로 四체(四諦 : 넷 眞理)를 설명함도 (그리) 하며 혹은 온갖 말씀으로 四체를 설명함도 (그리) 하며 하여서 저들의 알 수 있는 바의 말과 언어와 소리를 따라 되도록 四체를 설명하게끔 ≪반드시≫ 해탈케 하였다 ≪!≫ 있는 바의 온갖 모든 불법(佛法)을 모두 이 같이 설명하되 끊임(盡) 없구나 (그리) 함 없이 (그리) 하였어 말의 경계가

부사의(不思議)인 줄을 알았음을 이를 이름하여 설법(說法)하는 삼매(三昧)의 힘(力)이라 하였었다.

7.

위 본론에서 논의한 것들을 결론하면 다음과 같다. 이 자료 華嚴은 지난번 필자가 발표한 舊仁과는 현저하게 다른 점만을 들어, 이를 표출하여 간추리기로 한다.

(1) 이제까지 問題吐인 '_ㅣ'는 우리가 추정했던 'ㅱ'의 讀音은 아니고, 이제 필자가 이 자료의 '邊ㅣ'·'作ㅣ'·'矯遣ㅣ' 등에서 독음 'ㅿ'으로 쓰인 入聲字의 ㅿ'의 音價로써 바꾸어 추정한다. 이 토 'ㅣ/ㅿ'은 '사잇소리'(持格促音)로서 이 자료에는 '동명사'와 '속격표지' 및 '가정법'으로만 쓰였다.

(2) 이제까지 우리는 例 '如ᄒᆞᆫ'의 독음을 한결같이 'ᄀᆞᆮ'으로만 읽어 왔다. 이 자료에서 또 다른 '果ᄒᆞᆫㅣ'<華 14:9>가 나타남으로써 결국 " 如=ᄀᆞᆮ=ᄒᆞᆫ"의 等式은 아니라는 사실이 들어났다. 또한 문맥에서도 '如ᄒᆞᆫ'의 토 '_ᄒᆞᆫ/_져'<月印上64>가 '_으려'의 뜻으로서 독음되어 오히려 原音 '這/져'인 것까지 밝혀지게 되었다.

(3) 이제까지 우리는 例의 '修ᄒᆞᄆᆞᄀᆞᄒᆞᄐᆞ/닷ᄀᆞ샤ᄋᆞᆫᄂᆞᆺ'<八23> 따위 토 'ᄒᆞ'를 '賜/ᄉᆞ·시'의 약자체로 추정했으나 앞의 독음이 '닷ᄀᆞ샤 …'<月釋8 : 90>의 '_샤'로 또 '니ᄅᆞ샤니시고'<法華1 : 199> 등의 '_샤'로 확인되었고 오히려 독음 'ᄉᆞ'나 '시'(?)는 실제 例文과도 맞지 않음이 허다하여 필자는 새로이 'ᄒᆞ'를 '寫 →ᄒᆞ/샤'의 약자체로 추정 및 적용하였다.

(4) 이제까지 토 'ᄉᆞ'를 原字 '於'(_려)의 약체자로 추정 및 독음했다. 이는 『이두사전』의 '於'(_려)로서 향가 「處容歌」의 '馬於隱', '將來'(5回).

『直指』의 'ᄂᆞᆼ要ㅣ', 『明律』의 '爲要'(9回) 등 傳來로써 나타나므로 말미암은 것이다. 그 많은 석독구결에서 이 독음 '_려'가 한 번도 나타나지 않는다면 말이 성립되지 않기 때문이다.

(5) '佛ᄆᆞᆫ'<2:14,3:13>에서 '佛'에만 붙인 토 'ᄆᆞᆫ'(上聲字)가 2회만 나타나다가, 돌연 '佛ᄆᆞᅀᆞ'<4:19,4:23…> 따위 토 'ᄆᆞᅀᆞ'(去聲字)로만 계속 바뀌어 쓰였음이 특이하게 나타났다. 같은 속격 표지이나 전자가 上聲, 후자가 去聲 따위만의 차이로서 懸吐者가 아마 聲調를 갖고 의식적으로 고친 것이 아닌가 한다. 이는 다른 例 "…元ᄆᆞᅀᆞ ᄎᆞᄇᆡᄉᆞ<9:20>/비릇ᄃᆡ ᄃᆡ이며…"의 독법도 前者 '디'는 높은 음(去聲ˊ), 後者 '디'는 낮고 순평한 음(平聲ㆍ)으로 읽었음을 알 수 있어 비로소 해독할 수 있었다. 또 "…如ᄎᆞᆫᄀᆞᄐᆞᄉᆞ<15:13[2]>/ᄀᆞᄒᆞᄃᆡ ᄒᆞᆫᄃᆡ여" 따위도 같다. 이로써 여기 懸吐에도 聲調가 반영되었다는 사실을 필자가 이미 지난번 동계 구결 공동연구회(강릉) 때에도 발표한 바 있다.(2000.12.15)

참고문헌

1. 논저

김두찬(1997), 「구역인왕경 구결 해독 시고」, 『구결연구』 제2집, 구결학회.

남광우(1995), 『古今漢韓字典』, 인하대 출판부.

_____(1997), 『고어사전』, 교학사.

남풍현(1997), 「『신역화엄경』 권14의 고려시대 석독구결」, 『국문학논집』 제14집, 단국대.

박성종(1996), 「조선 초기 이두 자료와 그 국어학적 연구」, 서울대(博論).

심재기 · 이승재(1998), 『『華嚴經』 口訣의 表記法과 한글 轉寫』.

國譯文 : 『화엄경1(권十四)』(1993), 동국대 부설 동국역경원.

日譯文 : 『國譯一切經(華嚴部一 · 二)』, 衛藤卽應 譯(昭和15, 46年/1930,1971).

2. 자료

『華嚴經 卷十四』(原本 : 영인본), 『구결연구(제1집)』(1996), 부록, 구결학회.